

(日本語版の翻訳について。この翻訳は非公式のものです。正式の文書(英文)は下記にあります。

<https://www.icj-cij.org/sites/default/files/case-related/192/192-20231228-app-01-00-en.pdf>

翻訳について、主に以下の4点で正式文書との違いがあります。(1)本文、注記でイタリックで強調されている箇所がありますが、翻訳に際しては、これを省略しています。(2)注は訳していません。(3)翻訳に際して目次を追加しました。(4)注に掲載されているウェブページのURLについて、訳者でアクセス確認がとれなかったものについては[別のリンク]と表記し、その後ろに該当すると思われるURLを表記しました。

手続開始申立書

目次

I. 緒言	2
II. 裁判所の管轄権	5
III. 事実関係	10
A. 緒言	10
B. 背景	13
1. ガザ地区(「ガザ」)	13
2. 西岸地区(東エルサレムを含む)	25
3. 2023年10月7日のイスラエルにおける攻撃	29
C. パレスチナ人に対するジェノサイド行為	31
1. ガザにおけるパレスチナ人の殺害	32
2. ガザのパレスチナ人への深刻な身体的・精神的危害	36
3. ガザではパレスチナ人が大量に家から立ち退かされていること	39
4. ガザのパレスチナ人のための適切な水、食料へのアクセスの剥奪	41
5. ガザのパレスチナ人に対する適切な住居、衣服、衛生設備へのアクセスの剥奪	47
6. ガザのパレスチナ人に対する適切な医療支援の剥奪	50
7. ガザにおけるパレスチナ人の生活破壊	57
8. パレスチナ人の出産を阻害する措置の強制	61
D. イスラエル国家高官らによるパレスチナ人に対するジェノサイドの意図の表明	63
E. パレスチナ人に対するイスラエルのジェノサイドの意図の認識	71
IV. 南アフリカの申立て	74
V. 救済措置	75
VI. 仮保全措置の請求	76
A. 仮保全措置の提示が必要となったやむを得ない事情	78
B. 国際司法裁判所の一応の管轄権	79
C. 保護が求められている諸権利、その推認される特徴、および当該諸権利と要求される措置との関連	81
D. 回復不能の損害のリスクと緊急性	84
E. 仮保全措置の請求	87
VII. 権利の留保	88
VIII. 代理人の任命	89

国際司法裁判所書記官に対し、南アフリカ共和国政府から正式に権限を与えられた下記の署名者は、以下の通り述べる。

国際司法裁判所規程第36条第1項および第40条ならびに裁判所規則第38条に従い、南アフリ

カ共和国（以下「南アフリカ」）の名において、イスラエル国（以下「イスラエル」）に対するこの手続き開始申立書を謹んで提出する。規程第41条に従い、本申立てには、本書で訴えられた差し迫った回復不能な損失から権利を保護するための仮保全措置を裁判所が提示することを求める請求が含まれている。

I. 緒言

1. 本申立ては、2023年10月7日にイスラエルで発生した襲撃事件を受け、イスラエル政府および軍部によって、明確な国民的、人種的、民族的集団であるパレスチナの人々に対して、実行を表明され、承認され、容認され、実行され、また実行されつつある行為に関するものである。南アフリカは、ハマースをはじめとするパレスチナの武装集団による、イスラエルの民間人やその他の国民を直接標的とした攻撃や人質行為を含めて、すべての当事者によるすべての国際法違反を明確に非難する。しかし、国家の領土に対する武力攻撃は、それがいかに重大なものであっても（たとえ残虐な犯罪を伴う攻撃であったとしても）、それをもって、1948年の「ジェノサイド罪の防止及び処罰に関する条約」（「ジェノサイド条約」または「条約」）¹違反を法的にも道徳的にも、正当化したり抗弁したりすることは、できない。南アフリカが提訴するイスラエルの行為および不作為は、パレスチナの国民的、人種的、民族的集団の大きな部分、すなわちガザ地区のパレスチナ人集団（「ガザのパレスチナ人」）を抹殺することを意図しているため、性格上はジェノサイドである。この問題視されている行為には、ガザのパレスチナ人を殺害し、身体的・精神的に深刻な危害を加え、彼らの身体的破壊をもたらすことを意図する生活条件を集団に対して故意に課することが含まれる。これらの行為はすべてイスラエルの責任である。イスラエルはジェノサイドを防止することを怠りジェノサイドを遂行して、明白にジェノサイド条約に違反している。また、イスラエル高官らによるジェノサイドへの直接的かつ公然たる教唆を防止または処罰することを怠るなど、ジェノサイド条約に基づくその他の基本的義務にも違反しており、現在も違反し続けている。

2. 本申立書を作成するにあたり、南アフリカは、ジェノサイド条約の諸条項、その解釈、および1951年1月12日の発効以降の年月におけるその適用を精査し、また当裁判所（国際司法裁判所）のみならず旧ユーゴスラビア国際戦犯法廷（ICTY）、ルワンダ国際刑事裁判所（ICTR）、国際刑事裁判所（ICC）など他の国際裁判所の判例にも細心の注意を払った。南アフリカはジェノサイドという行為が、ガザにおいてイスラエル政府および軍によって公認または実行された他の国際法違反、すなわち、民間人への意図的攻撃や、宗教・教育・芸術・科学・歴史的記念物・病院といった民間施設や建物への意図的攻撃、傷病者が集中する場所への意図的攻撃、加えて拷問、または戦争の手段として民間人を飢餓にさらす戦略は、しばしば密接な関係があるにせよ、その他の戦争犯罪や人道に対する罪などとは明確に区別されるという事実を強く認識している。南アフリカは、「ジェノサイド」という言葉の生みの親であるラファエル・レムキン自身が認識しているように、ジェノサイドの行為が必然的に一連の行為の一部であることも認識している。² このため、ジェノサイド行為は、イスラエルがパレスチナ人に対して、75年にわたるアパルトヘイト、56年にわたるパレスチナ領土の軍事占領、16年にわたるガザ封鎖の間に行なってきた行為（ジュネーブ第4

¹ Convention on the Prevention and Punishment of the Crime of Genocide (adopted 9 December 1948, entered into force 12 January 1951), 78 UNTS 277.

² Raphaël Lemkin, *Axis Rule in Occupied Europe: Laws of Occupation, Analysis of Government, Proposals for Redress* (1944), Chapter IX.

条約の重大な違反³およびその他の戦争犯罪、人道に対する罪など、それらに関連する深刻かつ継続的な国際法違反を含む)という、より広い文脈の中に位置づけることが重要である。本申立てにおいて、他の国際法違反ともなりうるイスラエルの行為や不作為に言及する場合、南アフリカの主張は、それらの行為や不作為はジェノサイド的な性格を有しているということだ。なぜならそれは、ガザのパレスチナ人をより広範なパレスチナの国民的、人種的、民族的集団の一部として抹殺しようとする特定の意図 (dolus specialis) をもって実行されているからである。

3. 南アフリカは、イスラエルに対してジェノサイド条約違反の訴訟手続きを開始することの責任の重大さを痛感している。しかしまた、南アフリカは、ジェノサイド条約締約国として、ジェノサイドを防止する自国の義務も痛感している。パレスチナ人に関するイスラエルの行為や不作為は、ジェノサイド条約に違反している。これは、パレスチナ国家を含む多くの条約締約国の共通の見解であり、パレスチナは「世界の指導者たち」に対して、「われわれの同胞に対するジェノサイドを阻止する責任を果たす」よう呼びかけている。⁴ 国連の専門家も10週間以上にわたって、「イスラエルの政治指導者やその同盟国による発言を考慮すると、ガザでの軍事行動やヨルダン川西岸地区での逮捕や殺害のエスカレーションを伴って」、「パレスチナの人々に対するジェノサイドのリスク」があるとして、繰り返し「警鐘」を鳴らしてきた。⁵ 国連の専門家たちはまた、パレスチナ人に対する「ジェノサイドを防ぐための国際システムの機能不全」について、「深い...懸念」を表明し、「国際社会」に対し、「パレスチナ人に対するジェノサイドのリスクを直ちに終わらせるために、できることはすべて行う」よう求めている。⁶ 「早期警戒・緊急措置手続き」のもとで行動している人種差別撤廃委員会 (CERD) もまた、ジェノサイド条約の「すべての締約国」に対し、「ジェノサイドを...防止する義務」を「完全に尊重する」よう求めている。⁷ これは、イスラエルとパレスチナの間の恒久的な平和を達成するという南アフリカの外交政策目標を背景とするものであり、1967年のアラブ・イスラエル戦争勃発前の1967年6月4日に存在した国境を基礎とし、すべての関連する国連決議および国際法に沿って、国際的に承認された国境内に2つの国家が並存するとするものである。

4. 本申立書で南アフリカが依拠し、本手続でさらに展開される事実は、アパルトヘイト、追放、民族浄化、併合、占領、差別、そして現在進行中のパレスチナ人の自決権の否定を背景に、特に2023年10月7日以降、イスラエルがジェノサイドを防止することができず、ジェノサイドへの直接的かつ公然の教唆を訴追することもできていないことを立証するものである。さらに重大な

³ Geneva Convention Relative to the Protection of Civilian Persons in Time of War, 12 August 1949, 75 UNTS 287.

⁴ Speech by Mahmoud Abbas on Palestine TV, 18 November 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=2uRGx02vULg>; translated by Wafa: "President Abbas urges Biden to stop Israel's ongoing genocide of Palestinians", Wafa (18 November 2023), <https://english.wafa.ps/Pages/Details/139394>.

⁵ United Nations Office of the High Commissioner for Human Rights ('UN OHCHR'), Gaza: UN experts decry bombing of hospitals and schools as crimes against humanity, call for prevention of genocide (19 October 2023) <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/10/gaza-un-experts-decry-bombing-hospitals-and-schools-crimes-against-humanity>.

⁶ UN OHCHR, Gaza: UN experts call on international community to prevent genocide against the Palestinian people (16 November 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/11/gaza-un-experts-call-international-community-prevent-genocide-against>.

⁷ UN OHCHR, Gaza Strip: States are obliged to prevent crimes against humanity and genocide, UN Committee stresses (21 December 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/12/gaza-strip-states-are-obliged-prevent-crimes-against-humanity-and-genocide>. Under CERD's Early Warning and Urgent Action ('EWUA') procedure, CERD has extensive expertise in compiling indicators relevant to the prevention of genocide; in 2015 it issued a Declaration on the Prevention of Genocide which recalled this work in its preamble: see CERD, Declaration on the Prevention of Genocide (CRD/C/66/1) (17 October 2005), https://www.ohchr.org/sites/default/files/Documents/HRBodies/CERD/declaration_genocide.doc (emphasis added).

ことに、イスラエルはガザのパレスチナの人々に対するジェノサイド行為に関与し、現在も関与しており、さらに関与するリスクもあるということである。これらの行為には、パレスチナ人を殺害し、精神的・身体的に深刻な危害を加え、身体的破壊をもたらすことを意図する生活条件を集団に対して故意に課することを含む。イスラエル大統領、首相、国防大臣といった最高レベルを含むイスラエル国家代表の発言では、ジェノサイドの意図が繰り返し表明されている。そのような意図は、特に、イスラエルが包囲され封鎖されたパレスチナの人々に必要不可欠な食料、水、医薬品、燃料、避難所、その他の人道支援を提供または確保する義務を果さず、パレスチナの人々を飢饉の瀬戸際に追いやったという、ガザにおけるイスラエルの軍事作戦の性質と行動を考慮すると、適切に推測できることである。また、それはイスラエルによるガザへの軍事攻撃の性質、範囲、程度からも明らかである。ガザは世界で最も人口密度の高い場所のひとつでありながら、11週間以上にわたって砲撃を継続的に受け続け、ガザの人口の85%にあたる190万人の人々が自宅から強制的に立ち退かされ、適切な避難所もないまま、ますます狭い地域に押し込められ、その中で彼らは攻撃され、殺され、危害を加えられ続けている。イスラエルは現在、7,729人以上の子どもを含む21,110人以上のパレスチナ人を殺害し、7,780人以上のパレスチナ人が瓦礫の下で行方不明になり死亡したと推定されており、また、55,243人以上のパレスチナ人を負傷させ、身体的、精神的に深刻な被害を与えてきた。イスラエルはまた、ガザの広大な地域（居住区全体を含む）を破壊し、35万5,000戸を上回るパレスチナ人の家屋を破壊し、これに加えて広大な農地、製パン所、学校、大学、企業、礼拝所、墓地、文化的・考古学的遺跡、自治体や裁判所の建物、水道・衛生施設や電力網を含む重要なインフラを損壊し、その一方でパレスチナの医療・保健制度に対する執拗な攻撃を続けている。イスラエルは、人々を殺害し、危害を加え、破壊し、集団として身体的破壊をもたらすことを意図する生活条件を作り出し、ガザを瓦礫に変えており、こうした行為を現在も続けている。

5. 南アフリカは、ジェノサイド禁止の強行規範（*jus cogens* [いかなる法律によっても改変が許されないことが暗示される一般法原則]）的性格と、ジェノサイド条約に基づき国家が負う義務の対世（*erga omnes*）[国際社会全体に対して負う義務]的性格および全当事国（*erga omnes partes*）的性格を念頭に置き、ジェノサイド条約違反に対するイスラエルの責任を立証し、それらの違反に対する国際法上の責任をイスラエルに全面的に負わせ、そして、最も緊急に、ジェノサイドの継続的かつさらなる行為の重大かつ差し迫ったリスクにさらされているガザのパレスチナ人の緊急かつ可能な限りの保護を確保するために、当裁判所に訴え、本申立てを行うものである。

6. 事態の緊急性に鑑み、南アフリカは、仮保全措置の提示を求める要請に対して迅速な審理を求めるものである。さらに、裁判所規則第74条4第項に従い、南アフリカ共和国は裁判長に対し、仮保全措置の提示に関する請求に対して裁判所が下すいかなる命令も適切な効果をもたらすことができるよう、当該審理が行われるまでの間、ジェノサイド条約違反を構成または生じさせるすべての軍事攻撃を直ちに停止するようイスラエルに求めることにより、ガザのパレスチナの人々を保護するよう請求する。そのために、裁判所はイスラエルに対し、ガザに住むパレスチナの人々を殺害し、精神的・身体的に深刻な危害を加えることを中止すること、集団として身体的破壊をもたらすことを意図する生活条件を故意に与えることを中止すること、ジェノサイドへの直接的・公然の教唆を防止し処罰すること、援助の制限や避難指示の発令など、関連する政策や慣行を取り消すことを命ずべきである。

7. 南アフリカが訴えているジェノサイド行為は、ごく最近起こり、現在も進行中であるなか一また、それ以外の場合は、司法判断や詳細な事実確認の対象とはなっていない一状況にお

いて当裁判所の重要な役割とその重大な責任の行使を念頭に置き、南アフリカの仮保全措置申立ておよび請求は、通常考えられるよりも詳細な事実説明を提供している。この説明には、イスラエルが国際ジャーナリスト、調査機関、事実調査チームによるガザへのアクセスを制限し続けている状況において、国連の責任者や機関、非政府組織（NGO）による声明や報告書、ガザからの目撃証言（現地にいるパレスチナ人ジャーナリストを含む）が重要な部分を占めている。しかし、本申立ても仮保全措置の提示の請求も、ここで言及されている個々の事件や訴えに対する裁判所の判断に依存しているわけではない。とりわけ、当裁判所の判例が明らかにしているように、「仮保全措置に関する命令を下す段階で裁判所に求められるのは、…申し立てられた行為の少なくとも一部が…条約の規定に該当し得るかどうかを立証すること」である。⁸南アフリカが申し立てた行為の少なくとも一部は、明らかにこれらの規定に該当する可能性がある。

II. 裁判所の管轄権

8. 南アフリカとイスラエルはともに国際連合加盟国であるため、裁判所の管轄権は「当事者が裁判所に付託するすべての事件及び…現行諸条約に特に規定するすべての事項に及ぶ」と規定する第36条第1項を含む裁判所規程に拘束される。

9. 南アフリカとイスラエルはどちらもジェノサイド条約の締約国である。イスラエルは1949年8月17日にジェノサイド条約に署名し、1950年3月9日に批准書を寄託し、1951年1月12日にジェノサイド条約が発効したときに締約国となった。南アフリカは1998年12月10日に加盟文書を寄託した。この条約は、条約第13条に従い、その後90日目に締約国間で適用されるようになった。

10. ジェノサイド条約第9条は次のように定めている。

「本条約の解釈、適用または履行に関する締約国間の紛争は、ジェノサイドまたは他の第3条に列挙された行為のいずれかに対する国の責任に関するものを含め、紛争当事国のいずれかの要求により国際司法裁判所に付託する。」

11. 南アフリカもイスラエルも、第9条に対していかなる留保も付けていない。

12. 南アフリカは、本申立ての根拠となるイスラエルの行為と不作為に関して、繰り返し緊急に懸念と非難を表明してきた。南アフリカおよびジェノサイド条約の他の締約国は、特に、ガザにおけるイスラエルの行為がパレスチナの人々に対するジェノサイドであることを明らかにし

⁸ Application of the Convention on the Prevention and Punishment of the Crime of Genocide (The Gambia v. Myanmar), Provisional Measures, Order of 23 January 2020, I.C.J. Reports 2020, p. 14, para. 30 (hereafter 'The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020').

てきた。例えば、アルジェリア大統領⁹、ボリビア大統領¹⁰、ブラジル大統領¹¹、コロンビア大統領¹²、キューバ大統領¹³、イラン大統領¹⁴、トルコ大統領¹⁵、ベネズエラ大統領¹⁶は、パレスチナ大統領¹⁷と同様に、イスラエルの行動をジェノサイドであると述べている。バングラデシュ¹⁸、エジプト¹⁹、ホンジュラス²⁰、イラク²¹、ヨルダン²²、リビア²³、マレーシア²⁴、ナミビア²⁵、パキスタン²⁶、シリア²⁷、チュニジア²⁸の国家高官と代表は、イスラエルの行為をジェノサイドだと述べている。そして、カタール²⁹やモーリタニア³⁰を含むジェノサイド条約非締約国の国家元首や国家高官も、ガザにおけるジェノサイドやそのリスクに言及している。2023年12月8日、国連安全保障理事会の停戦に関する採決に先立つ第949回国連安全保障理事会会合で、「アラブ・グループ」を代表して発言したエジプト代表は、「(ガザにおける)市民の死者は、戦争が武装集団に対してなされているものであるという嘘を露呈させている。むしろ、それは、パレスチナの人々に対

9 "Algeria, Türkiye discuss need for accountability over Gaza 'genocide'", Middle East Monitor (21 November 2023), <https://www.middleeastmonitor.com/20231121-algeria-president-tebboune-turkiye-president-erdogan-discuss-need-for-accountability-over-gaza-genocide/>. The People's Democratic Republic of Algeria acceded to the Genocide Convention on 31 October 1963.

10 Luis Alberto Arce Catacora (Lucho Arce), Presidente Constitucional del Estado Plurinacional de Bolivia, @LuchoXBolivia, Tweet (2:43 am, November 16, 2023), <https://twitter.com/LuchoXBolivia/status/1724981446001967283>. The Plurinational State of Bolivia signed the Genocide Convention on 11 December 1948 and ratified it on 14 June 2005.

11 "President Lula says war in the Middle East is genocide", AgenciaBrasil (25 October 2023), <https://agenciabrasil.ebc.com.br/en/politica/noticia/2023-10/president-lula-says-war-middle-east-genocide>. The Federative Republic of Brazil signed the Genocide Convention on 11 December 1948 and ratified it on 15 April 1952.

12 Gustavo Petro, Presidente de la República de Colombia, @petrogustavo, Tweet (4:00 am, November 1, 2023) <https://twitter.com/petrogustavo/status/1719565081371935150>. The Republic of Colombia signed the Genocide Convention on 12 August 1949 and ratified it 27 October 1959.

13 Ed Newman, "Díaz-Canel says Cuba will not accept ignoring genocide against Palestinians", Radio Havana Cuba (29 October 2023), <https://www.radiohc.cu/en/noticias/nacionales/337800-diaz-canel-says-cuba-will-not-accept-ignoring-genocide-against-palestinians>. The Republic of Cuba signed the Genocide Convention on 28 December 1949 and ratified it on 4 March 1953.

14 "Iranian president condemns Gaza 'genocide' in meeting with Putin", NBC News (7 December 2023), <https://www.nbcnews.com/video/iranian-president-condemns-gaza-genocide-in-meeting-with-putin-199670853701>. The Islamic Republic of Iran signed the Genocide Convention on 8 December 1949 and ratified it on 14 August 1956.

15 Recep Tayyip Erdoğan, President of Türkiye and AK Party Chairman, @RTErdogan, Tweet, (4:30 pm, 18 October 2023), <https://twitter.com/RTErdogan/status/1714665167978369531>. The Republic of Türkiye acceded to the Genocide Convention on 31 July 1950.

16 Nicolás Maduro, Presidente de la República Bolivariana de Venezuela, @NicolasMaduro, Tweet (7:40 pm, November 4, 2023) <https://twitter.com/NicolasMaduro/status/1720888719568191585>. The Bolivarian Republic of Venezuela acceded to the Genocide Convention on 12 July 1960.

17 "President Abbas urges Biden to stop Israel's ongoing genocide of Palestinians", WAFA (18 November 2023), <https://english.wafa.ps/Pages/Details/139394>. The State of Palestine acceded to the Genocide Convention on 2 April 2014.

18 UN, Meetings Coverage and Press Releases, Seventy-Eighth Session, 39th and 40th Meetings, GA/12566, Staggering Loss of Life in Gaza, Follow-on to Temporary Truce Dominate General Assembly Debate on Decades-Long Question of Palestine, GA/12566 (28 November 2023), <https://press.un.org/en/2023/ga12566.doc.htm>. The People's Republic of Bangladesh acceded to the Genocide Convention on 5 October 1998.

19 UN News, UN General Assembly adopts Gaza resolution calling for immediate and sustained 'humanitarian truce' (26 October 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/10/1142847>. The Arab Republic of Egypt signed the Genocide Convention on 12 December 1948 and ratified the Convention on 8 February 1952.

20 "Live updates | Israel rebuffs US push for humanitarian pause, says hostages must be released first", Associated Press (3 November 2023), <https://web.archive.org/web/20231117082155/https://thehill.com/homenews/ap/ap-international/ap-live-updates-israeli-troops-tighten-encirclement-of-gaza-city-as-top-us-diplomat-arrives-in-israel/>. The Republic of Honduras signed the Genocide Convention on 22 April 1949 and ratified the Convention on 5 March 1952.

21 "Israel subjects Palestinians 'to genocide,' says Sudani", Rudaw (6 November 2023), <https://www.rudaw.net/english/middleeast/06112023>. The Republic of Iraq acceded to the Genocide Convention on 20 January 1959.

22 "Jordan's foreign minister says Israel aiming 'to empty Gaza of its people'", AlJazeera (10

する集団懲罰であり、ジェノサイドである...」と述べ、「民間インフラの広範な破壊と国連職員を標的にしていること」を挙げて、「ガザの人々の85%が強制移住させられ、悲惨な状況で生活していることは、...パレスチナの人々を抹殺しようとする取り組みの表れである」と述べた³¹。

13. ジェノサイドの禁止が厳格な規範としての性格を持ち、条約上の義務はすべての国および締約国³²が負っているという事実を考慮すれば、イスラエルは、ジェノサイドの実行を停止し、防止し、処罰することをイスラエルが怠っていることについて、国際社会、ジェノサイド条約締約国、特に南アフリカから表明された重大な懸念を十分に認識していたことになる。南アフリカの懸念は、特に以下のように表明されている。

— 2023年10月30日、南アフリカ国際関係協力省は声明を発表し、国際社会に対し、国際法違反の責任をイスラエルに問うよう呼びかけた。声明は、ガザにおいて「ジェノサイド犯罪が、悲しいかな、魔手を掲げている」と注意喚起し、さらに「ブラジルのルラ・ダ・シルヴァ大統領がガザへの攻撃をジェノサイドと呼んだ」ことや、南アフリカのナレディ・パンドール国際関係協力大臣が2023年10月24日の国連安全保障理事会で演説し、「新たなジェノサイドが展開されている間、国際社会が手をこまねいてはならない」と念を押したことを想起した。³³

— 11月7日、南アフリカの国際関係大臣は、南アフリカ国民議会で演説し、「ジェノサイド

December 2023), <https://www.aljazeera.com/news/2023/12/10/jordan-foreign-minister-says-israel-aiming-to-empty-gaza-of-its-people>. The Hashemite Kingdom of Jordan acceded to the Genocide Convention on 3 April 1950.

23 UN, Meetings Coverage and Press Releases, 9451st Meeting, SC/15462, Amid Increasingly Dire Humanitarian Situation in Gaza, Secretary-General Tells Security Council Hamas Attacks Cannot Justify Collective Punishment of Palestinian People (24 October 2023), <https://press.un.org/en/2023/sc15462.doc.htm>. The State of Libya acceded to the Genocide Convention on 16 May 1989.

24 Ministry of Foreign Affairs, Malaysia, Malaysia Acknowledges Breakthrough in the United Nations Security Council on the Israeli-Palestinian Conflict (17 November 2023), <https://www.kln.gov.my/web/guest/-/malaysia-acknowledges-breakthrough-in-the-united-nations-security-council-on-the-israeli-palestinian-conflict>. Malaysia acceded to the Genocide Convention on 20 December 1994.

25 Neville Gertze, Ambassador of Namibia to the United Nations, Ministry of International Relations and Cooperation- Namibia, Facebook (25 October 2023), <https://fb.watch/oTgjaUXQd0/>. The Republic of Namibia acceded to the Genocide Convention on the 28 November 1994.

26 Naveed Butt, "Pakistan terms Gaza siege genocide of Palestinians", Business Recorder (16 October 2023), <https://www.brecorder.com/news/40268277>. The Islamic Republic of Pakistan signed the Genocide Convention on 11 December 1948 and acceded to the Convention on 12 October 1957.

27 UN, Meetings Coverage and Press Releases, Seventy-Eighth Session 24th and 25th Meetings, GA/SHC/4385, Third Committee Spotlights Human Rights Abuses in Conflicts, Stressing Need to End Terrorist Attacks, Genocide, Illegal Hostage-Taking, Enforced Displacement (17 October 2023), <https://press.un.org/en/2023/gashc4385.doc.htm>. The Syrian Arab Republic acceded to the Genocide Convention on 25 June 1955.

28 United Nations, Meetings Coverage and Press Releases, 9451st Meeting, SC/15462, Amid Increasingly Dire Humanitarian Situation in Gaza, Secretary-General Tells Security Council Hamas Attacks Cannot Justify Collective Punishment of Palestinian People (24 October 2023), <https://press.un.org/en/2023/sc15462.doc.htm>. The Republic of Tunisia acceded to the Genocide Convention on the 29 November 1956.

29 "Qatari emir: 'This is a genocide committed by Israel'", Al Jazeera English (5 December 2023), <https://www.youtube.com/watch?v=drOuwKvDt8o>.

30 "Mauritania Condemns Israeli Heinous Crimes in Gaza", Agence Mauritanienne d'Information (18 October 2023), <https://ami.mr/en/archives/11732>.

31 UN Meetings Coverage, 9498th Meeting, SC/15518 (8 December 2023), <https://press.un.org/en/2023/sc15518.doc.htm> (emphasis added).

32 The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 17, para. 41.

33 South Africa, Department of International Relations and Cooperation ('DIRCO'), South Africa calls for the International community to hold Israel accountable for breaches of International Law (30 October 2023), <https://www.dirco.gov.za/south-africa-calls-for-the-international-community-to-hold-israel-accountable-for-breaches-of-international-law/>.

の犯罪は、現在のガザ情勢に、悲しいかな魔手を掲げている」と警告し、「1994年、アフリカ大陸でジェノサイドが発生し、罪のない人々が虐殺されるのを全世界の多くの人々が傍観した」ことを想起し、南アフリカはそのようなことが再び起こるのを傍観することはできないと強調した。

34

— 2023年11月10日、南アフリカ国際関係協力局（「DIRCO」）局長は、駐南アフリカ・イスラエル大使に対して正式な外交手段を通じて、南アフリカは「ハマースによる民間人への攻撃を非難」し、これは「戦争犯罪として調査されるべき」であり、「イスラエルによる対応は違法」であり、南アフリカはジェノサイドを含む犯罪について「ICCがイスラエルのリーダーシップについて捜査することを望んでいる」と通告した³⁵

— 2023年11月13日、南アフリカのシリル・ラマポーザ大統領は、在イスラエル南アフリカ大使館の再開などを要請した南アフリカ・ユダヤ人委員会 South African Jewish Board of Deputiesの指導者との大統領官邸での会合で、「集団的懲罰とガザへの継続的な砲撃を通じて、女性や子どもを含むパレスチナの人々に加えられているジェノサイドを非難した」。³⁶

— 2023年11月17日、南アフリカ大統領はカタール訪問中に、南アフリカがパレスチナ情勢を国際刑事裁判所に提訴することを発表し、「ジェノサイドが行われている強制収容所と化したガザで今まさに起きていること」に強い憤りを表明した。³⁷

— その後2023年11月17日、ハーグの南アフリカ共和国大使館は、南アフリカ共和国を代表して、ジェノサイド条約の他の3つの締約国、すなわちバングラデシュ、ボリビア、コモロと、さらにジブチを加えた5か国の共同で、パレスチナ国の情勢を国際刑事裁判所検事局に付託し、国際刑事裁判所ローマ規程（以下「ローマ規程」）第6条（a）、（b）、（c）に規定されるジェノサイドの罪を含め、同検察官が同裁判所の管轄範囲内の犯罪を積極的に捜査するよう要請した。³⁸

— 2023年11月21日、BRICS（ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ）首脳とBRICS招待国首脳による中東情勢に関する臨時合同会議で、中東における「重大な世界的懸念の問題」を扱うために招集された演説で、南アフリカ大統領は、「ガザの住民に対する医薬品、燃料、食料、水の意図的な拒否は、ジェノサイドに等しい」と主張した。³⁹

34 South Africa, DIRCO, Ministerial Statement on the Ongoing Israeli-Palestinian Conflict by Dr GNM Pandor, Minister for International Relations and Cooperation, in the National Assembly House of Parliament (7 November 2023) <https://www.dirco.gov.za/ministerial-statement-on-the-ongoing-israeli-palestinian-conflict-by-dr-gnm-pandor-minister-for-international-relations-and-cooperation-in-the-national-assembly-house-of-parliament-7-november-2023/>.

35 South Africa, DIRCO, DIRCO démarches the Ambassador of the State of Israel (10 November 2023) <https://www.dirco.gov.za/dirco-demarches-the-ambassador-of-the-state-of-israel/>.

36 South Africa, The Presidency, President Ramaphosa Meets with the South African Jewish Board of Deputies (13 November 2023), <https://www.thepresidency.gov.za/president-ramaphosa-meets-south-african-jewish-board-deputies>. 37 Kate Bartlett, "South Africa Refers Israel to The Hague Over Gaza 'War Crimes'", VOA News (17 November 2023) <https://www.voanews.com/a/south-africa-refers-israel-to-the-hague-over-gaza-war-crimes-/7359022.html>.

37 Kate Bartlett, "South Africa Refers Israel to The Hague Over Gaza 'War Crimes'", VOA News (17 November 2023) <https://www.voanews.com/a/south-africa-refers-israel-to-the-hague-over-gaza-war-crimes-/7359022.html>.

38 South Africa, Embassy in the Netherlands, Letter from the South African Embassy in the Netherlands to the Prosecutor of the International Criminal Court (17 November 2023), <https://www.icc-cpi.int/sites/default/files/2023-11/ICC-Referral-Palestine-Final-17-November-2023.pdf>.

39 South Africa, the Presidency, Opening remarks by President Cyril Ramaphosa to the Extraordinary Joint Meeting of BRICS Leaders and Leaders of invited BRICS members on the situation in the Middle East (21 November 2023), <https://www.thepresidency.gov.za/opening->

— 2023年12月12日、第10回国連総会緊急特別会合（イスラエルが出席）で、南アフリカの駐国連大使が演説し、「過去6週間のガザでの出来事は、イスラエルがジェノサイド条約の義務に反して行動していることを物語っている」と述べた。彼女は、「国連加盟国として、また南アフリカがアパルトヘイト体制というつらい過去を経験していることから、加盟国である私たちは、国際法に従って行動を起こすことを強く求められている」と強調した。⁴⁰

— 2023年12月21日、南アフリカは在南アフリカ・イスラエル大使館に非公式書簡を送り、その中で、ガザにおける「この紛争の背景のなかでジェノサイドの防止及び処罰に関する1948年条約に定義されるジェノサイドまたは関連犯罪の閾値を満たす行為が行われてきており、現在も行われている可能性があるという信頼できる報告」について懸念を表明した。非公式書簡は「南アフリカは、ジェノサイド罪の防止及び処罰に関する条約の締約国として、ジェノサイドの発生を防止する条約上の義務を負っており、したがって、同条約の締約国でもあるイスラエルに対し、ガザにおける敵対行為を直ちに停止し、同条約に基づく義務違反を構成する行為、あるいは条約違反を防止しない行為をやめるよう要請する」とした。南アフリカは、「イスラエル政府高官などのレトリックに警告を発し」、イスラエルに対し、「ジェノサイドへの直接的かつ公然の教唆を防止し、処罰する」ことも求めた。非公式書簡は、ジェノサイド条約に基づく自国の義務の履行と、イスラエルによるジェノサイド条約に基づく義務の違反とその詳細に関する南アフリカの主張を、イスラエルに直接伝えるものとなった。⁴¹

14. イスラエルは、2023年12月21日に送られた南アフリカの非公式書簡に対して直接回答していない。ただしイスラエルは、ガザでの軍事行動について、国際法に違反しているとの指摘を公に拒否している。特にイスラエルは、イスラエルのガザへの軍事攻撃が「ジェノサイドの法的定義」を満たし、「単に罪のない人々の殺害や生活の破壊だけでなく、ガザから人々を完全に排除する組織的な努力」を目的としているという主張を、「言語道断かつ虚偽」として退けている。⁴² イスラエルは、ガザでの行為がジェノサイド条約に基づく義務に違反していることを否定し、「イスラエルに対するジェノサイドの非難は、事実と法律の問題としてまったく根拠がないだけでなく、道徳的に嫌悪感を抱かせる」、「反ユダヤ主義的」なものだと主張している。⁴³ さらに、イスラエルは、ガザのパレスチナの人々に対してジェノサイドだと主張されるような行為や不作為を行ってきており現在も行っており、その態度や行動において、イスラエルは、ガザでの行動がジェノサイド条約に基づく義務の制約を受けるといふいかなる示唆にも、指摘にも、反論している。実際、イスラエル首相は2023年12月26日にこう断言した。「我々は戦い続けており、近々戦闘を深化させる予定であり、これは長い戦いになるだろうし、まだ終わりそうにはない」。⁴⁴ したがって、イスラエル自身の行動が両当事者の見解の相違を明確にしている。南アフリカは、ジェノサイド条約の締約国として、ガザでのジェノサイドやそのリスクを防ぐために行動する責

remarks-president-cyril-ramaphosa-extraordinary-joint-meeting-brics-leaders-and-leaders.

⁴⁰ UN News, UN General Assembly votes by large majority for immediate humanitarian ceasefire during emergency session (video of the session at 1:13:37) (12 December 2023) <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144717>.

⁴¹ South Africa, DIRCO, Note Verbale (21 December 2023).

⁴² "Jordan says Israel aims to expel Palestinians from Gaza", Reuters (10 December 2023), <https://www.reuters.com/world/middle-east/jordan-says-israel-aims-expel-palestinians-gaza-2023-12-10/>.

⁴³ Israeli Ministry of Foreign Affairs, The War Against Hamas: Answering Your Most Pressing Questions (15 December 2023), <https://www.idf.il/en/mini-sites/hamas-israel-war-23/all-articles/the-war-against-hamas-answering-your-most-pressing-questions/>.

⁴⁴ Statement by Israeli Prime Minister to Likud Party, 25 December 2023: Jeremy Sharon, "After rare visit to Gaza, Netanyahu says war 'not close to being over'", The Times of Israel (25 December 2023), https://www.timesofisrael.com/liveblog_entry/after-gaza-visit-netanyahu-says-war-not-close-to-being-over/.

任を負う、という自らの主張を撤回するものではない。

15. 当裁判所の確立された判例法によれば、紛争とは当事者間の「法律または事実に関する意見の相違、法的見解または利害の対立」である。⁴⁵このような意見の相違や「一方の当事者による他方の当事者による主張に対する積極的な反対は、必ずしも明示的に述べる必要はない…当事者の立場や態度は、その当事者が公言している見解が何であれ、推認によって確定することができる」⁴⁶

16. イスラエルと南アフリカとの間には、南アフリカがジェノサイドを防止する義務を遵守しているかどうか、イスラエルがジェノサイドを行わない義務およびジェノサイド（ジェノサイドへの直接的かつ公然の教唆を含む）を防止し処罰する義務を遵守しているかどうか、そして、被害者に賠償を行い、ジェノサイドを繰り返さないという確約と保証を行うかどうかについて、ジェノサイド条約の解釈と適用に関する紛争が存在することは明らかである。南アフリカの主張が、ジェノサイド条約締約国としてジェノサイドを防止するために行動する自国の義務——イスラエルの作為および不作為がその原因となっている——に関わるものであることを考えれば、南アフリカがこのこととの関係において原告適格を有することは明らかである。さらに、「特別な影響を受ける国だけでなく、ジェノサイド条約のいかなる締約国も、すべての当事者が義務の不履行の疑いを確認し、その不履行に終止符を打つことを目的として、他の締約国の責任を問うことができる」ことから、南アフリカもまた、「ジェノサイド条約に基づく義務違反の疑いを根拠として」イスラエルとの紛争を裁判所に提出する「明白な資格を有する」。⁴⁷

17. したがって、裁判所規程第36条1項およびジェノサイド条約第9条に従い、当裁判所は、南アフリカがイスラエルに対して本申立てで提出した請求を審理する管轄権を有する。

III. 事実関係

A. 緒言

18. 2023年10月7日以来、イスラエルは、世界で最も人口密度の高い場所のひとつである約365平方キロメートルの細長い土地、ガザ地区（以下「ガザ」という）に対して、陸・空・海による大規模な軍事攻撃を行ってきた。⁴⁸ガザには約230万人の人々が住んでおり、その半数近くは子どもであるが、イスラエルによる近代戦争史上「最も大規模な通常爆撃軍事作戦」のひとつと評される攻撃にさらされてきた。⁴⁹2023年10月29日までだけでも、1週間あたり6,000発の爆弾がこの小さな孤立地域に投下されたと推定されている。⁵⁰わずか2ヶ月あまりの間に、イスラエルの軍事

⁴⁵ *The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020*, p. 13, para. 27, citing *Land and Maritime Boundary between Cameroon and Nigeria (Cameroon v. Nigeria)*, Preliminary Objections, Judgment, I.C.J. Reports 1998, p. 315, para. 89.

⁴⁶ *Ibid.*

⁴⁷ *The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020*, p.17, paras. 41-42.

⁴⁸ UN OCHA, *Hostilities in the Gaza Strip - Reported Impact* (5 December 2023),

https://www.ochaopt.org/sites/default/files/Gaza_casualties_info-graphic_5_Dec_2023%20final.pdf.

⁴⁹ John Paul Rathbone, "Israel's Gaza attack 'one of history's heaviest conventional bombing campaigns'", *The Irish Times* (6 December 2023),

<https://www.irishtimes.com/world/middle-east/2023/12/06/israels-gaza-attack-one-of-historys-heaviest-conventional-bombing-campaigns/>.

⁵⁰ Francesca Albanese, UN Special Rapporteur on the situation of Human Rights in the Palestinian

攻撃は「2012年から2016年にかけてのシリアのアレッポの破壊や、ウクライナのマリウポリ、あるいは第二次世界大戦における連合国によるドイツへの爆撃に匹敵する破壊をもたらした」⁵¹イスラエルによる破壊はあまりに極端で、「宇宙から見てもまったく別の色だ。地面の性格もまるで違う」。⁵²国連事務総長が2023年12月6日付で国連安全保障理事会議長に宛てた書簡⁵³の中で次のように述べており、これは国連総会は2023年12月12日付の決議ESI0/22「民間人の保護と法的・人道的義務の堅持に関する決議」の中で直ちに「留意」されている。⁵⁴

「ガザ全域の市民が深刻な危険に直面している。イスラエルの軍事作戦が始まって以来、15,000人以上の人々が殺害され、その40%以上が子どもだったと報告されている。その他にも数千人が負傷している。家屋の半数以上が破壊された。220万人の人口の約80%が強制的に避難させられ、ますます狭い地域に押し込められた。110万人以上の人々がガザ全域のUNRWA施設に避難し、尊厳を維持できず、不衛生な状況を作り出している。また、避難する場所がなく、路上に身を置く人々もいる。戦争による爆発物の残骸が散乱し、多くの地域が居住不能となっている。民間人を効果的に保護することはできていない。

ガザの保健医療システムは崩壊しつつある。病院は戦場と化している。36の病院のうち、部分的にでも機能しているのは14の病院だけだ。ガザ南部にある2つの大病院は、ベッド数の3倍の患者を常に受け入れており、基本的な物資や燃料が不足している。彼らはまた、何千人もの避難者を受け入れている。このような状況では、今後数日から数週間のうちに、治療を受けられずに亡くなる人々が増えるだろう。

ガザにおいて安全な場所はどこにもない。

イスラエル防衛軍による絶え間ない爆撃の最中において、しかも生き残るためのシェルターまたは必需品もなく、私は、絶望的な状態のゆえに公秩序が完全に破綻することを予期し、限られた人道支援さえ不可能になっていると思う。さらに悪い状況が生じる可能性があり、これには、疫病および近隣諸国への大量移動に向けた圧力の増加という事態が含まれる。

ラファを通じた物資の輸送は続いているが、量は不十分で、戦闘の一時停止が終了して以来減少している。私たちは、ガザ地区で支援を必要としている人々にサービスを提供することができない。...私たちは、人道支援システムの崩壊の重大なリスクに直面している。状況は、急速に悪化しており、パレスチナ人全体にとって、またこの地域における平和と安全にとって、潜在的に不可逆的な意味を持った破局に向かっている。このような結果は、いかなる代価を払っても、避け

territories occupied since 1967, an interview with UN News, 29 October 2023, <https://news.un.org/en/story/2023/10/1142952>; see also: Natasha Bertrand and Katie Bo Lillis, "Exclusive: Nearly half of the Israeli munitions dropped on Gaza are imprecise 'dumb bombs', US intelligence assessment finds", CNN (14 December 2023), <https://edition.cnn.com/2023/12/13/politics/intelligence-assessment-dumb-bombs-israel-gaza/index.html>; "Why is Israel using so many dumb bombs in Gaza", The Economist (16 December 2023), <https://www.economist.com/interactive/middle-east-and-africa/2023/12/16/why-is-israel-using-so-many-dumb-bombs-in-gaza>.

51 Julia Frankel, "Israel's military campaign in Gaza seen as among the most destructive in history, experts say", AP News (21 December 2023), <https://apnews.com/article/israel-gaza-bombs-destruction-death-toll-scope-419488c511f83c85baea22458472a796>.

52 Ibid.

53 The Secretary-General, Letter by the Secretary-General to the President of Security Council invoking Article 99 of the United Nations Charter (6 December 2023), https://www.un.org/sites/un2.un.org/files/sg_letter_of_6_december_gaza.pdf.

54 General Assembly resolution ES-10/22, Protection of civilians and upholding legal and humanitarian obligations, A/RES/ES-10/22 (12 December 2023), <https://www.un.org/unispal/wp-content/uploads/2023/12/N2339709.pdf>.

なければならない」。⁵⁵

19. この書簡が書かれて以来、犠牲者の数はさらにさらに増加した。ガザで少なくとも21,110人のパレスチナ人が死亡し、55,243人以上のパレスチナ人が負傷し、その多くが重傷を負った。⁵⁶死者数には、7,729人を超える子どもたちが含まれているが⁵⁷、いまだに行方不明で、瓦礫の下で死んだと推定されている4,700人の女性と子どもたちは含まれていない。⁵⁸いくつもの多世代家族が一人残らず消滅させられている。ガザの住宅ストックの60%以上に相当する35万5,000戸以上の家屋が損壊または破壊された。⁵⁹190万人のパレスチナ人（全人口の約85%）が国内避難民となった。⁶⁰多くのパレスチナ人は、イスラエルに命じられて北部から南部に逃れたが、南部で再び爆撃を受け、さらに南へ、あるいは南西部に逃げるように言われ、水も衛生設備もその他の施設もないキャンプで、仮設テント生活を余儀なくされている。⁶¹イスラエルはガザの病院を爆撃、砲撃、包囲し、36の病院のうち13しか部分的に機能していないし、完全に機能している病院はガザ北部には残っていない。⁶²ガザの医療制度はほとんど崩壊しており、麻酔なしで手足の切断手術や帝王切開などの手術が行われたとの報告書もある。⁶³負傷者や病人のかなりの割合が、適切な治療を受けることができていない。⁶⁴感染症や伝染病が避難民であるパレスチナ人の間で蔓延しており、専門家は髄膜炎やコレラなどの発生のリスクに注意を促している。⁶⁵ガザの全人口は、飢餓の差し迫ったリスクにさらされている。一方、総合的食料安全保障レベル分類（「IPC」）によると、緊急の食料不安の影響を受けている世帯の割合は、過去最大の記録となっ

55 The Secretary-General, Letter by the Secretary-General to the President of Security Council invoking Article 99 of the United Nations Charter (6 December 2023), https://www.un.org/sites/un2.un.org/files/sg_letter_of_6_december_gaza.pdf.

56 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #78 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-78> ; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day 82 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-82> . Statistics cited in this Application are up to date to 27 December 2023. UNOCHA collates locally collected data.

57 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #78 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-78>.

58 Red Crescent Society, Palestine Red Crescent Society Response Report As of Saturday, October 7th 2023, 6:00 PM Until Sunday, December 24th 2023, 24:00 AM (24 December 2023), p.1, <https://www.palestinercs.org/public/files/image/2023/News/latestresponse23012023/en%20220%202023.pdf>.

59 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - Reported Impact | Day 73 (19 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-73>.

60 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #77 (26 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-77>.

61 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #60 (5 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update>

62 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #78 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-78>.

63 UN News, Gaza: UN's Türk calls for political path out of 'horror' (16 November 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/11/1143657>; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #32 (7 November 2023), <https://www.unocha.org/publications/report/occupied-palestinian-territory/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-32>; UN News, Interview: 5,500 women in Gaza set to give birth 'in race against death' (7 November 2023), <https://news.un.org/en/interview/2023/11/1143327>.

64 UN News, Gaza doctors 'terrified' of deadly disease outbreak as aid teams race to deliver (28 November 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/11/1144032>.

65 World Health Organization ('WHO'), WHO Director-General's opening remarks at the Special Session of the Executive Board on the health situation in the occupied Palestinian territory - 10 December 2023 (10 December 2023), <https://www.who.int/director-general/speeches/detail/who-director-general-s-opening-remarks-at-the-special-session-of-the-executive-board-on-the-health-situation-in-the-occupied-palestinian-territory---10-december-2023>; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #67 (12 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-67>.

ている。⁶⁶ 専門家は、飢えと脱水によって引き起こされる静かで緩慢な死は、イスラエルの爆弾やミサイルによってすでに引き起こされている武力による死を上回る危険性があると警告している。

67

20. 国連総会は「ガザ地区の壊滅的な人道的状況とパレスチナ民間人の苦しみに深刻な懸念」を表明し⁶⁸、国連安全保障理事会は特に「子どもに不釣り合いな影響が及んでいる」と指摘した。⁶⁹ 国連総会はまた、2023年12月12日の決議ES10/22で、国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）の事務局長から総会議長に宛てた2023年12月7日付の書簡に「留意」することを表明した。この前代未聞の書簡の中で、事務局長は「（自分が）果たすべき任務の破綻を予測」し、ガザとその人々の壊滅に終止符を打つ」ことを求めている。⁷⁰

B. 背景

1. ガザ地区（「ガザ」）

21. ガザ地区は、西は地中海に面し、南はエジプトと、北と東はイスラエルと国境を接する細長い土地である。東エルサレムを含むヨルダン川西岸地区とともに、パレスチナ被占領地（「oPt」、1967年以降イスラエルが占領）であり、この2つの地区を領土とするパレスチナ国家は、1995年2月15日に南アフリカに承認され、2012年11月29日に国連で非加盟オブザーバー国の地位を与えられている⁷¹

⁶⁶ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #77 (26 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-77>; UN OCHA, Remarks to the media by the Secretary-General (22 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/remarks-media-secretary-general>.

⁶⁷ Interview with James Elder, UNICEF spokesperson by Channel 4, "This is a war on children" says UNICEF spokesperson James Elder, who recently returned from Gaza", Channel 4 (14 December 2023), <https://www.channel4.com/news/this-is-a-war-on-children-says-unicef-spokesperson-james-elder-who-recently-returned-from-gaza>; "Disease could kill more in Gaza than bombs, WHO says amid Israeli siege", AlJazeera (28 November 2023), <https://www.aljazeera.com/news/2023/11/28/disease-could-kill-more-in-gaza-than-bombs-who-says-amid-israeli-siege>.

⁶⁸ General Assembly resolution ES-10/22, Protection of civilians and upholding legal and humanitarian obligations, A/RES/ES-10/22, (12 December 2023), <https://www.un.org/unispal/wp-content/uploads/2023/12/N2339709.pdf>; General Assembly resolution ES-10/21, Protection of civilians and upholding legal and humanitarian obligations, A/RES/ES-10/21, (30 October 2023), <https://www.un.org/unispal/document/protection-of-civilians-and-upholding-legal-and-humanitarian-obligations-ga-resolution-a-res-es-10-21/>.

⁶⁹ Security Council resolution 2712, The situation in the Middle East, including the Palestinian Question, S/RES/2712 (15 November 2023), <https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/N23/359/02/PDF/N2335902.pdf?OpenElement>.

⁷⁰ UNRWA, Letter from UNRWA Commissioner-General Philippe Lazzarini to the UN General Assembly President Mr. Dennis Francis dated 7 December 2023 (7 December 2023), <https://www.unrwa.org/resources/un-unrwa/letter-unrwa-commissioner-general-philippe-lazzarini-un-general-assembly> (emphasis added).

⁷¹ General Assembly resolution 67/19, Status of Palestine in the United Nations, A/RES/67/19 (28 November 2012), https://digitallibrary.un.org/record/739031/files/A_RES_67_19-EN.pdf. 82 States had recognised the State of Palestine in 1988, following the transmission of a declaration on the establishment of the State of Palestine by the Palestine Liberation Organization ('PLO') to the UN Secretary-General on behalf of the Arab League (Declaration of State of Palestine - Palestine National Council, Letter dated 18 November 1988 from the Permanent Representative of Jordan to the United Nations addressed to the Secretary-General (18 November 1988), <https://www.un.org/unispal/document/auto-insert-178680/>). The State of Palestine is now recognised by 138 States (Permanent Observer Mission of the State of Palestine to the United Nations New York, Diplomatic Relations, <http://palestineun.org/about-palestine/diplomatic-relations/>).

22. ガザの人口は約230万人で、その半数以上が子どもである。ガザのパレスチナ人の80%は、現在のイスラエル国⁷²にある町や村からの難民（およびその子孫）である。イスラエル建国時に75万人以上のパレスチナ人が退去や避難を余儀なくされた集団難民化の結果であり、そのときの状況は「ナクバ」として記憶されている。⁷³従って、ナクバもその時期の集団難民化も、ガザに住むパレスチナ人の歴史と意識の中で際立って特徴的な出来事であるし、それはパレスチナ人全般にとっても同様である。ガザのパレスチナ人は、国民的、人種的、民族的集団としてのパレスチナ人の相当な部分を構成している。彼らはパレスチナ国家を構成する2つの地区のうちの1つの人口を占める、集団の重要な一部である。数の上でも、彼らは、約548万人を数える占領下のパレスチナ国家の人口の相当な部分を占めている。⁷⁴（地図⁷⁵）

23. ガザは5つの行政区で構成されている。北ガザとガザ県は「北部」を構成し、ワディ・ガザ川以北から、イスラエルへの徒歩による越境地点であるエレッツ国境検問所（「ベイトハヌーン検問所」とも呼ばれる）にかけての部分である。「北部」には通常、約110万人のパレスチナ人が住んでおり⁷⁶、その多くはガザ市（人口約713,488人）⁷⁷、ベイト・ラヒア、ベイト・ハヌーン、ビーチ、ジャバリヤなどの難民キャンプに集中している。ガザ最大の病院であるアル・シーハ病院やカマル・アドワン病院がある。ディール・バラフ県（「中部」）は、通常302,507人の住民⁷⁸を擁し、多くはディール・バラフ市、マガジ、ヌセイラット、ブレイジ、ディール・バラフの難民キャンプに住んでいる。ここにはガザ唯一の発電所がある。ハーン・ユーニス県とラファ県（「南部」）は、ディール・バラフ県より南にあり、エジプトへの越境地点であるラファ検問所まで広がっている。南部の主な人口集中地は、ハーン・ユーニス市とラファ市、そしてハーン・ユーニスとラファの難民キャンプである。ケレム・シャローム検問所（「カレム・アブー・サレーム検問所とも呼ばれる）はラファの西4キロメートルに位置する。南部にはナセル病院がある。⁷⁹ 2023年10月以前の南部の人口は約673,844人であった。⁸⁰中部と南部には現在、120万人以上の国内避難民が98のUNRWA施設に収容されている。⁸¹また、2023年12月第1週の敵対行為再開時にイスラエルが「安全地帯」と称したAl-Mawasi地区（ガザの地中海沿岸のほとんど未開発の砂地にあるパレスチナ系遊牧民の集住地域）⁸²では、数万人が仮設テントで暮らしている。⁸³さらに約16万人

72 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day 73 (19 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-73>.

73 UNRWA, About UNRWA (2012), <https://www.unrwa.org/userfiles/2012050753530.pdf>, p. 17.

74 State of Palestine - Palestinian Central Bureau of Statistics ('PCBS'), The International Population Day, 11/07/2023 (10 July 2023), <https://www.pcbs.gov.ps/post.aspx?lang=en&ItemID=4544#:~:text=About%2014.5%20Million%20Palestinians%20in,the%20State%20of%20Palestine%3B%202>.

75 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day 73 (19 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-73>.

76 UN OCHA, Israel must rescind evacuation order for northern Gaza and comply with international law: UN expert (13 October 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/10/israel-must-rescind-evacuation-order-northern-gaza-and-comply-international>.

77 State of Palestine - Palestinian Central Bureau of Statistics, Estimated Population in Palestine Mid-Year by Governorate, 1997-2021, <https://tinyurl.com/34rb8w38>.

78 Ibid.

79 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #66 (11 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-66>.

80 State of Palestine - Palestinian Central Bureau of Statistics, Estimated Population in Palestine Mid-Year by Governorate, 1997-2021, <https://tinyurl.com/34rb8w38>.

81 UNRWA, UNRWA Situation Report #53 on the Situation in the Gaza Strip and the West Bank, including East Jerusalem (17 December 2023), <https://www.unrwa.org/resources/reports/unrwa-situation-report-53-situation-gaza-strip-and-west-bank-including-east-jerusalem>.

82 UN Economic and Social Commission for Western Asia (ESCWA), Al-Mawasi area, <https://archive.unescwa.org/al-mawasi-area>.

83 Israel Defense Forces, "Based on the morals and values of our military establishment, the Israel Defence Army publishes a

のパレスチナ人の避難民が、北部のUNRWA施設に残っていると考えられている。⁸⁴

24. 2005年まで、ガザは現在のヨルダン川西岸地区と同様、イスラエル軍部隊が駐留していた。しかし2005年、イスラエルは一方向的にガザから「離脱」し、軍事基地を解体し、ガザに入植していたイスラエル人入植者をイスラエルに戻し、ヨルダン川西岸地区に移転させた。⁸⁵その「撤退」宣言にもかかわらず、イスラエルは引き続きガザの領空、領海、検問所、水、電気、電波、民生インフラを管理し⁸⁶、ガザのパレスチナ人住民登録の管理など、主要な政府機能を管理している。⁸⁷イスラエルによる実効支配が続いていることから、ガザは依然としてイスラエルによる軍事占領下にあると国際社会からみなされている。⁸⁸イスラエルが、ガザへの出入国、水、燃料、電力、食料の供給をほぼ全面的に支配していることは、2023年10月7日以降、顕著に証明されている。

25. ガザへの空路と海路による出入国は1990年代初頭から禁止されており、イスラエルはエレット検問所（歩行者用）とケレム・シャローム検問所（物資用）の2カ所を開けて、ガザのパレスチナ人が東エルサレムを含むヨルダン川西岸地区へ、業務、貿易、医療、社会的・家族的行事のために移動することを管理していた。⁸⁹しかし、2006年にハマースが選挙で勝利し、パレスチナ人の間で武力衝突が起きたため、イスラエルはガザ全域を「敵地」と宣言し、厳重に封鎖した。⁹⁰人の移動に対する既存の制限は大幅に強化され、ガザに住むパレスチナ人のほとんどは域外への移動許可を得ることができず、多くのパレスチナ人家族が長期にわたる無期限の別居を余儀な

list of the number of blocks to direct the inhabitants of Gaza in the evacuation of targeted areas" (1 December 2023), <https://tinyurl.com/mtapebm7>; "Palestinians displaced to south Gaza's overcrowded areas living on streets", AlJazeera (10 December 2023), <https://www.aljazeera.com/gallery/2023/12/9/palestinians-displaced-to-south-gazas-overcrowded-areas-living-on-streets>.

84 UNRWA, UNRWA Situation Report #56 on the Situation in the Gaza Strip and the West Bank, including East Jerusalem (22 December 2023), <https://www.unrwa.org/resources/reports/unrwa-situation-report-56-situation-gaza-strip-and-west-bank-including-east-jerusalem>.

85 Human Rights Council, Report of the Independent International Commission of Inquiry on the Occupied Palestinian Territory, including East Jerusalem, and Israel, A/HRC/50/21 (9 May 2022), para. 16.

86 GOV.UK, Guidance Overseas business risk: The Occupied Palestinian Territories (22 February 2022), <https://www.gov.uk/government/publications/overseas-business-risk-palestinian-territories/overseas-business-risk-the-occupied-palestinian-territories>, para. 2.5.

87 Human Rights Council, Report of the Independent International Commission of Inquiry on the Occupied Palestinian Territory, including East Jerusalem, and Israel, A/HRC/50/21 (9 May 2022), para. 16.

88 See e.g., Security Council resolution 1860, S/RES/1860 (2009) (8 January 2009), where the Security Council stressed

"that the Gaza Strip constitutes an integral part of the territory occupied in 1967 and will be a part of the Palestinian state," <https://digitallibrary.un.org/record/645525?ln=en#record-files-collapse-header>. Recently reaffirmed in General Assembly Resolution 77/30, Assistance to the Palestinian People, A/RES/77/30 (6 December 2022),

<https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/N22/729/08/PDF/N2272908.pdf?OpenElement> [別のリンク: <https://digitallibrary.un.org/record/3997260?v=pdf>]. See also, Human Rights Council, Human rights situation in Palestine and the other occupied Arab territories, Report of the detailed findings of the independent international Commission of inquiry on the protests in the Occupied Palestinian Territory, A/HRC/40/CRP.2 (18 March 2019),

https://www.un.org/unispal/wp-content/uploads/2019/06/A.HRC_.40.CPR_.2.pdf. Security Council resolution 2720 (2023), adopted on 22 December 2023, stresses that "the Gaza Strip constitutes an integral part of the territory occupied in 1967" and reiterates "the vision of the two-State solution, with the Gaza Strip as part of the Palestinian State," <https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/N23/424/87/PDF/N2342487.pdf?OpenElement>.

89 Egypt operates a third crossing - the Rafah Crossing - between Gaza and Egypt. UNCTAD, Economic costs of the Israeli occupation for the Palestinian people: the Gaza Strip under closure and restrictions (13 August 2020), https://unctad.org/system/files/official-document/a75d310_en_1.pdf, paras. 6, 8.

90 Israel Ministry of Foreign Affairs, Security Cabinet declares Gaza hostile territory (19 September 2007), <https://www.gov.il/en/Departments/General/security-cabinet-declares-gaza-hostile-territory>.

くされた。⁹¹ 越境資格を持つ数少ない人々でも「必ずしも許可証を受け取れるわけではなく、ほとんどの場合、手続きの遅延や困難に遭遇した」。⁹² 世界保健機関（WHO）は、2008年から2021年の間に、839人のパレスチナ人が、緊急治療のためにガザを離れる医療許可を待っている間に死亡したことを報告している。⁹³ 許可証の大半は、日雇い労働者や農産物商人のためのもので、主にイスラエルやヨルダン川西岸地区のイスラエル入植地で未熟練労働に従事するためのものだった。⁹⁴ 2007年から2010年にかけて、イスラエルはガザへの食料輸入を、飢餓や栄養失調とならない1人当たりの消費カロリーをもとに算出したと称して、「人道的な最低限度」に制限した。⁹⁵ その後イスラエルは、ガザへの輸入品目に「二重用途」制度を適用し、民生用と軍事用の二重用途が可能であると見なされる物品を禁止することで、物資の持ち込みを厳しく制限した。⁹⁶

26. イスラエルはまた、ガザ東部の国境フェンスの内側に幅広い緩衝地帯を並行して設定し（ガザの約24%への立ち入りを制限すると推定される）、主要な農地を縮小することで、域内の食料供給に深刻な影響を与えている。⁹⁷ さらにイスラエルは、パレスチナ人がオスロ合意（1990年代前半にPLOとイスラエルの間で締結された暫定自治協定）で定められた20海里の漁業水域全体を利用することは許さず、漁業を極めて危険なものにしている。海上封鎖は、イスラエル軍による武力行使、逮捕、漁具の没収によって強制され、ガザの漁師の操業可能域を海岸線のすぐ近くの汚染された水域へと極端に縮小させているため、乱獲を引き起こして持続可能性に影響を与えている。⁹⁸ 2015年に国連貿易開発会議（UNCTAD）は、イスラエルによる制限的な措置によって、ガザは2020年までに居住不可能になるリスクがあると警告した。⁹⁹ “1967年以降のパレスチナの

91 General Assembly, Human Rights Council, Report of the Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, Michael Lynk A/HRC/49/87 (12 August 2022), <https://www.un.org/unispal/document/report-of-the-special-rapporteur-on-the-situation-of-human-rights-in-the-palestinian-territories-occupied-since-1967-report-a-hrc-49-87-advance-unedited-version/>, para. 42; Norwegian Refugee Council, Legal Memo: Movement between the West Bank and the Gaza Strip (December 2016), https://www.nrc.no/globalassets/pdf/legal-opinions/legal_memo_movement_between_wb_gaza.pdf.

92 Human Rights Council, Report of the detailed findings of the independent international Commission of inquiry on the protests in the Occupied Palestinian Territory, A/HRC/40/CRP.2 (18 March 2019), https://www.un.org/unispal/wp-content/uploads/2019/06/A.HRC_.40.CRP_.2.pdf, para 163.

93 World Health Organisation, Fifteen Years of Gaza Blockade and Barriers to Health Access (2022), https://www.emro.who.int/images/stories/palestine/15_Years_Gaza_Blockade_Factsheet.jpg?ua=1.

94 UNCTAD, Developments in the economy of the Occupied Palestinian Territory (2023) (11 September), TD/B/EX(74)/2, https://unctad.org/system/files/official-document/tdbex74d2_en.pdf, para. 38; UN OCHA, Movement in and out of Gaza: update covering July 2023 (15 August 2023), <https://www.ochaopt.org/content/movement-and-out-gaza-update-covering-july-2023>.

95 United Nations Economic and Social Commission for Western Asia (‘ESCWA’), Palestine Under Occupation III Mapping Israel’s Policies and Practices and their Economic Repercussions in the Occupied Palestinian Territory, E/ESCWA/CL6.GCP/2021/3 (2022), https://www.un.org/unispal/wp-content/uploads/2022/07/E.ESCWA.CL6.GCP.2021.3_220722.pdf, p. 38.

96 The World Bank, Economic Monitoring Report to the Ad Hoc Liaison Committee (30 April 2019), <https://documents1.worldbank.org/curated/en/942481555340123420/pdf/Economic-Monitoring-Report-to-the-Ad-Hoc-Liaison-Committee.pdf>, p. 4.

97 UNCTAD, Developments in the economy of the Occupied Palestinian Territory (2023) (11 September), TD/B/EX(74)/2, https://unctad.org/system/files/official-document/tdbex74d2_en.pdf, para 36; General Assembly, Report prepared by the secretariat of the United Nations Conference on Trade and Development on the economic costs of the Israeli occupation for the Palestinian people: the Gaza Strip under closure and restrictions, A/75/310 (13 August 2020); General Assembly, Report of the Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, A/71/554 (19 October 2016), <https://undocs.org/A/71/554>.

98 UN OCHA, Gaza Strip - The Humanitarian Impact of 15 Years of the Blockade (June 2022), https://www.unicef.org/mena/media/18041/file/Factsheet_Gaza_Blockade_2022.pdf; UNCTAD, Developments in the economy of the Occupied Palestinian Territory (2023), TD/B/EX(74)/2 (11 September), https://unctad.org/system/files/official-document/tdbex74d2_en.pdf, para 39.

99 UN News, Global Perspectives and Stories, Gaza could become uninhabitable in less than five years due to ongoing ‘de-development’ - UN report (1 September 2015),

被占領地" 国連特別報告者は2020年に、イスラエルによるガザ封鎖の影響について、ガザは「低所得社会とはいえ中東領域経済や国際経済とは輸出による結びつきもでき、さらに強めつつあったが、封鎖のおかげで、経済が衰退し、社会サービスのシステムが崩壊した貧困なゲットーに変わった」と記述した。¹⁰⁰ また、この特別報告者は2022年には、ガザの状況を次のように説明した。

「ガザでは、イスラエルの戦略は200万人の望まれていないパレスチナ人を無期限に収容しておくことのように思われるが、15年に及ぶ包括的な空・陸・海の封鎖（ガザ南側の国境ではエジプトがさらなる制限を加えている）を通じて、彼らを狭い土地に閉じ込めている。潘基文（パン・ギムン）国連事務総長は、このような政治的隔離を「集団的懲罰」と呼んでいるが、これは重大な国際法違反である。世界銀行は2021年、ガザが数十年にわたる脱開発・脱工業化のプロセスを経て、失業率45%、貧困率60%に達し、人口の80%が何らかの国際援助に依存していると報告した。その大きな要因は、ガザが外部とのアクセスを完全に遮断されていることだとされている。ガザの唯一の自然水源である沿岸帯水層は、海水の侵入や下水による汚染で、人間の消費に適さなくなっている。そのため、水の価格が高騰し、すでに貧困にあえぐ住民にいつもの負担をかけている。ガザは電力源をイスラエルとエジプトに大きく依存しており、パレスチナ人は毎日12時間から20時間の計画停電の中で生活している。これにより日常生活や経済活動に大きな支障が出ている。物品の輸出入はイスラエルによって厳しく管理され、地域経済を圧迫している。ガザの保健医療制度は、医療専門家の深刻な不足、不十分な治療機器、医薬品の供給量の少なさによって、立ち行かなくなっている。ガザに住むパレスチナ人は、ほとんどガザの外に出ることができない。これは、移動の自由という基本的権利を否定するものだ。さらに深刻なのは、過去13年間、イスラエルとの非対称性の高い戦争を4回も経験し、多数の民間人の命が奪われ、莫大な財産が破壊されたことだ。2021年5月、アントニオ・グテーレス国連事務総長はその苦しみを確認した：「この世に地獄があるとすれば、それはガザの子どもたちの生活だ」。¹⁰¹

27. 2000年9月29日から2023年10月7日の間に、1,699人の子どもを含む約7,569人のパレスチナ人¹⁰²が、これら「4つのきわめて非対称的な戦争」だけでなく、その他の小規模な軍事攻撃も含めて、殺害され¹⁰³、数万人が負傷した。さらに、「帰還大行進」¹⁰⁴では、46人の子どもを含む214人のパレスチナ人が殺害された。「帰還大行進」は、ガザとイスラエルを隔てる分離フェンスに沿った大規模な平和的抗議行動で、18カ月以上にわたって毎週金曜日に数千人のパレスチナ人が参加し、「ガザに課された封鎖を解除し、イスラエル領内にある自宅や村へパレスチナ難民

<https://news.un.org/en/story/2015/09/507762>.

¹⁰⁰ Human Rights Council, Report of the Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, A/HRC/44/60 (15 July 2020), https://www.ohchr.org/sites/default/files/HRBodies/HRC/RegularSessions/Session44/Documents/A_HRC_44_60.pdf, para. 54.

¹⁰¹ General Assembly, Report of the Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, Michael Lynk, A/HRC/49/87 (12 August 2022), <https://www.un.org/unispal/document/report-of-the-special-rapporteur-on-the-situation-of-human-rights-in-the-palestinian-territories-occupied-since-1967-report-a-hrc-49-87-advance-unedited-version/>, para. 45.

¹⁰² B'Tselem, Fatalities All Data, Main Data (6 October 2023), <https://statistics.btselem.org/en/all-fatalities/by-date-of-incident?section=overall&tab=overview>. (not including the casualties during the Great March of Return).

¹⁰³ Ibid.

¹⁰⁴ UN, The Question of Palestine, Two Years On: People Injured and Traumatized During the "Great March of Return" are Still Struggling (6 April 2020), <https://www.un.org/unispal/document/two-years-on-people-injured-and-traumatized-during-the-great-march-of-return-are-still-struggling/>.

の帰還」を要求した。¹⁰⁵ 特に犠牲が多い日の死者を数えただけでもイスラエルは60人のパレスチナ人抗議行動参加者を殺害し、または単に参加者を殺害し¹⁰⁶ パレスチナ被占領地における2018年抗議行動に関する国連調査委員会" (「調査委員会」)は、次の用に認定している。

「こうした毎週のデモの間、イスラエル治安部隊 (ISF) は、敵対行為に直接参加しているわけでも、生命に差し迫った脅威を与えているわけでもない市民を殺害し、重傷を負わせた。撃たれた人々の中には、子ども、救急隊員、ジャーナリスト、障害者も含まれていた。」¹⁰⁷

28. 分離フェンスの背後から発砲したイスラエル兵によって殺害されたのは、3人の医療関係者と2人のジャーナリストだった。8,800人近い子どもを含む合計36,100人以上のパレスチナ人¹⁰⁸ がイスラエルによって負傷させられ、そのうちの4,903人が下肢を撃たれ「多くは丸腰で狙撃手から数百メートル離れた場所に立っていた」¹⁰⁹そのうち156人は少なくとも片方の手足を切断しなければならず¹¹⁰、1,200人以上が手足の回復のための専門的な治療を必要とした。¹¹¹ 委員会は、こうした重傷を負わせる行為が偶発的なものではないことを明らかにした。イスラエル軍が採用している交戦規則では狙撃兵に「主要な扇動者」の足を撃つことを認めており¹¹²、あるイスラエル兵は「1日に42人の膝」を撃ったことを認めた。¹¹³

29. 委員会は、イスラエルの狙撃兵が、子どもであることを知りながら「意図的に撃った」と信じるに足る合理的な根拠があると認定した。¹¹⁴ また、保健従事者やジャーナリストについても、「彼らがそうであることを明確に示していたにもかかわらず」「意図的に撃った」と認定した。¹¹⁵ さらに、イスラエルの狙撃兵が、障害のあるデモ参加者を「目に見える障害があることを知りながら」、差し迫った脅威がないにもかかわらず、「意図的に撃った」と信じるに足る合理的な根拠があると認定した。¹¹⁶

¹⁰⁵ Human Rights Council, Report of the detailed findings of the independent international Commission of inquiry on the protests in the Occupied Palestinian Territory, A/HRC/40/CRP.2 (18 March 2019), <https://undocs.org/A/HRC/40/CRP.2>, para. 115.

¹⁰⁶ Human Rights Council, Report of the independent international commission of inquiry on the protests in the Occupied Palestinian Territory, A/HRC/40/74 (6 March 2019), <https://undocs.org/A/HRC/40/74>, para. 58.

¹⁰⁷ Human Rights Council, Report of the detailed findings of the independent international Commission of inquiry on the protests in the Occupied Palestinian Territory, A/HRC/40/CRP.2 (18 March 2019), <https://undocs.org/A/HRC/40/CRP.2>, summary.

¹⁰⁸ UN, The Question of Palestine, Two Years On: People Injured and Traumatized During the "Great March of Return" are Still Struggling (6 April 2020), <https://www.un.org/unispal/document/two-years-on-people-injured-and-traumatized-during-the-great-march-of-return-are-still-struggling/>.

¹⁰⁹ Human Rights Council, Report of the detailed findings of the independent international Commission of inquiry on the protests in the Occupied Palestinian Territory, A/HRC/40/CRP.2 (18 March 2019), <https://undocs.org/A/HRC/40/CRP.2>, summary.

¹¹⁰ UN The Question of Palestine, Two Years On: People Injured and Traumatized During the "Great March of Return" are Still Struggling (6 April 2020), <https://www.un.org/unispal/document/two-years-on-people-injured-and-traumatized-during-the-great-march-of-return-are-still-struggling/>.

¹¹¹ Ibid.

¹¹² "'42 Knees in One Day': Israeli Snipers Open up about Shooting Gaza Protesters", Haaretz (6 March 2020), <https://www.haaretz.com/israel-news/2020-03-06/ty-article-magazine/.highlight/42-knees-in-one-day-israeli-snipers-open-up-about-shooting-gaza-protesters/0000017f-f2da-d497-a1ff-f2dab2520000>.

¹¹³ Ibid.

¹¹⁴ Human Rights Council, Report of the detailed findings of the independent international Commission of inquiry on the protests in the Occupied Palestinian Territory, A/HRC/40/CRP.2 (18 March 2019), <https://undocs.org/A/HRC/40/CRP.2>, para. 519.

¹¹⁵ Ibid, paras. 526, 536.

¹¹⁶ Ibid, para. 537.

30. 国連機関や委任統治機関による他の報告書でも、イスラエルが過去に行ったガザへの軍事攻撃は、国際法に著しく違反する行為であったと繰り返し指摘されている。例を挙げる。

— 社会経済理事会・人権委員会決議 S-5/1 (2000年10月19日)に基づき設置された人権調査委員会の報告書 (2001年3月16日)¹¹⁷

「50. IDF[イスラエル国防軍]は軍事的必要性を表面上の理由として、特にすでに土地不足に陥っているガザにおいて、家屋を破壊し、かなりの農地を荒廃させてきた。統計によると、ガザでは94軒の家屋が取り壊され、7,024ドゥナム[1ドゥナム=1000平方メートル]の農地がブルドーザーで破壊された。民間家屋の被害額は950万米ドル、農地の被害額は約2700万米ドルに上る。この土地にある家屋は破壊され、家族はテント暮らしを余儀なくされた。付近の井戸も完全に破壊された。委員会は、このような破壊が、一般に真夜中に、予告もなく行われたことが、軍事的必要性を理由に正当化されるとは信じがたい、と判断した。委員会には、このような財産の破壊は、安全保障とは無関係の脅迫的な手法で行われ、民間人の福利を軽視し、軍事的必要性のニーズをはるかに超えているように思われた。その証拠に、不動産の破壊と家屋の取り壊しは、ヨルダン川西岸地区とガザの他の場所でも多発している。パレスチナ人は、他の人々と同様、家や農地に深い愛着を抱いている。家屋の取り壊しや、農民が長年かけて育てたオリーブや柑橘類の樹木の破壊は、今般の武力衝突とは無関係の人々に計り知れない人的被害をもたらしている。...

51. 委員会は、IDFがパレスチナにおける生命と財産を犠牲にして、過剰な武力行使を行ったと結論付けている。」

— 理事会決議S-3/1に基づき設置された Beit Hanoun へのハイレベル事実調査団の報告書 (2008年9月1日、デズモンド・ツツ大主教およびクリスティン・チンキン教授)¹¹⁸

「72. 本調査団は、2006年11月8日に Beit Hanoun で発生した砲撃のすべての犠牲者に哀悼の意を表す。この攻撃は人命を奪い、身体的・精神的に恐ろしい傷を負わせ、家族を引き裂き、家を破壊し、生計を奪い、住民に身体的・精神的な外傷を負わせた。砲撃後もこれら被害はさらに深刻化している。...

75. イスラエル軍は関連事実情報を独占し、しかし確固とした説明を提示しないため、本調査団は、Beit Hanoun への砲撃が国際刑事裁判所ローマ規程で定義されている戦争犯罪を構成する可能性があるとは結論づけざるを得ない。...

76. Beit Hanoun への砲撃は "法の支配" をも犠牲にした。19人の人々を殺害し、多くの人々を負傷させた行為に対する説明責任は果たされていない。...

— 2009年1月12日の人権理事会決議S-9/1に基づいて設置されたガザ紛争に関する国連事実調査団の報告書 (2009年9月25日)¹¹⁹

¹¹⁷ UN Economic and Social Council Commission on Human Rights, Report of the human rights inquiry commission established pursuant to Commission resolution S-5/1 of 19 October 2000, E/CN.4/2001/121 (16 March 2001), <https://undocs.org/E/CN.4/2001/121>, paras. 50 and 51 (emphasis added).

¹¹⁸ Human Rights Council, Report of the high-level fact-finding mission to Beit Hanoun established under Council resolution S-3/1, A/HRC/9/26 (1 September 2008), <https://undocs.org/A/HRC/9/26>, paras. 72, 75 and 76.

¹¹⁹ Human Rights Council, Human Rights in Palestine and Other Occupied Arab Territories, Report of the United Nations Fact-Finding Mission on the Gaza Conflict, A/HRC/12/48 (25 September 2009), <https://undocs.org/A/HRC/12/48>, paras. 36, 55, 60, 382, 391-392, 522, 629, 1026-1027, 1214-1215, 1883, 1888-1093, 1905, 1927 and 1929 (emphasis added).

「36. 本調査団は、病院施設がガザ当局やパレスチナ武装集団によって軍事活動の隠れ家として使用された、あるいは救急車が戦闘員の輸送やその他の軍事目的に使用されたという申し立てを裏付ける証拠は見つけれなかった。独自の調査と複数の国連高官による声明に基づき、本調査団は、軍事作戦中に避難所として使用された国際連合施設から、パレスチナ武装集団が戦闘活動に従事したとの指摘を否定する。...

55. 本調査団は、イスラエル軍が軍事作戦中に、パレスチナ民間人男性に銃を突きつけて家宅捜索に応じるよう強要した4件の事件を調査した。本調査団は、このような行為はパレスチナ人を人間の盾として使用するものであり、したがって国際人道法で禁止されているものであると結論する。...人間の盾として使用されたパレスチナ人男性は、ハマースやパレスチナ人戦闘員、トンネルに関する情報を引き出すために、死や傷害の脅しのもとで尋問された。これは国際人道法のさらなる違反である。...

60. 自由の恣意的な剥奪と適正手続きの権利の侵害に加えて、拘束されたパレスチナ民間人のケースは、イスラエル兵とパレスチナ民間人の相互作用の共通点を浮き彫りにしている。それはまた、報告書の他の箇所で論じられている多くの事例でも明確に浮かび上がった、継続的かつ組織的な虐待、人の尊厳の蹂躪、国際人道法および人権法の基本原則に反する屈辱的で尊厳を傷つける処遇である。ミッションは、このような扱いは、これらの民間人に対して集団的懲罰を科すものであり、脅迫と恐怖の手段に相当すると結論づける。...

382. 立法評議会の建物と主たる刑務所に対するイスラエルの攻撃を判断するにあたり、本調査団はまず、ハマースが政治的、軍事的、社会福祉的な要素を明確に備えた組織であることを指摘する。...

391. ミッションは、ガザのハマース政府の性質を疑うがゆえに、イスラエルとハマースとの紛争に関連して、政府インフラの民間部分と軍事部分との区別はもはや意味をなさないという、現職および元イスラエル高官の分析を拒否する。...

392. 当ミッションは、これは危険な議論であり、区別の基本原則と相容れないとして、断固として拒否されるべきものだと考える。国際人道法は、軍事行動に効果的に寄与しない目標に対する攻撃を禁じている。軍事的（または両用）目標に向けられたものでない攻撃は、攻撃側が戦略的、政治的観点からいかに有望と考えていたとしても、戦争関係の国際法に違反する。...

522. 地上侵攻の開始と同時に、市街地へ行くよう警告が発せられた。本調査団は、このような状況で民間人が本当に家を離れると想定したことは不合理であるとの見解である。従って、残留者は戦闘員に違いないとの地上軍兵士による推理が含まれたであろうという結論はまったく根拠を欠くものである。...

629. 使用された武器、とりわけ、イスラエル軍が数十人の負傷者を収容しているだけでなく、数百人の市民が避難していることを知っていた病院とその周辺で白色リンを使用したことを考慮すると、本調査団は、入手可能なすべての情報に基づき、このような状況下でイスラエル軍が病院と救急隊詰所を直接攻撃したことは、ジュネーブ第四条約第18条に違反し、比例性に関する国際慣習法に違反していると判断する。...

1027. 本調査団は...食料、生産、水道サービス、建設産業が組織的に破壊されたのは、ガザのイ

ンフラの重要な部分を不釣り合いに破壊する全体的なポリシーに関連していると判断した。

1214. イスラエル軍は、「支援インフラ」を過度に拡大解釈することで、本調査団の見解では、ガザの非戦闘員に悲惨な結果をもたらすことが避けられないような活動範囲を構築しようとしている。...

1215. ガザでの軍事作戦の前と最中の政治的・軍事的指導者たちの発言から、民間人に対する不釣り合いな破壊と暴力が意図的な政策の一部であったことは疑問の余地がない。...

1883. ガザ軍事作戦は、イスラエル政府によると、徹底的かつ広範に計画されてきた。この軍事作戦の性格をイスラエル政府はロケット弾攻撃へ対応する自衛権の行使であると説明しているが、本調査団の見解では、この計画が向けられた標的は、少なくともその一部は、別にあった、すなわちガザの人々全体であった。...

1888. 本調査団は、イスラエル軍が国際法の枠内で行動する意志を持つあらゆる軍隊と同様、兵士の生命に対する不当な危険を避けなければならないことを十分に認識するが、そのような危険を民間人の男女や子共に転嫁してはならない。さらに基本原則である[軍民の]区別と均衡性は[あらゆる]戦地に適用されるものであり、戦地が市街地であってもオープン・フィールドであっても変わらない。

1889. 戦闘員と民間人の識別に繰り返し失敗したことについて本調査団は、一部の兵士が述べているように、意図的に兵士に指示を与えた結果であり、偶発的な過ちの結果ではないと見ている。...

1891. 本調査団が収集した証拠から明らかなように、食料供給施設、水衛生システム、コンクリート工場、住居の破壊は、イスラエル軍による意図的かつ組織的なポリシーの結果であった。破壊が行われたのは、それらの対象が軍事的な脅威や好機となったからではなく、民間人の日常生活や尊厳ある生活をより困難にするためであった。...

1892. ガザ地区の経済力が組織的に破壊されたのと並行して、人々の尊厳に対する攻撃も行われたと見られる。それは、人間の盾の使用や、時には受け入れがたい状況での不法な拘束だけでなく、イスラエル軍によって占拠された家屋の破壊行為や、イスラエル軍兵士が家屋に立ち上がった際の人々の扱いにも見られた。壁の落書き、わいせつな言葉、しばしば人種差別的なスローガン、これらはすべて、パレスチナ人への侮辱と全般的な非人間化のイメージを示している。...

1893. 軍事作戦は、すべての段階において慎重に計画された。法的な意見と助言は、計画段階を通じて、また軍事行動中の特定の作戦レベルにおいて与えられた。イスラエル政府によれば、誤りはほとんどなかったという。このような状況から、本調査団は、2008年末から2009年初めにかけての3週間あまりの間に起こったことは、民間人を罰し、屈辱を与え、恐怖に陥れ、その地域の仕事を確保し、生活を維持する経済力を根本的に低下させ依存と脆弱性をますます増大させることを目的とした、意図的な不均衡攻撃であったと結論づける。...

1927. 本調査団は、イスラエル軍がガザにおいて、ジュネーブ第四条約の下で保護されている多数の人々を一斉摘発し、拘束したことを確認した。本調査団は、彼らの拘束は、「違法戦闘員」の拘束としても、安全保障上の必要不可欠な理由による民間人の抑留としても正当化できないと判断する。...

1929. 本調査団はまた、イスラエル軍が、軍事的必要性もなく、多数の食料生産または加工を行っている物件および施設（製粉所、土地、温室を含む）、飲料水施設、農場、家畜を、区別の原則に反して、不法かつ恣意的に攻撃し、破壊したことを認定する。本調査団が確認した事実から、この破壊は、第1追加議定書第54条（2）に反映されている慣習法に違反し、民間人の糧食を奪う目的で行われたと判断する。さらに本調査団は、イスラエル軍による民家、井戸、貯水槽の広範な破壊は、不法かつ恣意的に行われたと結論づける」。

一 人権理事会決議S-21/1（2015年6月24日）に基づき設置された独立調査委員会の報告書¹²⁰

「44. ...こうした攻撃による民間人や民間物への悲惨な影響が明らかになった後でさえも、住宅を標的とした多数の攻撃と、こうした攻撃が作戦期間中継続されたという事実は、この攻撃が、より広範なポリシーを反映した軍事戦術であり、少なくともイスラエル政府の最高レベルの政策立案者によって黙認されていたのではないかという懸念を抱かせる...

51. ...最初の砲撃で多数の民間人が死亡した後も、イスラエル国防軍が軍事作戦の方法を変更しなかったという事実は、人口密集地での砲兵の使用に関する彼らのポリシーが国際人道法に適合していない可能性を示している。

53. ...砲撃、空爆、ブルドーザーによる破壊は、戦争の戦術として採択されたのかもしれない。破壊の一部は、イスラエル国防軍がトンネルを解体し、兵士を保護しようとした正当な試みの結果であるとの論証も可能であろう。しかし、破壊がグリーンラインに近い地域に集中し、100%に達する地域もあり、これらの地域が組織的に次々と破壊されたことは、このような大規模な破壊が軍事的に必要不可欠なものでなかったことを懸念させる。もし確認されれば、ジュネーブ第四条約第147条の重大な違反となり、戦争犯罪となる。...

55. ...避難警告は「戦闘用の"無人"地域」を作る目的だとの表明があった。すなわち、警告後に残留している者は民間人でないと見なしうるし、民間人の地位に由来する保護にも浴さないとする。たとえば、歩兵軍団司令部のドクトリン・デスクの責任者は、次のように報告している：「平時の警備では、兵士は民間人と対峙しているが、戦時には民間人は存在しない、敵がいるだけだ」。...

56. ...警告の対象となった地域にとどまる者が敵または「テロ活動」に従事する者であると推測したり、そのような趣旨の指示を出したりすることは、民間人に対する攻撃を助長する環境を作り出す一因となる。警告に従わないことを選択した民間人が、その地位によって与えられる保護を失うことはない。民間人が攻撃からの保護を失う唯一の道は、敵対行為に直接参加することである。警告を発しただけでは、イスラエル国防軍が民間人の生命を保護する法的義務を免れることにはならない。...

57. 7月のシュジャイヤと8月1日のラファにおけるイスラエル国防軍の行動を検証すると、これらの軍事作戦において、イスラエル軍兵士の保護がイスラエル国防軍の行動に大きな影響を及ぼし、時には民間人の犠牲を最小限に抑えるという配慮を無視し兵士の保護が優先されたことがわ

¹²⁰ Human Rights Council, Report of the independent commission of inquiry established pursuant to Human Rights Council resolution S-21/1, A/HRC/29/52 (24 June 2015), <https://undocs.org/A/HRC/29/52>, paras. 26, 37, 44-45, 50-53 and 55-58 (emphasis added).

かる。当委員会は、戦力保護は正当な目的であるが、これに該当するのは兵士の生命が危険にさらされたり、捕虜にされたりするリスクがある場合だという明確な印象を持っている。

...

58. ...当委員会は、このような政策優先の軍事文化が、民間人への壊滅的な影響をまったく無視し、ラファとシュジャイヤで大規模な砲撃をう決定を下す一因となった可能性があると考えている。さらに、人口が密集する環境でこの行動原理を適用して重火器を使用することは、必然的に区別と均衡性の原則に違反することになる。」

— 2014年7月23日の人権理事会決議S-21/1に従って設置された独立調査委員会の詳細調査結果の報告書（2015年6月24日）¹²¹

293. 非常に多くの炸裂弾が発射されたことは、人口密集地で短時間に100発以上の1トン爆弾が投下されたと報じられているほか、弾幕砲撃が行われたと報じられていることから、IDFによる区別、予防、均衡性の原則の尊重が疑問に付されることになる。IDFが採用したこれらの方法と手段は、このような狭く人口密度の高い地域では、特定の軍事目標に向けることはできず、国際人権法が要求するようには民間人と民用物を軍事目標から十分に区別することはできなかった。また、入手可能な情報によれば、7月19日と20日のシュジャイヤ作戦において、IDFは、人口密集地における複数の個別の軍事目標を1つの軍事目標として扱うことの禁止に違反した。したがって、7月19日と20日のIDFのシュジャイヤ作戦は、無差別攻撃の禁止に違反して行われたことが強く示唆されており、戦争犯罪に相当する可能性がある。

294. シュジャイヤ作戦はまた、IDFが攻撃における予防措置を講じる義務に従わなかったという重大な懸念を提起している。IDFが使用した方法と手段の選択は、民間人や民用物を避けるために常に注意を払う義務にも、人口密集地において偶発的な民間人の死亡や民用物の損害を最小化するべき最低限の義務にも適合しえない...

340. ...クザーア でIDFが行った広範な破壊、特に砲撃、空爆、ブルドーザーによる町の全域の破壊は、IDFが軍事的必要性のない破壊を行ったことを示している。...

341. 破壊の程度と、クザーア作戦を担当した旅団の司令官が作戦中に行った「パレスチナ人は報いを受けていると理解せねばならない」という趣旨の発言は、クザーアにおけるIDFの行動に懲罰的意図があることを示しており、集団的懲罰に該当する可能性がある。...

342. 委員会が入手した情報によると、主にクザーアの自宅で拘束されたパレスチナ人が、IDFの兵士に傷つけられ、殴られ、殺すと脅され、その他の虐待を受けたケースがいくつかあった。いくつかのケースでは、目撃者の証言によると、拷問に等しい扱いであった。...

348. クザーアにおけるその他の事件や行動パターンとされるものは、国際法に照らせば多くの懸念があるものとなっている。これらの事件には、IDFの兵士によって民間人が銃撃されたとされる事件、救急車に対する攻撃、負傷者に医療支援を提供しなかったことなどが含まれる。...

418. IDFは、「境界防衛[Protective Edge]」作戦で破壊された建物の数が多かったのは、テロリ

¹²¹ Human Rights Council, Report of the detailed findings of the independent commission of inquiry established pursuant to Human Rights Council resolution S-21/1, A/HRC/29/CRP.4 (24 June 2015), <https://undocs.org/A/HRC/29/CRP.4>, paras. 226, 293-294, 340-342, 348, 418, 576, 671 (emphasis added).

ストのインフラを標的にしたことと、地上での激しい戦闘の結果だと主張してきた。しかし、上記のエピソードの評価、ビデオや写真資料、UNITAR-UNOSATによる観測、IDFの兵士による体験談など、委員会が収集した証拠は、膨大な規模の破壊が戦争の戦術として採用された可能性があることを示している。...

576. 市民の命が奪われただけでなく、ガザでは民間の財産の破壊も甚大であった。18,000戸の住宅が全壊または半壊した。家を持っているということは、思い出が保存されている場所という感情的な側面があり、しばしばそこには、住民の思い出が関係する他の多くの物品がある。自宅が破壊されたり、大きな被害を受けたりするということは、物理的な建造物以上のものを奪われることを意味するのであり、その人の存在の本質に直接影響を与えるのである...

671. 本調査委員会が調査したいくつかの地域で軍事政策を決定した高官の役割について、幾つかの疑問が生じている。たとえば、イスラエル国防軍による住宅への攻撃、人口密集地での広範囲に効果を及ぼす重火器やその他の爆発兵器の使用、ガザでの居住区全体の破壊、ヨルダン川西岸地区でのイスラエル国防軍による、特に群衆を統制する状況で躊躇なく実弾を使用していることなどである。多くの場合、個々の兵士は合意された軍事方針に従っているのかもしれないが、その方針自体が戦争法に違反する可能性がある。」

— "1967年以降のパレスチナの被占領地" 国連特別報告者は2021年10月22日の報告書¹²²で、「遺憾なことに、国際社会はイスラエルの例外主義的な占領行為に著しく寛容であるがゆえに、権利よりも現実主義が優先され、正義は追い出されて強権が居座り、説明責任は不処罰によって損なわれることが許されている」と指摘した。

— "1967年以降のパレスチナの被占領地" 国連特別報告者は2020年12月22日の報告書¹²³で、「ガザの保護された住民に対するイスラエルの行動は、国際法上の集団懲罰に相当する。ガザに住む200万人のパレスチナ人はハマースや他の武装集団の行為に責任を負っていないにもかかわらず、彼らはかなりの部分が意図的に向けられた懲罰を耐えてきた」と指摘した。

— "1967年以降のパレスチナの被占領地" 国連特別報告者は2023年8月28日の報告書で、イスラエルによるパレスチナ人被抑留者の処遇に関して、「拷問や残酷、非人道的、あるいは品位を傷つけるような処遇、たとえば、性的暴行、頭巾を被せられ目隠しをされる、長時間立たされる、苦痛を伴う姿勢で椅子に縛りつけられる、睡眠と食事を奪われる、長時間大音量の音楽にさらされる、独房に監禁されるなどの処遇がある」と認定した。¹²⁴ また、特にパレスチナ人の子どもたちとの関連では、特別報告者は、子どもたちが尋問中に「ひどい虐待に耐えている」と判断した。

125

31. 2019年、国際刑事裁判所（ICC）の検事（当時）は、イスラエル軍が特に「2014年のガザ

¹²² General Assembly, Report of the Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, Michael Lynk, A/76/433 (22 October 2021), <https://undocs.org/A/76/433>, para. 32.

¹²³ Human Rights Council, Report of the Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, Michael Lynk, A/HRC/44/60 (22 December 2020), <https://undocs.org/A/HRC/44/60>, para. 60 (emphasis added).

¹²⁴ Human Rights Council, Report of the Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, Francesca Albanese, A/HRC/53/59 (28 August 2023), <https://undocs.org/A/HRC/53/59>, para. 61.

¹²⁵ Human Rights Council, Report of the Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, Francesca Albanese, A/HRC/53/59 (28 August 2023), <https://undocs.org/A/HRC/53/59>, para. 67.

における戦闘の文脈において...戦争犯罪」を犯したと「信じるに足る合理的な根拠がある」と判示した。¹²⁶ 最近、2023年10月、同検事は、自身の「部門がパレスチナに対する管轄権を持ち、進行中の捜査を行っている.....(中略)これには、ガザで現在起きている出来事や、ヨルダン川西岸地区で現在起きている出来事に対する管轄権も含まれる」と確認した。¹²⁷ 同検事は、イスラエルによる「救援物資供給の妨害は... 当裁判所の管轄権の範囲内の犯罪を構成する可能性がある」と指摘した。¹²⁸ さらに同検事は、自身の部門が、住居、学校、病院、教会、モスクに対するイスラエルの攻撃に関連するすべての情報を、国際人道法の遵守のために「精査」することを示唆した。¹²⁹ 同検事は、特にジェノサイドの罪についてICCが捜査することを求める南アフリカやその他の国による2023年11月17日の要請への対応を含め、パレスチナ国家における情勢Situation in the State of Palestineに関連する捜査の進捗状況について、それ以降はいかなる示唆も与えていない。¹³⁰

2. 西岸地区（東エルサレムを含む）

32. 東エルサレムを含む西岸地区は、パレスチナ被占領地の大部分を占め、総面積は5,655km²、人口は290万人、ガザとは地理的に離れており、イスラエルの入植地によって細分化されている。¹³¹

33. オスロ合意では、パレスチナ自治政府と占領国イスラエルとの間で、西岸地区の3つの地域（A、B、C地区＝東エルサレムを含まない）の管理権限が分けられた。西岸地区の18%を占めるA地区はパレスチナ自治政府の完全な行政管理下にあり、西岸地区の22%を占めるB地区はパレスチナ自治政府の行政管理とイスラエルの治安管理下にあり、西岸地区の60%を占めるC地区はイスラエルの完全な行政管理とセキュリティコントロール下にあると宣言されている。¹³² 1967年、イスラエルは占領下の東エルサレムを自国の領土に編入したと称し、1980年にはエルサレムをイス

¹²⁶ International Criminal Court, Situation in Palestine | Summary of Preliminary Examination Findings (20 December 2019), <https://www.icc-cpi.int/sites/default/files/itemsDocuments/210303-office-of-the-prosecutor-palestine-summary-findings-eng.pdf>.

¹²⁷ International Criminal Court, Statement of ICC Prosecutor Karim A. A. Khan KC from Cairo on the situation in the State of Palestine and Israel (30 October 2023), <https://www.icc-cpi.int/news/statement-icc-prosecutor-karim-khan-kc-cairo-situation-state-palestine-and-israel>; International Criminal Court, @IntlCrimCourt (4:08 p.m, October 29, 2023), <https://twitter.com/intlcrimcourt/status/1718661091155161172?s=46&t=bZu5nJejRUuojp0H1KVB5Q>.

¹²⁸ International Criminal Court, Statement of ICC Prosecutor Karim A. A. Khan KC from Cairo on the situation in the State of Palestine and Israel (30 October 2023), <https://www.icc-cpi.int/news/statement-icc-prosecutor-karim-khan-kc-cairo-situation-state-palestine-and-israel>.

¹²⁹ Ibid.

¹³⁰ South Africa, Embassy in the Netherlands, Letter from the South African Embassy in the Netherlands to the Prosecutor of the International Criminal Court (17 November 2023), <https://www.icc-cpi.int/sites/default/files/2023-11/ICC-Referral-Palestine-Final-17-November-2023.pdf>; the fact that the Prosecutor has not yet completed any investigation or opened a prosecution in relation to the Situation in the State of Palestine since 31 January 2021, nor opened an investigation formally in response to the referral of genocide by South Africa and others, is no bar to the ICJ determining the present application. Notably, the ICC's investigation is to determine individual criminal responsibility for the crime of genocide, contrary to the Rome Statute of the International Criminal Court, whereas the ICJ's jurisdiction is to determine disputes concerning State responsibility for genocide under the Genocide Convention.

¹³¹ UN Palestine, Israeli Occupation of Palestinian Territory in facts and figures, <https://www.un.org/unispal/in-facts-and-figures/>.

¹³² Letter dated 27 December 1995 from the Permanent Representatives of the Russian Federation and the United States of America to the United Nations addressed to the Secretary-General, A/51/889 (5 May 1997), https://peacemaker.un.org/sites/peacemaker.un.org/files/IL%20PS_950928_InterimAgreementWestBankGazaStrip%28OsloII%29.pdf.

ラエルの首都として「統合」したと主張する条項を基本法に盛り込んだが、この動きは国連安全保障理事会によって「無効であり」、「直ちに取消されるべきである」と非難された。¹³³ 1967年以來、イスラエルは西岸地区全域に、東エルサレムの14の入植地を含む279のイスラエル民間人のための「入植地」を建設し、パレスチナ人の土地75万ドゥナム（185,329エーカー、750km²）を占有してきた。¹³⁴ 国連安全保障理事会は、イスラエルによるこのような入植地の建設は「法的効力を持たず、国際法上の明白な違反であり、二国家解決と公正で永続的かつ包括的な和平の達成に対する主要な障害となる」と繰り返し宣言している。¹³⁵ にもかかわらず、西岸地区（東エルサレムを含む）に移転したイスラエル人入植者の数は、オスロ合意時の推定24万7000人から¹³⁶、2023年には70万人を超えるまでに激増した。¹³⁷ 国際刑事裁判所（ICC）検察官は、「特に西岸地区へのイスラエル民間人の移転に関連して、イスラエル当局者が戦争犯罪を犯した」と「信じるに足る合理的な根拠」があると判断している。¹³⁸

34. "1967年以降のパレスチナの被占領地" 国連特別報告者は、西岸地区の状況を次のように述べている。

「53. …そこでは、パレスチナ人は、イスラエル人入植者が享受しているものとはまったく異なる、過酷で恣意的な法制度にさらされている。西岸地区の大部分はパレスチナ人の立ち入りが禁止されており、彼らは道路閉鎖、バリケードの設置、必要とされる通行許可証の入手困難などを通じて、移動の自由に対する大幅な制限に常に耐えている。

54. 占領地の天然資源、特に水へのアクセスは、イスラエルと入植者に不当に割り当てられている。同様に、東エルサレムを含む西岸地区全域の住宅・商業開発に関して占領国が管理している計画制度は、入植地建設に有利な深刻な差別的制度である一方、進行中の土地接收、家屋の取り壊し、建築許可の拒否など、パレスチナ人に重大な障壁を課している。イスラエルは、場合によっては、パレスチナ人（主に農村部に住む人々）の強制移動に相当するような行為を採用している。これは、入植地や軍事兵器の訓練場、その他占領国の正当な安全保障上の必要性とはほとんど関係のない、占領国専用の用途のために土地を接收するための手段である。

55. 東エルサレムに関しては、占領は、壁、包囲網のように拡大する入植地と関連する検問所、差別的な許可制度のため、西岸地区との伝統的な国民的、経済的、文化的、家族的つながりからますます切り離されている。サービスやインフラの面で自治体から見放され、占領は経済を疲弊

¹³³ Security Council resolution 478, Territories Occupied by Israel, S/RES/478 (20 August 1980), <https://documents-dds-ny.un.org/doc/RESOLUTION/GEN/NR0/399/71/PDF/NR039971.pdf?OpenElement>. [別のリンク：<http://unscr.com/en/resolutions/478>]

¹³⁴ Human Rights Council, Israeli settlements in the Occupied Palestinian Territory, including East Jerusalem, and in the occupied Syrian Golan (12 March 2023) A/HRC/52/76, <https://undocs.org/A/HRC/52/76>, para. 5, 8.

¹³⁵ See e.g. Security Council resolution 446, Territories occupied by Israel, S/RES/446 (22 March 1979), <https://digitallibrary.un.org/record/1696?ln=en>, para. 1; Security Council resolution 2334, The situation in the Middle East, including the Palestinian question (23 December 2016), <https://digitallibrary.un.org/record/853446?ln=en>, para.1.

¹³⁶ UN ESCWA, Countering economic dependence and de-development in the occupied Palestinian territory (October 2022) https://www.un.org/unispal/wp-content/uploads/2023/03/ESCWAREPORT_280223.pdf.

¹³⁷ Human Rights Council, Israeli settlements in the Occupied Palestinian Territory, including East Jerusalem, and in the occupied Syrian Golan (12 March 2023), A/HRC/52/76, <https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/G23/020/49/PDF/G2302049.pdf?OpenElement>, para. 5, 8. [別のリンク：<https://documents.un.org/doc/undoc/gen/g23/020/49/pdf/g2302049.pdf?token=WRxbubk81au18MbHVf&fe=true>]

¹³⁸ International Criminal Court, Situation in Palestine | Summary of Preliminary Examination Findings (20 December 2019), <https://www.icc-cpi.int/sites/default/files/itemsDocuments/210303-office-of-the-prosecutor-palestine-summary-findings-eng.pdf>, para. 4.

させ、パレスチナ人が住宅を建設できる土地はわずかである。」¹³⁹

35. イスラエルが適用している差別的な法律・政策・慣行にわたって制度化された体制は、パレスチナ人をアパルトヘイト体制と呼ぶにふさわしい状況に追いやっている。¹⁴⁰ すなわち、西岸地区のパレスチナ人は、隔離された壁の背後に封じ込められ、差別的な土地計画政策、懲罰的・管理的な家屋取り壊され¹⁴¹、エリアAを含むパレスチナ人の村、町、都市、難民キャンプがイスラエル軍に暴力的に侵入され¹⁴²、彼らの家が日常的にイスラエル軍によって暴力的に襲撃され、恣意的に逮捕され、無期限に更新可能な行政拘禁（裁判なしの抑留）を受け、さらにパレスチナ人はイスラエルの軍事法に基づいてイスラエルの軍事法廷で裁かれ、国際人道法および人権法の基本的な保護がないなかで同じ領土に住むイスラエル人入植者は別の法体系とイスラエルの民間法廷で完全な適正手続きで裁かれるという二重の法体系に従属している、といった状況である。

143

139 General Assembly, Situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, A/72/556, (23 October 2017), <https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/N17/340/02/PDF/N1734002.pdf?OpenElement>, paras. 53-55.

140 Committee on the Elimination of Racial Discrimination ('CERD'), Concluding Observations on the Combined Seventeenth to Nineteenth Reports of Israel, CERD/C/ISR/CO/17-19 (27 January 2020), <https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/G20/019/68/PDF/G2001968.pdf?OpenElement>, para. 23[別のリンク：<https://documents.un.org/doc/undoc/gen/g20/019/68/pdf/g2001968.pdf?token=1pbmKX-PcNliRh3Xfnz&fe=true>]; General Assembly, Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, Michael Lynk, A/HRC/49/87 (12 August 2022), <https://www.un.org/unispal/document/report-of-the-special-rapporteur-on-the-situation-of-human-rights-in-the-palestinian-territories-occupied-since-1967-report-a-hrc-49-87-advance-unedited-version/>, para. 52; Amnesty International, Israel's Apartheid Against Palestinians A Look Into Decades of Oppression and Domination (2022), <https://www.amnesty.org/en/latest/news/2022/02/israels-apartheid-against-palestinians-a-cruel-system-of-domination-and-a-crime-against-humanity/>; B'Tselem, A regime of Jewish supremacy from the Jordan River to the Mediterranean Sea: This is apartheid (12 January 2021), https://www.btselem.org/publications/fulltext/202101_this_is_apartheid; and Addameer et al., Israeli Apartheid: Tool of Zionist Settler Colonialism (29 November 2022), https://www.alhaq.org/cached_uploads/download/2022/12/22/israeli-apartheid-web-final-1-page-view-1671712165.pdf. See also the 300-page report by the South African Human Sciences Research Council ('HSRC') which noted that the three pillars of apartheid in South Africa are all practised by Israel in the occupied Palestinian territory, the pillars being: first, the demarcation of the population of South Africa into racial groups, with superior rights, privileges and services being accorded to one group; second, the segregation of the population into different geographic areas, which were allocated by law to different racial groups, and the restriction of passage by members of any group into the area allocated to other groups; and third, the imposition of a matrix of draconian 'security' laws and policies, employed to suppress any opposition to the regime and to reinforce the system of racial domination, by providing for administrative detention, torture, censorship, banning, and assassination (HSRC Democracy and Governance Programme, Middle East Project, Occupation, Colonialism, Apartheid?: A re-assessment of Israel's practices in the occupied Palestinian territories under international law (June 2009), http://sro.sussex.ac.uk/id/eprint/43295/1/Occupation_Colonialism_Apartheid-FullStudy_copy.pdf.

141 General Assembly, Human Rights Council, Report of the Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, Michael Lynk, A/HRC/49/87 (12 August 2022), <https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/G22/448/72/PDF/G2244872.pdf?OpenElement>, para. 41, 43.[別のリンク：<https://documents.un.org/doc/undoc/gen/g22/448/72/pdf/g2244872.pdf?token=KndoiTJBVtK57Ss0c&fe=true>]

142 UN OCHA, Special Rapporteur on the situation of human rights in the Occupied Palestinian Territories: Israel has imposed upon Palestine an apartheid reality in a post-apartheid world (25 March 2022), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2022/03/special-rapporteur-situation-human-rights-occupied-palestinian-territories>.

143 General Assembly, Human Rights Council, Report of the Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian territories occupied since 1967, Michael Lynk, A/HRC/49/87 (12 August 2022), <https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/G22/448/72/PDF/G2244872.pdf?OpenElement>, paras. 38, 39, 50.[別のリンク：<https://documents.un.org/doc/undoc/gen/g22/448/72/pdf/g2244872.pdf?token=bYhfi0vCOJMxIlBdZx&fe=true>]

36. 西岸地区のパレスチナ人も、イスラエル兵や武装入植者による日常的な暴力にさらされている。2023年の10月7日以前、すなわち1月1日から10月6日の間に、西岸地区で199人のパレスチナ人がイスラエル兵や入植者によって殺害され、9,000人以上が負傷した。¹⁴⁴ 2023年9月までに、セーブ・ザ・チルドレンはすでに、少なくとも38人のパレスチナの子どもたちが殺害され、2023年は2005年以来、西岸地区でパレスチナの子どもたちにとって最も死者の多い年であると発表していた。¹⁴⁵ 2023年10月7日以降、77人の子どもを含む295人のパレスチナ人がイスラエル軍兵士や入植者によって殺害され、576人の子どもを含む3,803人が負傷した--その多くは重傷であった。¹⁴⁶ これまでに西岸地区で殺害されたパレスチナ人は495人にのぼり、2005年以来「パレスチナ人にとって最も死者の多い年」となった。¹⁴⁷

37. 恣意的な大量逮捕の波の中で、イスラエルは、西岸地区と東エルサレムからの、3000人以上のパレスチナ人を拘束し、その理由の中にはガザの状況に関連するソーシャルメディアへの投稿を理由とする逮捕も含まれていた。¹⁴⁸ イスラエルは、告訴も裁判もなく、行政拘禁されているパレスチナ人の数を2070人にまで大幅に増やした。¹⁴⁹ イスラエルで働くガザ出身のパレスチナ人数千人も恣意的に逮捕・拘束され、2023年11月3日にはそのうち3200人が激しい全面砲撃の中、ガザに強制帰還させられた。パレスチナ人労働者は逮捕時に暴行された、あるいは身体的暴力、虐待、屈辱を受けたという報道が多数に及ぶ。¹⁵⁰ イスラエルの人質と引き換えに解放された西岸地区のパレスチナ人成人および子どもの被拘禁者の多くも、イスラエルの拘置所での食料、水、医療、電気へのアクセス制限とともに、特に2023年10月7日以降、ひどい虐待、深刻な殴打、個人の尊厳に対するその他の侵害を受けたと報じられている。¹⁵¹ 特に西岸地区のパレスチナ人被拘禁者6人が、2023年10月7日以降、イスラエルの拘束下で死亡している。¹⁵² 19人のイスラエル人刑務官が、Ketziot刑務所で囚人の一人Tha'er Abu Asabを殴り殺したとして取調べを受けていると語

144 UN OCHA, Data on casualties, <https://www.ochaopt.org/data/casualties>.

145 Save the Children, 2023 marks deadliest year on record for children in the occupied West Bank (18 September 2023), <https://www.savethechildren.net/news/2023-marks-deadliest-year-record-children-occupied-west-bank>.

146 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #77 (26 December 2023), <https://www.un.org/unispal/document/hostilities-in-the-gaza-strip-and-israel-unocha-flash-update-77/>.

147 Ibid.

148 UN OHCHR, Press Release: Dramatic rise in detention of Palestinians across occupied West Bank (1 December 2023), <https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/un-human-rights-office-opt-dramatic-rise-detention-palestinians-across-occupied-west-bank>; Tahani Mustafa, "With All Eyes on Gaza, Israel Tightens Its Grip on the West Bank", Crisis Group (24 November 2023), <https://www.crisisgroup.org/middle-east-north-africa/east-mediterranean-mena/israelpalestine/all-eyes-gaza-israel-tightens-its>.

149 Amnesty International, "Israel/OPT: Horrifying cases of torture and degrading treatment of Palestinian detainees amid spike in arbitrary arrests", (8 November 2023), <https://www.amnesty.org/en/latest/news/2023/11/israel-opt-horrifying-cases-of-torture-and-degrading-treatment-of-palestinian-detainees-amid-spike-in-arbitrary-arrests/>.

150 "Gaza workers expelled from Israel accuse Israeli authorities of abuse, including beatings", CNN (9 November 2023), <https://edition.cnn.com/2023/11/06/middleeast/gaza-workers-allege-abuse/index.html>; Bethan McKernan and Rory Carroll, "Israel deports thousands of stranded Palestinian workers back to Gaza", The Guardian (3 November 2023), <https://www.theguardian.com/world/2023/nov/03/israel-deports-thousands-of-stranded-palestinian-workers-back-to-gaza>; Gisha, "Israeli cabinet decision to return Gaza workers to the Strip" (3 November 2023), <https://gisha.org/en/israeli-cabinet-decision-to-return-gaza-workers-to-the-strip/>; Amnesty International, "Israel/OPT: Horrifying cases of torture and degrading treatment of Palestinian detainees amid spike in arbitrary arrests" (8 November 2023), <https://www.amnesty.org/en/latest/news/2023/11/israel-opt-horrifying-cases-of-torture-and-degrading-treatment-of-palestinian-detainees-amid-spike-in-arbitrary-arrests/>.

151 UN OHCHR, Press Release: Dramatic rise in detention of Palestinians across occupied West Bank (1 December 2023), <https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/un-human-rights-office-opt-dramatic-rise-detention-palestinians-across-occupied-west-bank>.

152 Ibid.

られている。¹⁵³

38. 2023年10月7日以降、西岸地区の難民キャンプをイスラエル軍は空爆および襲撃し、多くのパレスチナ人を殺害し、道路をブルドーザーで破壊し、厳しい移動制限を課している。¹⁵⁴ 西岸地区では、病院を含む「医療」に対する攻撃が236件行われ、イスラエル軍は医療スタッフや救急隊員を拘束し、救急隊が負傷者に接触するのを妨げている。¹⁵⁵ イスラエルの政治家があからさまに支持している、武装したイスラエル人の入植者によるパレスチナ人への武装攻撃も劇的にエスカレートしている。¹⁵⁶ 入植者たちは、しばしばイスラエル兵を伴って、少なくとも8人のパレスチナ人を殺害し、少なくとも85人を負傷させ、パレスチナ人、特に農村に恐怖を植え付け、財産に損害を与えている。¹⁵⁷ 西岸地区のパレスチナ人2,186人(うち子ども1,058人)が、2023年10月7日以降、イスラエル軍による懲罰・懲戒的な家屋取り壊しや、イスラエル軍の急襲や軍事作戦による家屋の損壊と並んで、イスラエル入植者による過剰な暴力の結果、国内避難民となっている。¹⁵⁸ 国際刑事裁判所の検察官は2023年12月、西岸地区におけるイスラエル入植者の攻撃について「調査を加速している」と明らかにした。¹⁵⁹

39. 2023年10月7日以降の西岸地区におけるイスラエルの行動(脆弱なパレスチナ人コミュニティをその土地から追い出すことを含め、パレスチナ人やパレスチナ人の財産に対する攻撃と攻撃の教唆を行うイスラエル人入植者を支援し、防止や処罰を行わなかったことを含む)は、ガザにおけるイスラエルの行動と本質的に関連しており、イスラエルがジェノサイド条約に違反する文脈では、少なくとも重要な要素の一つとなっている。

3. 2023年10月7日のイスラエルにおける攻撃

40. イスラエルによるガザでの軍事攻撃と西岸地区での軍事作戦群の強化は、2023年10月7日のハマースの軍事組織(「イザディン・アルカッサム旅団、(afpbb)」)とパレスチナのイスラム聖戦という2つのパレスチナ武装集団によるイスラエルでの攻撃(「アル・アクサの洪水作戦」と名付けられた)に対応して開始された。これらの武装集団はイスラエルに向けて大量のロケット弾を発射し、イスラエルが設置したガザを包囲するフェンスを突破し、イスラエルの軍事基地や市民の町を攻撃し、さらに数千人の若者が参加した音楽祭を攻撃し、これらの状況はICCの検察官による捜査が行われている。¹⁶⁰ 南アフリカは、2023年12月21日付のイスラエルに宛てた非公式書

¹⁵³ "Israel probes death of Palestinian prisoners by 19 prison guards - report", The Jerusalem Post (21 December 2023), <https://www.jpost.com/israel-news/article-778924>.

¹⁵⁴ UN OHCHR, Gaza: UN experts call on international community to prevent genocide against the Palestinian people (16 November 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/11/gaza-un-experts-call-international-community-prevent-genocide-against>.

¹⁵⁵ World Health Organisation, oPt Emergency Situation Update Issue 16 (7 December 2023), https://www.emro.who.int/images/stories/palestine/oPt_Emergency_Situation_Update_-_DEC7b.pdf.

¹⁵⁶ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #72 (18 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-72>.

¹⁵⁷ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #77 (26 December 2023), <https://www.un.org/unispal/document/hostilities-in-the-gaza-strip-and-israel-unocha-flash-update-77/>.

¹⁵⁸ Ibid.

¹⁵⁹ International Criminal Court, Statement of ICC Prosecutor Karim A. A. Khan KC from Ramallah on the situation in the State of Palestine and Israel (6 December 2023), <https://www.icc-cpi.int/news/statement-icc-prosecutor-karim-khan-kc-ramallah-situation-state-palestine-and-israel>.

¹⁶⁰ International Criminal Court ("ICC"), Statement of the Prosecutor of the International Criminal Court, Karim A.A. Khan KC, on the Situation in the State of Palestine: receipt of a referral from five States Parties (17 November 2023),

簡に明示的に記録されているとおり、2023年10月7日にハマースおよびその他のパレスチナ武装集団がイスラエル人および外国籍の市民を標的にし、人質を取ったことを明確に非難する。

41. イスラエル当局の発表によると、2023年10月7日以降、イスラエルで、36人の子どもを含む1,200人以上のイスラエル人および外国人が殺害された。¹⁶¹ また、高齢者、女性、子どもを含む約240人の市民とイスラエル軍兵士が人質としてガザに連行された。

人質のうちわずか 110 人だけが、イスラエルによって「収監または「行政拘禁」されている」240 人のパレスチナ人（高齢者、女性、子どもを含む）と引き換えに、現在までに解放されている。¹⁶² 人質のうち 57 人がイスラエルによるガザへの砲撃で死亡したと報告されており、さらに 3 人の人質がガザでイスラエル兵に射殺されたことが確認されている。¹⁶³ ガザからイスラエル領内にロケット弾が撃ち込まれ続け、特にガザやレバノンとの分離柵に接する地域から、数万人のイスラエル人が避難を続けている。¹⁶⁴ ICC 検察官は、人質を取る行為は「ジュネーブ条約に対する重大な違反」であり、子どもを連れ去り拘束することは「人道の基本原則に対する甚だしい違反」であると警告している。¹⁶⁵ 国連総会決議 ES-10/21 および ES-10/22（2023 年）は、イスラエルの市民を狙った暴力行為を非難し、不法に拘束されているすべての市民の解放を求めている。¹⁶⁶ 国連安全保障理事会決議2712（2023年）もまた、「ハマースやその他のグループによって拘束されているすべての人質の即時かつ無条件の解放」を求めている。¹⁶⁷

42. 2023年10月7日の攻撃を受けて、イスラエルはハマースを「粉碎・排除」し、「わが領土に侵入した敵対勢力を一掃し、治安を回復する」と宣言した。¹⁶⁸ 2023年10月7日、イスラエル首

<https://www.icc-cpi.int/news/statement-prosecutor-international-criminal-court-karim-aa-khan-kc-situation-state-palestine>;

ICC, Statement of ICC Prosecutor Karim A. A. Khan KC from Cairo on the situation in the State of Palestine and Israel (30 October 2023), <https://www.icc-cpi.int/news/statement-icc-prosecutor-karim-khan-kc-cairo-situation-state-palestine-and-israel>.

¹⁶¹ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #72 (20 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-72>; and UNOCHA relies on information provided to it by the Israeli authorities.

¹⁶² Israel Ministry of Foreign Affairs, Statement by PM Netanyahu (16 December 2023), <https://www.gov.il/en/departments/news/statement-by-pm-netanyahu-16-dec-2023>.

¹⁶³ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #33 (8 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-33>. UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #70 (15 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-70>

¹⁶⁴ "About 200,000 Israelis internally displaced amid ongoing Gaza war, tensions in north", The Times of Israel (22 October 2023), <https://www.timesofisrael.com/about-200000-israelis-internally-displaced-amid-ongoing-gaza-war-tensions-in-north/>.

¹⁶⁵ International Criminal Court, "Statement of ICC Prosecutor Karim A. A. Khan KC from Cairo on the situation in the State of Palestine and Israel" (30 October 2023), <https://www.icc-cpi.int/news/statement-icc-prosecutor-karim-khan-kc-cairo-situation-state-palestine-and-israel>; International Criminal Court "ICC Prosecutor, Karim A. A. Khan KC, concludes first visit to Israel and State of Palestine by an ICC Prosecutor: "We must show that the law is there, on the front lines, and that it is capable of protecting all" (3 December 2023), <https://www.icc-cpi.int/news/icc-prosecutor-karim-khan-kc-concludes-first-visit-israel-and-state-palestine-icc-prosecutor>.

¹⁶⁶ General Assembly resolution ES10/21, Protection of civilians and upholding legal and humanitarian obligations, A/RES/ES-10/21 (27 October 2023); General Assembly resolution ES-10/22, Protection of civilians and upholding legal and humanitarian obligations, A/RES/ES-10/22 (12 December 2023).

¹⁶⁷ Security Council resolution 2712, The situation in the Middle East, including the Palestinian Question, S/RES/2712 (15 November 2023), <https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/N23/359/02/PDF/N2335902.pdf?OpenElement>.

¹⁶⁸ Address by the Prime Minister of Israel, 11 October 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=Jb1krYLPZiI>; Statement of the Prime Minister of Israel, 7 October 2023, <https://twitter.com/IsraeliPM/status/1710627409634922912>.

相は「IDFは直ちに全力を挙げてハマースの能力を破壊する。我々は彼らを壊滅させ、彼らがイスラエル国家とその市民に強要したこの暗黒の日に力強く復讐する」と宣言した。¹⁶⁹ 2023年10月9日、首相は「イスラエルは戦争状態にある」と発表した。¹⁷⁰ 首相とイスラエル大統領はともに、イスラエルがガザで継続している軍事活動の正当化として「自衛権」を持ち出している。¹⁷¹ イスラエルとハマースの敵対行為の激化は、イスラエルによって「鋼鉄の剣戦争」と呼ばれ、欧米の国際メディアや論評では「イスラエル・ハマース戦争」と呼ばれている。¹⁷²

C. パレスチナ人に対するジェノサイド行為

43. このセクションでは、イスラエルがジェノサイドの性格を持つ行為に関与していることを、その性質・範囲・文脈を考慮した上で概観する。これらの行為は進行中であり、紛争という状況の中で進行しているものであり、イスラエルは意図的にガザに通信遮断を課し、事実調査機関¹⁷³や国際メディアのアクセスを制限している。¹⁷⁴ 同時に、パレスチナのジャーナリストは、過去 100 年間のどの紛争にもみられなかったほどの割合で殺害されている。10月7日以降の2カ月間

¹⁶⁹ Statement of the Prime Minister of Israel, 7 October 2023, <https://www.gov.il/en/departments/news/event-statement071023>.

¹⁷⁰ Statement of the Prime Minister of Israel, 9 October 2023, <https://www.gov.il/en/departments/news/event-statement091023>.

¹⁷¹ See e.g., Prime Minister of Israel, @IsraeliPM, Tweet (1:49 pm, November 6, 2023), <https://twitter.com/IsraeliPM/status/1721525305393766829>;

Ministry of Foreign Affairs Israel, President Herzog meets with Cypriot President Nikos Christodoulides (21 October 2023), <https://www.gov.il/en/departments/news/president-herzog-meets-with-cypriot-president-nikos-christodoulides-21-oct-2023>; Ministry of Foreign Affairs Israel, President Herzog meets with UK Prime Minister Rishi Sunak (19 October 2023), <https://www.gov.il/en/departments/news/president-herzog-meets-with-uk-prime-minister-rishi-sunak-19-oct-2023>.

¹⁷² Ministry of Foreign Affairs, "Swords of Iron: War in the South - Hamas' Attack on Israel", (18 December 2023), <https://www.gov.il/en/departments/news/swords-of-iron-war-in-the-south-7-oct-2023>.

¹⁷³ There is a long-standing practice of Israel restricting access to the oPt, alongside expelling and/or denying visas to UN staff, Special Rapporteurs and fact-finding teams, including UN commissions of inquiry: see, e.g., United Nations, General Assembly, Report of the Independent International Commission of Inquiry on the Occupied Palestinian Territory, including East Jerusalem, and Israel, A/78/198 (5 September 2023), para. 4[別のリンク: <https://digitallibrary.un.org/record/4024051?v=pdf>],

<https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/N23/260/71/PDF/N2326071.pdf?OpenElement>; UN OCHA, Bachelet deplores Israel's failure to grant visas for UN Human Rights staff in the occupied Palestinian territory (30 August 2022),

<https://www.ohchr.org/en/press-releases/2022/08/bachelet-deplores-israels-failure-grant-visas-un-human-rights-staff-occupied>; UN OHCHR, Occupied Palestinian Territory: UN human rights expert says Israel bent on further annexation (12 July 2019),

<https://www.ohchr.org/en/press-releases/2019/07/occupied-palestinian-territory-un-human-rights-expert-says-israel-bent>; United Nations, General Assembly, Report of the independent commission of inquiry established pursuant to Human Rights Council resolution S-21/, A/HRC/29/52 (24 June 2015), para. 3, <https://www.ohchr.org/en/hr-bodies/hrc/co-i-gaza-conflict/report-co-i-gaza#report>.; United Nations Human Rights Council, Report of the independent international commission of inquiry on the protests in the Occupied Palestinian Territory, A/HRC/40/74 (27 February 2019), para. 3,

https://www.ohchr.org/sites/default/files/Documents/HRBodies/HRCouncil/CoIOPT/A_HRC_40_74.pdf;

Rebekah Yeager-Malkin, Israel will not renew visa of one UN employee, denies visa for another citing UN response to Hamas attacks", Jurist (26 December 2023), <https://www.jurist.org/news/2023/12/israel-will-not-renew-the-visa-of-one-un-employee-denies-the-visa-of-another/>.

¹⁷⁴To date, only correspondents embedded with and subject to the censorship of the Israeli army have been permitted entry; see, e.g., "Foreign correspondents petition Israel Supreme Court for Gaza access", Reuters (19 December 2023), <https://www.reuters.com/world/middle-east/foreign-correspondents-petition-israel-supreme-court-gaza-access-2023-12-19/>.

で、殺害されたジャーナリストの数は、すでに第二次世界大戦の全期間を上回っている。¹⁷⁵ さらに詳細な情報は、本手続きの過程で提供される予定である。しかし、入手可能な情報だけでも、イスラエルは、(1) ガザにいるパレスチナ人（パレスチナ人の子どもを含む）を大量に殺害していること、(2) ガザにいるパレスチナ人（パレスチナ人の子どもを含む）に深刻な身体的・精神的危害を与えていること、そして集団としての滅亡をもたらすことを意図した生活条件を与えていることが立証されている。それらの生活条件には以下が含まれる。(3)自宅や居住地域の大規模な破壊と並行して、自宅からの排除と集団移住、(4)適切な食料と水へのアクセスの剥奪、(4)[番号は原文のママ(訳注)]適切な医療へのアクセスの剥奪、(5)適切な避難所、衣服、衛生設備へのアクセスの剥奪、(6)ガザのパレスチナ人の生活の破壊、(7)パレスチナ人の出産を阻止することを意図した措置の実施。

44. 紛争状況を知らないわけではない国連総長や赤十字国際委員会（ICRC）は、ガザで起きていることを「人道の危機」と呼んでいる。¹⁷⁶「世界各地の戦争地帯や災害で活躍してきた人道支援に携わるベテラン、つまりあらゆるものを見てきた人々は、今日のガザのような光景は見たことがないと言う」（国連事務総長）。¹⁷⁷これは「道徳的失敗」であり、「耐え難い苦しみを引き起こしている（ICRC総裁）。¹⁷⁸「今や黙示録的な状況である。なぜなら、これらは南部の小さな地域に追いやられた国家[国民]の残骸なのだから」（国連人道問題担当事務次長兼緊急救援調整官）。¹⁷⁹彼らはガザのパレスチナ人について、「イスラエルから執拗な砲撃を受け続け…死、包囲、破壊に苦しみ、食料、水、救命医療品など、人間に最も必要なものを大規模に奪われ…完全に深まりゆく恐怖の中を生きている」と述べており、それは「黙示録的」（国連人権高等弁務官事務所）である。¹⁸⁰「住民全体が包囲され、攻撃を受けており、生存のための必需品へのアクセスを拒否され、自宅、避難所、病院、礼拝所で爆撃を受けている」（国連機関間常設委員会会長）。¹⁸¹ガザは「子どもにとって世界で最も危険な場所」（国連児童基金（UNICEF）事

175 IFJ, Ninety-four journalists killed in 2023, says IFJ (8 December 2023), <https://www.ifj.org/media-centre/news/detail/category/press-releases/article/ninety-four-journalists-killed-in-2023-says-ifj>; "How deadly is the Israel- Gaza war for journalists?", AlJazeera (9 November 2023), <https://www.aljazeera.com/news/2023/11/9/how-deadly-is-the-israel-gaza-war-for-journalists>.

176 United Nations, Press Conference by Secretary-General António Guterres at United Nations Headquarters (6 November 2023), <https://press.un.org/en/2023/sgsm22021.doc.htm>; "UN chief says Gaza 'crisis of humanity' demands immediate ceasefire", The Times of Israel (6 November 2023), https://www.timesofisrael.com/liveblog_entry/un-chief-says-gaza-crisis-of-humanity-demands-immediate-ceasefire/.

177 UN, Press Conference by Secretary-General António Guterres at United Nations Headquarters (22 December 2023), <https://press.un.org/en/2023/sgsm22095.doc.htm>.

178 ICRC, Gaza: ICRC president calls for the protection of civilians in the face of "moral failure" (4 December 2023), <https://www.icrcnewsroom.org/story/en/2075/gaza-icrc-president-calls-for-the-protection-of-civilians-in-the-face-of-moral-failure>; ICRC, Israel and the occupied territories: President of the ICRC arrives in Gaza, calls for the protection of civilians (4 December 2023), <https://www.icrc.org/en/document/israel-and-occupied-territories-president-icrc-arrives-gaza>.

179 Julian Borger, "'Apocalyptic' conditions in southern Gaza blocking aid, top UN official says", The Guardian (5 December 2023), <https://www.theguardian.com/world/2023/dec/05/un-martin-griffiths-idf-campaign-southern-gaza-apocalyptic-conditions>; Interview with UN Relief Chief Martin Griffiths on CNN, 22 November 2023, at Christiane Amanpour, @amanpour, Tweet (3:08 pm, November 22, 2023), <https://twitter.com/amanpour/status/1727343309486542926>.

180 UN OHCHR, Opening statement by UN High Commissioner for Human Rights Volker Türk at press conference ahead of Human Rights Day (6 December 2023), <https://www.ohchr.org/en/statements-and-speeches/2023/12/opening-statement-un-high-commissioner-human-rights-volker-turk>.

181 UN IASC, Statement by Principals of the Inter-Agency Standing Committee, on the situation in Israel and the Occupied Palestinian Territory, "We need an immediate humanitarian ceasefire" (5 November 2023), <https://interagencystandingcommittee.org/about-inter-agency-standing-committee/statement-principals-inter-agency-standing-committee-situation-israel-and-occupied-palestinian>.

務局長)であり、¹⁸² 「生き地獄」であり、「すべてにおいて空前絶後の戦争」であり、「起きていることを説明する言葉がない」(UNRWA事務局長)状態である。¹⁸³

1. ガザにおけるパレスチナ人の殺害

45. パレスチナ保健省によると、イスラエルがガザへの軍事攻撃を開始して以来、21,110人以上のパレスチナ人が殺害されたと報告されており、そのうちの少なくとも70%は女性と子どもと見られている。¹⁸⁴ さらに7,780人(少なくとも4,700人の女性と子どもを含む)と推定される人々が行方不明になっていると報告書されており、破壊された建物の瓦礫の下で緩慢な死を迎えたか、殺された路上で腐乱していると推定されている。¹⁸⁵ イスラエルは適切な燃料の輸入を妨害し、インフラを破壊し、通信網を遮断しているため、救助活動は著しく阻害されている。2023年12月8日の時点で、ガザ全土で稼働している救助車両は1台のみと報告されており、生存者は素手で生存者を探すことを余儀なくされている。¹⁸⁶ イスラエルによる殺戮のレベルは非常に広範囲に及んでおり、遺体は集団墓地に埋葬され、しばしば身元が確認されていない。¹⁸⁷

¹⁸² UNICEF, Statement by UNICEF Executive Director Catherine Russell on the Resumption of Fighting in Gaza (1 December 2023), <https://www.unicef.org.uk/press-releases/statement-by-unicef-executive-director-catherine-russell-on-the-resumption-of-fighting-in-gaza/>.

¹⁸³ UNRWA, Remarks of UNRWA Commissioner-General Philippe Lazzarini at the Global Refugee Forum (13 December 2023), <https://www.unrwa.org/newsroom/official-statements/statement-unrwa-commissioner-general-philippe-lazzarini-global-refugee>; UNRWA, @UNRWA, Tweet (2:46 pm, December 12, 2023), <https://twitter.com/UNRWA/status/1734585541591486755>.

¹⁸⁴ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day 82 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-82>. For a list of those killed before 27 October 2023, see: Ministry of Health, Palestine, Detailed report for the victims of the Israeli aggression on the Gaza Strip during the period (7-26 October 2023) (26 October 2023), <https://web.archive.org/web/20231026174513/https://www.moh.gov.ps/portal/wp-content/uploads/2023/10/-الشهداء-1-تقرير-نهائي-باسماء-نهائي.pdf>. Due to the ongoing bombardment, the UN is currently relying on numbers provided by the Gaza Ministry of Health. UN officials see no reason to doubt the figures, which have not been inflated in the past, and which recent studies demonstrate are not now being inflated, see e.g., Adam Taylor, "More than 20,000 dead in Gaza, a historic human toll", Washington Post (22 December 2023), <https://www.washingtonpost.com/world/2023/12/22/gaza-israel-war-20000-dead/>; and Benjamin Q Hunyh, Elizabeth T Chin, Paul B Spiegel, "No evidence of inflated mortality reporting from the Gaza Ministry of Health", The Lancet (6 December 2023), [https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(23\)02713-7/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(23)02713-7/fulltext). There may in fact be underreporting, as those whose bodies are not brought to a hospital or morgue are not routinely included in the casualty numbers. In circumstances where so many hospitals have ceased functioning, where Palestinians are unable to reach them -- and indeed, as there are repeated reports of people having to resort to burying bodies on the street where they find them, the underreporting could be significant. At present, approximately 7,780 people are missing, presumed dead, but not yet included in the official statistics, Zeina Jamaluddine, Francesco Checchi, Oona M R Campbell, "Excess mortality in Gaza: 7-26, 2023", The Lancet (26 November 2023), [https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(23\)02640-5/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(23)02640-5/fulltext).

¹⁸⁵ Red Crescent Society, Palestine Red Crescent Society Response Report As of Saturday, October 7th 2023, 6:00 PM Until Sunday, December 24th 2023, 24:00 AM (24 December 2023), p.1, <https://www.palestinercs.org/public/files/image/2023/News/latestresponse23012023/en%20220%202023.pdf>.

¹⁸⁶ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #63 (8 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-63>; and Wafaa Shurafa and Samy Magdy, "Thousands of bodies lie buried in rubble in Gaza. Families dig to retrieve them, often by hand", AP (17 November 2023), <https://apnews.com/article/israel-palestinians-gaza-buried-rubble-airstrikes-89c0e8d0934d573d94d2fbfeba44d933>.

¹⁸⁷ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #48 (23 November 2023), <https://www.unocha.org/publications/report/occupied-palestinian-territory/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-48-enarhe>.

46. 「ガザに安全な場所はない」と国連事務総長をはじめ、国連の専門家たちが今、国際社会に対して明らかにしたとおりである。¹⁸⁸ ガザのパレスチナ人は、家でも、避難場所でも、病院でも、UNWRAの学校でも、教会でも、モスクでも、家族のために食料や水を探そうとしたところでも殺された。彼らは立ち退きができなければ殺され、立ち退いても避難先で殺され、イスラエルが宣言した「安全なルート」に沿って逃げようとしたときでさえも殺された。¹⁸⁹ イスラエル兵が、同じ家族の複数のメンバー（男性、女性、高齢者）を含めて、手続きを無視した処刑を行うことが増えていると報告されている。¹⁹⁰ そのような報告のひとつに、ガザ市内でアナン一家の少なくとも11人の男性とその親族（少年と男性）がイスラエル兵によって引き離され、家族の前で射殺され、その後、女性と子どもが襲われたという報告がある。¹⁹¹ また、イスラエルの人質を含む非武装の人々が、白い旗を振っているときなど、何らの脅威もないにもかかわらず、その場で射殺されたという報告がある。¹⁹² パレスチナの住宅や居住区への攻撃が死者の多くを占めており¹⁹³、イスラエルは人工知能（AI）を使用して、1日に最大100の爆撃目標を生成していると報じられている。¹⁹⁴

47. イスラエルがガザに投下しているのは、「ダム」爆弾（すなわち無誘導爆弾）¹⁹⁵ と、最

¹⁸⁸ Letter by the Secretary-General to the President of Security Council invoking Article 99 of the United Nations Charter, (6 December 2023), https://www.un.org/sites/un2.un.org/files/sg_letter_of_6_december_gaza.pdf; UNICEF, A dystopic scene that seemed to stretch on endlessly (November 2023), <https://www.unicef.org.uk/what-we-do/emergencies/no-safety-for-children-in-gaza/#:~:text=%E2%80%9CUnless%20those%20conditions%20are%20met,need%20a%20humanitarian%20ceasefire%20now.%E2%80%9D>「別のリンク：<https://www.unicef.org.uk/what-we-do/emergency-response/no-safety-for-children-in-gaza/>]; ICRC, Israel and the occupied territories: Deescalate now to prevent further human suffering (28 October 2023), <https://www.icrc.org/en/document/israel-and-occupied-territories-deescalate-now-prevent-further-human-suffering>.

¹⁸⁹ UN OHCHR, UN Human Rights has “grave fears” about toll on civilians in Gaza (17 October 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-briefing-notes/2023/10/un-human-rights-has-grave-fears-about-toll-civilians-gaza>; “Gaza civilians afraid to leave home after bombing of ‘safe routes’”, The Guardian (15 October 2023), <https://www.theguardian.com/world/2023/oct/14/gaza-civilians-afraid-to-leave-home-after-bombing-of-safe-routes>; ICRC, The ICRC urges protection for Gaza civilians evacuating and staying behind (13 November 2023), <https://blogs.icrc.org/ir/en/2023/11/the-icrc-urges-protection-for-gaza-civilians-evacuating-and-staying-behind/>.

¹⁹⁰ UN, The Question of Palestine, Unlawful Killings in Gaza (20 December 2023), <https://www.un.org/unispal/document/unlawful-killings-in-gaza-city-ohchr-press-release/>. Euro-Med Human Rights Monitor, Euro-Med Monitor sends UN rapporteurs, ICC Prosecutor primary report documenting dozens of field execution cases in Gaza (25 December 2023), <https://euromedmonitor.org/en/article/6058>.

¹⁹¹ UN, The Question of Palestine, Unlawful Killings in Gaza (20 December 2023), <https://www.un.org/unispal/document/unlawful-killings-in-gaza-city-ohchr-press-release/>.

¹⁹² UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #70 (15 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-70>; “Israeli soldiers kill hostages waving white flag after mistaking them for Hamas fighters”, Financial Times (17 December 2023), <https://www.ft.com/content/2e299603-2fed-4855-9694-9801008c48dc>.

¹⁹³ UN OCHA Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #72 (18 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-72>.

¹⁹⁴ Yuval Abraham, “A mass assassination factory’: Inside Israel’s calculated bombing of Gaza”, +972 Magazine (30

November 2023), <https://www.972mag.com/mass-assassination-factory-israel-calculated-bombing-gaza/>; and Harry Davies, Bethan McKernan and Dan Sabbagh, “‘The Gospel’: how Israel uses AI to select bombing targets in Gaza”, The Guardian (1 December 2023), <https://www.theguardian.com/world/2023/dec/01/the-gospel-how-israel-uses-ai-to-select-bombing-targets..>

¹⁹⁵ Office of the Director of National Intelligence assessment, reported by Natasha Bertrand and Kattie Bo Lillis, “Exclusive:

Nearly half of the Israeli munitions dropped on Gaza are imprecise ‘dumb bombs,’ US intelligence assessment finds”, CNN (13 December 2023),

<https://edition.cnn.com/2023/12/13/politics/intelligence-assessment-dumb-bombs-israel-gaza/index.html>; and John Paul Rathbone, “Military briefing: the Israeli bombs raining on Gaza”, Financial Times (6 December 2023), <https://www.ft.com/content/7b407c2e-8149-4d83-be01->

大2,000ポンド（900キログラム）の重爆弾¹⁹⁶であると言われている。それらは、致死半径が「最大360メートル」と予測され、「着弾地点から800メートル先まで深刻な傷害と被害をもたらすと予測されている」。¹⁹⁷ この兵器が世界で最も人口密度の高い地域のひとつに配備されており、ここでは現在、およそ100人に1人の割合で殺されている。パレスチナ人の家屋や難民キャンプに対するイスラエルの空爆の中には、110人以上のパレスチナ人が死亡したものもある。¹⁹⁸ ガザでは、推定1,779世帯のパレスチナ人家族が複数の身内を失い、母親、父親、子ども、兄弟姉妹、祖父母、叔母、いとこなど、まるごと殺されてしまい、生存者が誰もいない多世代家族が何百にも及ぶ。¹⁹⁹ 2023年11月7日までに、ガザの312のパレスチナ人家族が、それぞれ10人以上の家族を失った。²⁰⁰ 多くのパレスチナ人家族が、それぞれ70人以上の家族を失った。²⁰¹ パレスチナ人家族の死亡率の高さから、ガザの医療関係者は、「生存する家族のいない負傷した子ども wounded child, no surviving family」を意味する「WCNSF」という新しい略語を作らなければならなくなった。²⁰²

48. 特にパレスチナの子どもたちにとって、「死はいたる所にあり」、「安全はどこにもない」のである。²⁰³ これまでにガザで殺害されたパレスチナの子どもは合計7,729人を超え、ガザでは毎日115人以上のパレスチナの子どもが殺害されている。²⁰⁴ガザで最初の3週間だけで殺害さ

72dcae8aee7b.

196 Amnesty International, Israel/OPT: US-made munitions killed 43 civilians in two documented Israeli air strikes in Gaza - new investigation (5 December 2023), <https://www.amnesty.org/en/latest/news/2023/12/israel-opt-us-made-munitions-killed-43-civilians-in-two-documented-israeli-air-strikes-in-gaza-new-investigation/>.

197 Action on Armed Violence (AOAV), Explosive weapons with large destructive radius: air-dropped bombs (the Mark 80 series and Paveway attachments) (1 March 2016), <https://aoav.org.uk/2016/large-destructive-radius-air-dropped-bombs-the-mark-80-series-and-paveway-attachments/>; see also: Robin Stein, Haley Willis, Ishaan Jhaveri, Danielle Miller, Aaron Byrd and Natalie Reneau, "A Times Investigation Tracked Israel's Use of One of Its Most Destructive Bombs in South Gaza", New York Times (21 December 2023), <https://www.nytimes.com/2023/12/21/world/middleeast/israel-gaza-bomb-investigation.html>.

198 David Gritten, "Gaza health ministry says Israeli strikes kill 110 in Jabalia", BBC News (18 December 2023), <https://www.bbc.com/news/world-middle-east-67749557>.

199 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day 78 (27 December 2023),

<https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-78>; Amnesty International, Damning evidence of war crimes as Israeli attacks wipe out entire families in Gaza, (20 October 2023), <https://www.amnesty.org/en/latest/news/2023/10/damning-evidence-of-war-crimes-as-israeli-attacks-wipe-out-entire-families-in-gaza/>; Child Rights Connect, Child Rights Connect deplores the grave violations of children's rights in Israel and the occupied Palestinian territory (23 October 2023), <https://childrightsconnect.org/child-rights-connect-deplores-the-grave-violations-of-childrens-rights-in-israel-and-the-occupied-palestinian-territory/>.

200 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day 32 (7 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-32>.

201 See e.g., UNDP, Statement on the killing of UNDP staff member & family in Gaza (22 December 2023), <https://www.undp.org/speeches/statement-killing-undp-staff-member-family-gaza>; "Palestinian-Americans speak out about family, friends killed in Israel-Hamas war", ABC Eyewitness News (19 December 2023),

<https://abc7ny.com/palestinian-american-gaza-war-victims/14202160/>.

202 Save the Children, Children's Mental Health in Gaza Pushed Beyond Breaking Point After Nearly a Month Of Siege and Bombardment (7 November 2023), <https://www.savethechildren.org.uk/news/media-centre/press-releases/childrens-mental-health-in-gaza-deteriorates-one-month-on->.

203 UNICEF, Press Release: The war on children resumes: Geneva Palais briefing note (1 December 2023), <https://www.unicef.org/press-releases/war-children-resumes-geneva-palais-briefing-note>; James Elder (UNICEF Spokesperson), "Bearing witness: No safety for children in Gaza", UNICEF (15 December 2023), <https://www.unicef.org/blog/bearing-witness-no-safety-children-gaza>.

204 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day 73 (19 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-73>; UN, United Nations Türkiye, Gaza crisis: Aid agencies warn of 'tragic, avoidable surge' in child deaths (22 November 2023),

れたパレスチナの子どもの数（合計3,195人）は、2019年以降、世界の紛争地帯で毎年殺害される子どもの総数を上回ると推定されている。²⁰⁵ ガザにおけるパレスチナの子どもの殺害の規模は、国連の責任者が「子どもの墓場」と表現するほどである。²⁰⁶ 実際、パレスチナの子どもの犠牲者の前例のない割合から、ユニセフの広報担当者はイスラエルのガザ攻撃を「子どもに対する戦争」と呼んでいる。彼はこう説明する。

「ほとんどの危機では、子どもたちが最も弱い立場にあるため、子どもたちに大きな影響を与えるが、ほとんどの場合、子どもたちの犠牲率は20%程度である。これがここでは40%である。これは、過去15年、20年に起きた多くの紛争の2倍であり、残念なことに、人口密度の高さ、無差別性、そして子どもや若い女性のための水や衛生設備を備えた安全地帯の設置にまったく取り組もうとしないことが原因である。子どもたちへの軽視は、砲撃にも表れている。だからこそ、死傷者の40%が子どもなのだ。だから、これは子どもに対する戦争なのだ」。²⁰⁷

49. 医師、ジャーナリスト、教師、学者、その他の専門家も、まったく前例のない割合で殺されている。現在までイスラエルは以下の殺害を行なっている。311人以上の医師、看護師、その他の医療従事者（勤務中に殺された医師と救急車の運転手を含む）²⁰⁸、103人のジャーナリストの殺害（1日1人以上²⁰⁹の割合で、2023年に世界で殺害されたジャーナリストとメディア関係者の総数の73%以上）²¹⁰、被災者を瓦礫の中から救助する責任を負っている民間防衛隊員40人の勤務中の殺害、209人以上の教員や教育関係者の殺害²¹¹、144人の国連の職員の殺害（これは「このような短期間に殺害された援助職員の数としては国連史上最多」）である。²¹² これは「瓦礫の下から人々の遺体を回収するには何年もかかる」と推定され、「費用がかかるので技術的にそれぞれの遺体の身元を確認することはできない」とされている。²¹³

<https://turkiye.un.org/en/253479-gaza-crisis-aid-agencies-warn-%E2%80%98tragic-avoidable-surge%E2%80%99-child-deaths>.

205 Save the Children, Press Release: GAZA: 3,195 children killed in three weeks surpasses annual number of children killed in conflict zones since 2019 (29 October 2023), <https://www.savethechildren.net/news/gaza-3195-children-killed-three-weeks-surpasses-annual-number-children-killed-conflict-zones>.

206 UNICEF, Gaza has become a graveyard for thousands of children (31 October 2023), <https://www.unicef.org/press-releases/gaza-has-become-graveyard-thousands-children>.

207 Interview with James Elder, UNICEF Spokesperson by CNN, "CNN speaks to UNICEF about dire situation in Gaza", CNN (15 December 2023), <https://edition.cnn.com/videos/world/2023/12/15/exp-unicef-gaza-james-elder-live-121402pseg1-cnni-world.cnn>.

208 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day 82 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-82>; International Federation of Journalists, Ninety-four journalists killed in 2023, says IFJ (8 December 2023), <https://www.ifj.org/media-centre/news/detail/category/press-releases/article/ninety-four-journalists-killed-in-2023-says-ifj>.

209 Ibid.

210 UN OHCHR, Killings of journalists and their family members in Gaza - OHCHR press release (14 December 2023), <https://www.un.org/unispal/document/killings-of-journalists-and-their-family-members-in-gaza-dec14-2023/>.

211 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #78 (27 December 2023), [https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-78#:~:text=According%20to%20Ministry%20of%20Education,teachers%20were%20injured%20in%20Gaza](https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-78#:~:text=According%20to%20Ministry%20of%20Education,teachers%20were%20injured%20in%20Gaza.). [別のリンク：<https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-78#>]

212 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day 82 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-82>; UN News, UN honours 101 staff killed in Gaza conflict (13 November 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/11/1143512>.

213 Bassam Massou and Maggie Fick, "Gaza death toll: why counting the dead has become a daily struggle", Reuters (21 December 2023), <https://www.reuters.com/world/middle-east/fight-keep-counting-dead-gaza-2023-12-21/>.

50. イスラエルの兵器による殺害に加え、ガザのパレスチナ人は、イスラエルによる包囲が続いていること、パレスチナ人への援助が不十分であること、イスラエルの軍事攻撃でガザのインフラが破壊されたため、ガザに入ることが許可されている限られた援助を分配することが極端に困難であることから、飢餓、脱水、病気による差し迫った死の危険にさらされている。²¹⁴

2. ガザのパレスチナ人への深刻な身体的・精神的危害

51. パレスチナ人の55243人が、2023年10月7日以降、イスラエルによるガザへの軍事攻撃で負傷し、その大半は女性と子どもである。²¹⁵ 典型的な負傷は火傷と身体切断であり²¹⁶、推定1000人の子どもが片足または両足を失っている。²¹⁷ イスラエル軍がガザの人口密集地域で白燐弾を使用したとの報告がある。世界保健機関が記しているように、少量の白燐でも深く重度の火傷を引き起こし、骨をも貫通し、初期治療後に再度発火する可能性がある。²¹⁸ 特にガザ北部には病院が機能していないため、負傷者は「死を待つ」しかなく、応急処置以上の手術や治療を受けることができず、負傷や感染症によって、緩慢な苦しい死を迎えることになる。²¹⁹

52. 極度の砲撃と安全な場所の欠如も、ガザのパレスチナ人に深刻な精神的トラウマを引き起こしている。²²⁰ 今回の猛攻撃以前から、ガザのパレスチナ人は、これまでの攻撃による深刻なトラウマに苦しんでいた。パレスチナ人の子どもたちの80%が、より高いレベルの精神的苦痛を経験し、夜尿症（79%）、反応性無言症（59%）、自傷行為（59%）、自殺願望（55%）を示している。²²¹ 11週間にわたる執拗な砲撃、立ち退き、そして家族の喪失は、必然的にこれらの数字をさらに増加させるだろう。特に、パレスチナで数万人にのぼるとされている片親を失った子ども、家族でたった一人の生き残りとなった子どもたちの間でそのおそれがい大きい。²²² 無傷のま

214 UN News, Gaza humanitarian disaster heralds 'breakdown' of society (8 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144547>; UN News, Gaza: Aid access to north entirely blocked as war escalates in the south (4 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144302>.

215 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #78 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-78>.

216 WHO, WHO leads very high-risk joint humanitarian mission to Al-Shifa Hospital in Gaza (18 November 2023), <https://www.who.int/news/item/18-11-2023-who-leads-very-high-risk-joint-humanitarian-mission-to-al-shifa-hospital-in-gaza>.

217 UN News, 'Ten weeks of hell' for children in Gaza: UNICEF (19 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144927>.

218 Amnesty International, Israel/OPT identifying the Israeli army's use of white phosphorus in Gaza (13 October 2023), <https://amnesty.ca/human-rights-news/israel-opt-identifying-the-israeli-armys-use-of-white-phosphorus-in-gaza/>; WHO, White Phosphorus (20 October 2023), <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/whitephosphorus>.

219 UN News, UPDATED: Injured patients 'waiting to die' in northern Gaza as last hospital shuts down, amid rising 'catastrophic' hunger levels (21 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1145017>.

220 WHO, Escalation of Violence in Israel and the occupied Palestinian territory (13 November 2023), https://apps.who.int/gb/COVID-19/pdf_files/2023/13_11/Item1.pdf; UN United Nations Office at Geneva, 'Nowhere and no one is safe' in Gaza, WHO chief tells Security Council (10 November 2023), <https://www.ungeneva.org/en/news-media/news/2023/11/87337/nowhere-and-no-one-safe-gaza-who-chief-tells-security-council>.

221 Save the Children, Trapped: The impact of 15 years of blockade on the mental health of Gaza's children (2022), https://resourcecentre.savethechildren.net/pdf/gaza_blockade_mental_health_palestinian_children_2022.pdf.

222 Save the Children, Children's Mental Health in Gaza Pushed Beyond Breaking Point After Nearly a Month of Siege and Bombardment (7 November 2023), <https://www.savethechildren.org.uk/news/media-centre/press-releases/childrens-mental-health-in-gaza-deteriorates-one-month-on->; Maram Humaid, "'War is stupid and I want it to end': Injured Palestinian children speak", Al Jazeera (15 December 2023), <https://www.aljazeera.com/news/2023/12/15/war-is-stupid-and-i-want-it-to-end-injured->

ま、あるいは部分的に無傷のまま残っている家族にとってできることは、「絶望的な状態を子どもに悟られないよう、できる限りのことをすること」ぐらいである。²²³

53. 「2007年以降、イスラエルによるガザ包囲と相まって、住宅取り壊しの目撃や経験など、紛争や暴力に繰り返しさらされる」ことが、「パレスチナ人の高いレベルの心理的苦痛と関連している」ことは、すでに知られている。²²⁴ 実際、国連安全保障理事会は決議2712(2023)において、「教育へのアクセスの途絶が子どもに劇的な影響を及ぼし、紛争が生涯にわたる心身の健康に影響を及ぼすことに深い懸念を表明」している。²²⁵ この混乱と子どもたちへの「劇的な影響」は、特に、殺害されたパレスチナの生徒と教育者の数(それぞれ4,037人と209人)、負傷者の数(7,259人と推定される)²²⁶、損壊または破壊されたパレスチナの学校の数(ガザ全体の学校の74%にあたる352校)という文脈のなかで考慮されなければならない。²²⁷ 医療専門家は、「パレスチナのすべての子ども、女性、男性、高齢者、障害を持つ人々、社会から疎外された人々に対する健康への影響は計り知れない」と評価している。²²⁸ 国境なき医師団の緊急コーディネーターは、5週間のガザ滞在から帰国した際にインタビューに答え、次のように述べた。

「現実は見たい以上にひどいものだ。その苦しみは何と言うべきか.....比類のないものだ。本当に耐えがたいものだ。この子どもたちの将来について考えようとしても、言葉が見つからない。数世代の子どもたちが障害を負ったまま、心に傷を負ったまま過すだろう。私たちの精神保健プログラムに参加している子どもたちは、ガザに住み続けるくらいなら死んだほうがましだと私たちに言っている」²²⁹

54. イスラエルは、軍事行動と並行して、ガザにいるパレスチナ人の人格を否定し、残酷、非人道的、卑劣な扱いを行ってきた。子どもを含む多数のパレスチナの民間人が逮捕され、目隠しをされ、服を脱がされ、寒空の下で屋外に放置された後、トラックに強制的に乘せられ、どこかわからない場所に連行されたと報じられている。²³⁰ 特に、医療従事者や救急隊員は、イスラエ

palestinian-children-say#:~:text=At%20least%2024%2C00%20children%20have,with%20some%20in%20critical%20condition..[別のリンク：<https://www.aljazeera.com/news/2023/12/15/war-is-stupid-and-i-want-it-to-end-injured-palestinian-children-say>]

223 UNICEF spokesperson, quoted in: Nedal Samir Hamdouna, Aseel Mousa and Julian Borger, "The plight of 'WCNSFs' wounded child, no surviving family", The Guardian (22 December 2023), <https://www.theguardian.com/world/2023/dec/22/the-plight-of-gazas-wcnsfs-wounded-child-no-surviving-family>.

224 Alix Faddoul, Geordan Shannon, Khudejha Ashgar, Yamina Boukari, James Smith and Amy Neilson, "The health dimensions of violence in Palestine: a call to prevent genocide", The Lancet (18 December 2023), [https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(23\)02751-4/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(23)02751-4/fulltext).

225 Security Council resolution 2712, The situation in the Middle East, including the Palestinian Question, S/RES/2712 (15 November 2023), [https://undocs.org/S/RES/2712\(2023\)](https://undocs.org/S/RES/2712(2023)).

226 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #78 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-78>.

227 Ibid.

228 Alix Faddoul, Geordan Shannon, Khudejha Ashgar, Yamina Boukari, James Smith and Amy Neilson, "The health dimensions of violence in Palestine: a call to prevent genocide", The Lancet (18 December 2023), [https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(23\)02751-4/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(23)02751-4/fulltext).

229 Aya Batrawy, "An aid worker describes the 'unbearable' suffering of wounded children in Gaza", NPR (26 December 2023), [https://www.npr.org/2023/12/26/1221743518/an-aid-worker-describes-the-unbearable-suffering-of-wounded-children-in-gaza](https://www.npr.org/2023/12/26/1221743518/an-aid-worker-describes-the-unbearable-suffering-of-wounded-children-in-gaza#:~:text=Palestinian%20health%20officials%20say%20in,trying%20to%20care%20for%20children.) [別のリンク：<https://www.npr.org/2023/12/26/1221743518/an-aid-worker-describes-the-unbearable-suffering-of-wounded-children-in-gaza>]

230 UN OHCHR, OHCHR is alarmed at Israeli strikes on or in the vicinities of schools and hospitals in the north of Gaza (9 December 2023), <https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/un-human-rights-office-ohchr-alarmed-israeli-strikes-or-vicinity-schools-and-hospitals-north-gaza>.

ル軍に繰り返し拘束され、その多くがどこかわからない場所で外部から遮断されて拘束されている。²³¹(231)クリスマス日にイスラエルのメディアによって公開されたビデオには、ガザ市のアル・ヤルムーク・サッカースタジアム内に集められ、「子ども、高齢者、障害者を含む数百人のパレスチナ人が、凌辱的な状況で下着姿にさせられている」様子が映っていた。²³² 釈放されたパレスチナ人被拘禁者の多くが、食料、水、避難所、トイレへのアクセスを奪われるなど、拷問や虐待を受けたと報告している。²³³ 国連人道問題調整事務所（OCHA）は、被拘禁者の「身体にあざや火傷があることを示すビデオ映像」について報告している。²³⁴ 切断され火傷を負った死体の映像は、イスラエル兵による武力攻撃の映像とともに、「ガザ地区からの独占コンテンツ」と称して、ソーシャルメディア「Telegram」の「72 Virgins - Uncensored」というチャンネルを通じてイスラエル国内で流布されていると報じられている。²³⁵

3. ガザではパレスチナ人が大量に家から立ち退かされていること

55. ガザの人口230万人のうち、190万人以上のパレスチナ人——人口の約85%——が家を立ち退かされていると推定されている。²³⁶ 安全な避難先はどこにもなく、退去できない人や立ち退きを拒否した人は、家で殺されたり、殺されるかもしれないという極度のリスクにさらされている。

56. イスラエルは、ガザの特定の地域に住むパレスチナの民間人に対して、自宅から他の地域に移動するよう求める「避難命令」を繰り返し発出している。最初の命令は2023年10月13日に出され、ガザ市を含むガザ北部に住む110万人のパレスチナ人に対し、24時間以内にガザ南部に移動するよう要求した。²³⁷ 赤十字国際委員会は、この避難命令は、ガザを完全に包囲することともあいまって、ガザの約36%に影響を与えており、国際人道法に反すると警告した。²³⁸ 世界保健

231 WHO, WHO calls for protection of humanitarian space in Gaza following serious incidents in high-risk mission to transfer patients, deliver health supplies (12 December 2023), <https://www.who.int/news/item/12-12-2023-who-calls-for-protection-of-humanitarian-space-in-gaza-following-serious-incident-in-high-risk-mission-to-transfer-patients--deliver-health-supplies>; "Gaza healthcare workers 'taken' by Israeli forces, says doctor, amid 'horrendous conditions' at hospitals", CNN (13 December 2023), <https://edition.cnn.com/2023/12/13/middleeast/gaza-kamal-adwan-hospital-doctors-idf-intl/index.html>.

232 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #77 (26 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-77>; Quds News Network, @QudsNen, Tweet (4:02 pm, December 25, 2023), <https://twitter.com/QudsNen/status/1739315746163859606>.

233 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #69 (14 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-69>; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #77 (26 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-77>.

234 Ibid.

235 See e.g., Yaniv Kubovich, "Graphic Videos and Incitement: How the IDF Is Misleading Israelis on Telegram", Haaretz, (12 December 2023), <https://www.haaretz.com/israel-news/security-aviation/2023-12-12/ty-article/.premium/graphic-videos-and-incitement-how-the-idf-is-misleading-israelis-on-telegram/0000018c-5ab5-df2f-adac-febd01c30000>.

236 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day #82 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-82>.

237 Israeli Defence Forces, @IDF, Tweet (6:50am, October 13, 2023), <https://twitter.com/IDF/status/1712707301369434398>; UN OHCHR, Israel must rescind evacuation order for northern Gaza and comply with international law: UN expert (13 October 2023) <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/10/israel-must-rescind-evacuation-order-northern-gaza-and-comply-international>.

238 ICRC, Israel and the occupied territories: Evacuation order of Gaza triggers catastrophic humanitarian consequences (13 October 2023), <https://www.icrc.org/en/document/israel-and-occupied-territories-evacuation-order-of-gaza-triggers-catastrophic-humanitarian-consequences>.

機関は、病院患者にとって「死刑宣告に等しい」と警告した。²³⁹ しかし、避難命令は継続され、イスラエルがガザ北部での軍事作戦を発表した2023年10月28日²⁴⁰をはじめ、その後も何度か発令されている。イスラエルはまた、より具体的な避難通知を出し、ガザ市の特定の地域に住む人々に、他の地域に避難するよう命じている。²⁴¹ 避難したくない、あるいは避難できない人々の多くは、その後、自宅で爆撃を受けている。²⁴²

57. イスラエルの強制退去命令に従って北部から逃れようとするパレスチナ人は、特定の日の指定された時間帯に、ガザの主要な交通幹線であるサラ・アルディン通りを南へ移動するよう勧告された。しかし、ルート沿いでの砲撃や、避難するパレスチナ民間人に対するイスラエル軍による暴力（非人道的で卑劣な扱い、恣意的な逮捕、不法拘束、殺害など）が数多く報告されている。²⁴³ イスラエルはまた、この間、ワディ・ガザの南側で爆撃を続け、立ち退きを強いられた多くのパレスチナ人を殺害した。²⁴⁴ 当初、多くのパレスチナ人家族は、家の周囲で爆撃を受けるリスクを冒してでも慣れ親しんだ北部に戻ろうとした。²⁴⁵ そのように戻ろうとした人々はイスラエルとハマースの一時休戦の間にもイスラエル軍に銃撃され、少なくとも2人が死亡し、他の人々も負傷した。²⁴⁶

58. 2023年12月1日、イスラエルとハマースの8日間の一時停戦が終了し、イスラエルはビラの投下を開始し、パレスチナ人に対し、ガザの約30%を占める、それまでは避難先と指示されていた南部の地域から離れるよう勧告した。²⁴⁷ 国内避難民の人権に関する国連特別報告者が述べているように、「イスラエルは、2ヶ月前にガザ北部からの避難命令に従った人々に対する安全の約束を反故にした。今、彼らは、ガザ南部の住民とともに、再び強制的に立ち退かされている」²⁴⁸ イスラエルはまた、ガザ地区を数百の小地域に分割した詳細な地図をオンラインで公開した。²⁴⁹ この地図は表向き、予定した空爆の前に個々の地域から避難するようイスラエルが命じた

239 WHO, Evacuation orders by Israel to hospitals in northern Gaza are a death sentence for the sick and injured (14 October 2023), <https://www.who.int/news/item/14-10-2023-evacuation-orders-by-israel-to-hospitals-in-northern-gaza-are-a-death-sentence-for-the-sick-and-injured>.

240 Israeli Defence Forces, @IDF, Tweet (2:16 pm, October 28, 2023), <https://twitter.com/IDF/status/1718240244129059167>.

241 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #57 (2 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-57>.

242 Ibid.

243 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #40 (15 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-40>; UN OCHA, Today's top news: Occupied Palestinian Territory, South Sudan, Somalia, Ukraine (9 November 2023), <https://www.unocha.org/news/todays-top-news-occupied-palestinian-territory-south-sudan-somalia-ukraine>.

244 See e.g. UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #9 (15 flash-update-9 October 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-9>; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #10 (16 October 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-10>; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #24 (30 October 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-24>; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #25 (31 October 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-25>.

245 According to UNRWA, approximately 30,000 Palestinians returned North due the lack of any safe zone, see UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #19 (25 October 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-19>.

246 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #53 (28 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-53>.

247 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #61 (6 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-61>.

248 UN OHCHR, Israel working to expel civilian population of Gaza, UN expert warns (22 December 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/12/israel-working-expel-civilian-population-gaza-un-expert-warns>.

249 IDF, "Based on the ethics and values of our military institution, the IDF publishes a list

ことを知らせるためのものだった。しかし、OCHAが指摘するように、「この公開情報には、人々がどこに避難すべきかは明記されていない」。さらに、数カ月をわたる砲撃の後——2023年10月11日以降、イスラエルによる停電が続き、定期的な通信網の遮断が続く中²⁵⁰——ガザのほとんどのパレスチナ人は、携帯電話やその他の機器を充電するための電気をほとんど利用できず、その地図にアクセスする信頼できる方法もない。²⁵¹ 国連事務総長は、「ガザの人々は、人間ピンボールのように南部のますます小さな地域の間を右往左往するように言われており、どこに行っても生存のための基本的なものは何もない」と発言している。²⁵²

59. 国連総長など国連の高官たちが繰り返し述べているように、パレスチナ人はそうした「細切れの土地」ですら安全ではない。「安全な場所などない」²⁵³、「どこに行っても安全ではない」²⁵⁴ ガザを短刀するUNRWAの部長は、「ガザの人々は人間なのだ……彼らはチェスの駒ではない。彼らはこれまでに何度も立ち退かされてきたのだ。イスラエル軍は、空爆が続いている地域に移動するよう人々に命じているのだ」。²⁵⁵ このために恐しい状況が生みだされている。²⁵⁶ 避難「命令」の結果、人口密度が高まったことで、イスラエル軍の攻撃はこれまで以上に致命的なものになっている。クリスマスイブの夜、イスラエル軍は、北部から何万人ものパレスチナ人が逃れてきた中部地域のアル・マガジ難民キャンプを空爆し、多くの女性や子どもを含む推定86人が死亡し、多くの人々が負傷した。²⁵⁷ OHCHRの報道官は、「今回の激しい空爆は、イスラエル軍がワディ・ガザの南部から中部ガザに移動するよう住民に命じた後のことであり、非常に懸念している」と述べた。²⁵⁸

60. 多くのパレスチナ人にとって、自宅からの強制退去は必然的に恒久的なものとなる。イ

of block numbers to guide Gaza residents in evacuating the targeted areas” (1 December 2023), <https://www.idf.il/ar/-الإسرائيلي-الدفاع-جيش/السراييلي-الدفاع/swordsofiron-011223-150/>.

250 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #77 (26 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-77>.

251 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #56 (1 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-56>.

252 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #63 (8 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-63>.

253 UNRWA, Gaza: UNRWA school sheltering displaced families is hit (17 October 2023), <https://www.unrwa.org/newsroom/official-statements/gaza-unrwa-school-sheltering-displaced-families-hit>

254 UN Secretary-General, Statement attributable to the Spokesperson for the Secretary-General on the Middle East (4 December 2023), <https://www.un.org/sg/en/content/sg/statement/2023-12-04/statement-attributable-the-spokesperson-for-the-secretary-general-%E2%80%93-the-middle-east%2%A0%2%A0%2%A0>.

255 Thomas White, @TomWhiteGaza, Tweet (9:22 AM, December 23, 2023), https://twitter.com/TomWhiteGaza/status/1738475273522205155?ref_src=twsrc%5Etfw.

256 See, e.g., Israeli strikes on Deir Al Balah on 4 December, preceding civilians being told to flee to these areas, UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #60 (5 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-60>; and on the 12th of December 2023 the City of Rafah, after evacuation orders to Rafah, UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #67 (12 December 2023), following civilians being told to flee to these areas; Ben van der Merwe, Michelle Inez Simon Olive Enokido-Lineham, and Data & Forensics Unit “Israel said Gazans could flee to this neighbourhood - then it was hit”, Sky News (22 December 2023), <https://news.sky.com/story/israel-said-gazans-could-flee-to-this-neighbourhood-then-it-was-hit-13034936>. ; Ben van der Merwe, Michelle Inez Simon Olive Enokido-Lineham, and Data & Forensics Unit “Israel said Gazans could flee to this neighbourhood - then it was hit”, Sky News (22 December 2023), <https://news.sky.com/story/israel-said-gazans-could-flee-to-this-neighbourhood-then-it-was-hit-13034936>.

257 UN OHCHR, Comment by UN Human Rights Office spokesperson Seif Magango on continued bombardment of Middle Gaza (26 December 2023), <https://www.ohchr.org/en/statements/2023/12/comment-un-human-rights-office-spokesperson-seif-magango-continued-bombardment>.

258 Ibid.

イスラエルは現在、推定35万5,000戸のパレスチナ人住宅を損壊または破壊し、これはガザの全住宅ストックの60%に相当する。特にガザ北部の破壊の程度は大きく、ほぼ居住不可能な地域となっており、南部の破壊も同様のレベルに達している。国内避難民の人権に関する特別報告者が指摘するように、「ガザの住宅と民間インフラは破壊され尽くし、立ち退かされたガザの人々が故郷に戻る現実的な見通しは挫かれ、イスラエルによるパレスチナ人の大量強制移住の長い歴史が繰り返されている」。²⁵⁹ガザにおける強制立ち退きは、ガザのパレスチナ人の物理的破壊をもたらすように計算された状況で行われているという点で、ジェノサイドといえる。²⁶⁰

4. ガザのパレスチナ人のための適切な水、食料へのアクセスの剥奪

61. 2023年10月9日、イスラエルはガザに「完全包囲」を布告し、電気、食料、水、燃料の搬入を禁止した。²⁶¹その後、包囲は部分的に緩和され、2023年10月21日以降、一部の援助トラックの入域が許可されたとはいえ、これでは全く不十分であり、2023年10月以前の1日平均約500台を大きく下回っている。²⁶²さらに、2023年11月21日以降に許可された燃料の輸入は、「必要不可欠な人道活動に必要な最低限の量をはるかに下回っている」²⁶³、つまり、現在許可されているような限られた人道援助では、進入地点からガザ全体にまで容易に移動することができない。²⁶⁴事務総長が厳しく評価しているように、ガザの破壊レベルは今、壊滅的である。

「人道援助を効果的に届けるための条件は、もはや存在しない。...しかし、仮にガザへの十分な物資の搬入が許可されたとしても、激しい砲撃と敵対行為、イスラエルによる移動制限、燃料不足、通信の遮断により、国連機関とそのパートナーは、必要としている人々のほとんどに物資を届けることは不可能になっている。」²⁶⁵

62. このことから、2023年12月22日の国連安全保障理事会決議2720は、「紛争当事者は、国境の通過を含め、ガザ地区全体への利用可能なすべてのルートの使用を許可し、円滑化する」ことを要求し、「調整官は、人道援助物資の提供を加速化するための国連メカニズムを速やかに確

²⁵⁹UN OHCHR, Israel working to expel civilian population of Gaza, UN expert warns (22 December 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/12/israel-working-expel-civilian-population-gaza-un-expert-warns> .

²⁶⁰ Application of the Convention on the Prevention and Punishment of the Crime of Genocide (Croatia v. Serbia), Judgment, I.C.J. Reports 2015, p.71-72, para. 163.

²⁶¹ Statement by Yoav Gallant, 9 October 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=1nxvS9VY-t0>. Translation by Emmanuel Fabian, "Defense minister announces 'complete siege' of Gaza: No power, food or fuel", The Times of Israel (9 October 2023), https://www.timesofisrael.com/liveblog_entry/defense-minister-announces-complete-siege-of-gaza-no-power-food-or-fuel/. Gaza's only power plant is no longer operational, Israel having reportedly threatened to target the plant if it resumes operation: UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #6 (12 October 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-6>.

²⁶² World Health Organization, WHO Director-General's remarks at the Emergency Meeting of the United Nations Security Council - 10 November 2023 (10 November 2023), <https://www.who.int/director-general/speeches/detail/who-director-general-s-remarks-at-the-emergency-meeting-of-the-united-nations-security-council-10-november-2023>.

²⁶³ UN Palestine, War and health crisis in Gaza a 'recipe for epidemics' warns WHO (21 November 2023), <https://palestine.un.org/en/253317-war-and-health-crisis-gaza-%E2%80%98recipe-epidemics-%E2%80%99-warns-who>.

²⁶⁴ MSF, Inside Gaza: Staying alive is only a matter of luck (18 December 2023), <https://www.msf.org/inside-gaza-staying-alive-only-matter-luck>.

²⁶⁵ United Nations Secretary-General, People of Gaza 'Being Told to Move like Human Pinballs', but Nowhere Is Safe, Secretary-General Tells Security Council, Pleading for Humanitarian Ceasefire (8 December 2023), <https://press.un.org/en/2023/sgsm22076.doc.htm> (emphasis added).

立する」ことを要請しているにもかかわらず、効果がないとの見方が強い。²⁶⁶ なぜなら、この決議は表現が弱く、ガザのパレスチナ人を支援できる効果的な援助を可能にするために必要だと国連事務総長が指摘した以下の「4つの要素」を備えていない。すなわち

(1) 安全性

(ガザという戦争地帯への援助であり、過密な都市環境に対するイスラエルの爆撃や都市環境での戦闘行為のために民間人や人道支援スタッフの生命が危険に晒されている)

(2) 人的資源

(人道支援にはスタッフが安全に生活し活動できる環境が必要である。しかしガザではこの75日間に136名ものスタッフが死亡しており一国連にかつてこのようなことはなかった...このようなひどい状況でスタッフたちは必要な業務量の一部しか遂行できない)

(3) 輸送手段

(我々のトラックなどの車両は破壊されたり、北部からの強制的緊急退去の際に放置されたりしたが、ガザで運行できるトラックの追加をイスラエル当局は許可しない。これは援助活動を大幅に妨げている。北部での配送業務は、活発な武力衝突、不発弾、道路の著しい損傷のため、非常に危険だ。通信が頻繁にいたるところで途絶するため支援物資の配送を調整することも、人々に物資の分配を知らせることも、ほとんど不可能になっている)

(4) 商業活動の再開

(商店には品物がない。人々の財布も胃袋も空っぽだ。ガザほどの大きな街に稼働しているパン工場はわずか1か所だ。商業活動の制限をすぐに解除することを私はイスラエル当局に強く要請する。我々は弱い立場にある家族に対するもっとも効果的な人道支援、すなわち現金支給事業を拡大する準備ができています。しかし、現金で買えるものなどガザにはほとんどない)²⁶⁷ こうした要素を考慮し、事務総長は、ガザへの入国を許可されている1日当たりのトラックの台数に注目するのは誤解を招くと明確に忠告した。

「多くの人々は、ガザにおける人道支援活動の効果を**トラックの台数**で測っている。エジプト赤新月社や国連や協力団体が送り込み、国境を越えてガザで物資の荷降ろしを許可されたトラックの台数が支援の量になると考えているのだろう。これは間違いだ。本当の問題は、**イスラエルが行っているこの攻撃のやり方が、ガザ内での人道援助物資の流通に大規模な障害をもたらしているということだ**」。²⁶⁸

63. 国連安保理決議第2720号が、停戦を求めないなど、現地の状況に適切に対処していないことを、国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) の元高官が、「国際人道法の全面的かつ産業的な無視」を特徴とする「ジェノサイド継続のための青信号」と評したのは、そのためである。²⁶⁹ オックスファムは、ガザ情勢が極めて深刻であることを考慮した上で、国連安保理決議が「停戦を求めなかったこと」を「理解しがたく、まったく無慈悲」であり、国連安保理の「重大な職務怠慢」²⁷⁰であるとした。

64. イスラエルは今、ガザのパレスチナ人民を飢餓の瀬戸際に追い込んでおり、複数の国際機関は「飢餓のリスクは現実のもの」(世界食料計画、WFP)であり、それは「日々増加してい

²⁶⁶ Security Council Resolution 2720, S/RES/2720, (22 December 2023), [https://undocs.org/S/RES/2720\(2023\)](https://undocs.org/S/RES/2720(2023)).

²⁶⁷ UN OCHA, Remarks to the media by the Secretary-General (22 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/remarks-media-secretary-general>.

²⁶⁸ Ibid (emphasis added).

²⁶⁹ "UNSC resolution 'greenlighting genocide': Former UNRWA official", Al Jazeera English (22 December 2023), <https://www.youtube.com/watch?v=IT0yW6kS3Uo>.

²⁷⁰ Oxfam, Oxfam: UNSC's failure to call for a ceasefire "utterly callous" (19 December 2023), <https://www.oxfam.org/en/press-releases/oxfam-unscs-failure-call-ceasefire-utterly-callous>.

る」(IPC)と警告している。²⁷¹ 現在、ガザに住むパレスチナの人々のほとんどが飢えに苦しんでおり、飢餓のレベルは日々上昇している。²⁷² WHOは、「飢餓がガザを襲っている」と警告している。²⁷³ 国連事務総長が述べているように、「世界で最も飢餓に苦しむ人々の5人のうち4人がガザにいる」のであり²⁷⁴、ガザのパレスチナ人は、総合的食料安全保障レベル分類(IPC)が分類した急性食料不安のうちこれまでで最も高いレベルに直面している。²⁷⁵ 国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)の事務局長は、「絶望し、飢え、恐怖に怯える」人々が、「援助トラックを止め、食料を奪い、すぐに食べてしまう」と述べている。²⁷⁶ 世界保健機関は、「ガザの人口の93%は、前例のない危機的レベルの飢餓に直面しており、食料が不足し、栄養失調のレベルが高い」と述べている。また、「少なくとも4世帯に1世帯が『破滅的な状況』に直面している。極端な食料不足と飢餓に見舞われ、質素な食事を買うために財産を売り払ったり、その他の極端な手段に訴えたりしている」と述べている。さらに「飢餓、困窮、死は明らかだ」と警告し²⁷⁷、ガザから「水、食料、最低限の生活に必要なあらゆるもの」を断ち切ろうとするイスラエルの行動を、「ガザの文字どおり全住民に対する」残酷なキャンペーンだと呼んだ。²⁷⁸ WHOの緊急医療チーム・コーディネーターは、彼が話をした「どの人」も飢餓状態にあると説明した。「どこに行っても、人々は食べ物を求めている。病院の救急外来に行けば、傷口からまだ出血している人も、開放骨折した人さえも、食べ物が欲しい。これほどの必死な声も届かないなら、どうすればいいのか」。²⁷⁹ このような状況は、国連人権高等弁務官が「飢餓は決して戦争の手段や結果であってはならない」²⁸⁰と警告する必要性を感じているほどである。オックスファムと Human Rights Watchはさらに踏み込んで、イスラエルがガザのパレスチナ人に対して「戦争の武器として」飢餓を使用していると明確に非難している。²⁸¹

271 WFP Media, @WFP_Media, Tweet (10:35 pm, December 9, 2023), https://twitter.com/WFP_Media/status/1733616413636530607; and Integrated Food Security Phase Classification, Gaza Strip: Acute Food Insecurity Situation for 24 November - 7 December 2023 and Projection for 8 December 2023 - 7 February 2024 (21 December 2023), <https://www.ipcinfo.org/ipc-country-analysis/details-map/en/c/1156749/?iso3=PSE>.

272 UN Web TV, Press conference by Carl Skau (World Food Program), 14 December 2023, <https://webtv.un.org/en/asset/k13/k139z8z7t5>; and Integrated Food Security Phase Classification, Gaza Strip: Acute Food Insecurity Situation for 24 November - 7 December 2023 and Projection for 8 December 2023 - 7 February 2024 (21 December 2023), <https://www.ipcinfo.org/ipc-country-analysis/details-map/en/c/1156749/?iso3=PSE>.

273 WHO, Lethal combination of hunger and disease to lead to more deaths in Gaza (21 December 2023), <https://www.who.int/news/item/21-12-2023-lethal-combination-of-hunger-and-disease-to-lead-to-more-deaths-in-gaza>.

274 UN OCHA, Remarks to the media by the Secretary-General (22 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/remarks-media-secretary-general>.

275 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #75 (21 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-75>.

276 UNRWA, Remarks by UNRWA Commissioner-General Philippe Lazzarini at Geneva Press Conference (14 December 2023), <https://www.unrwa.org/newsroom/official-statements/remarks-unrwa-commissioner-general-philippe-lazzarini-geneva-press>.

277 WHO, Lethal combination of hunger and disease to lead to more deaths in Gaza (21 December 2023), <https://www.who.int/news/item/21-12-2023-lethal-combination-of-hunger-and-disease-to-lead-to-more-deaths-in-gaza>.

278 Statement of Christian Lindmeier (World Health Organization spokesperson), 8 December 2023: UN Web TV, Geneva Press Briefing: WHO, FAO, UNHCR, ICRC, 8 December 2023, <https://webtv.un.org/en/asset/k1e/k1eez0ym7c> (emphasis added).

279 UN News, UPDATED: Injured patients 'waiting to die' in northern Gaza as last hospital shuts down, amid rising 'catastrophic' hunger levels (21 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1145017>.

280 UN News, Gaza crisis: Starvation must never be allowed to happen, says UN rights chief (22 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1145047>.

281 Oxfam, Starvation as weapon of war being used against Gaza civilians (25 October 2023), <https://www.oxfam.org.uk/media/press-releases/starvation-as-weapon-of-war-being-used-against-gaza-civilians/>; and HRW, Israel: Starvation Used as Weapon of War in Gaza (18 December 2023), <https://www.hrw.org/news/2023/12/18/israel-starvation-used-weapon-war-gaza>.

65. 包囲によって引き起こされた状況は、イスラエルがガザのパン屋、水道施設、最後に残った稼働中の製粉所を含むガザを攻撃し続け、農地、作物、果樹園、温室を破壊したことによってさらに悪化している。²⁸² 2023年11月16日の時点で、ガザの食料インフラは、商店と市場の閉鎖、必須食料品の不足、そしてわずかな食料も価格が高騰し、すでに「もはや機能しない」と見なされていた。²⁸³ パンが不足しているか、存在していない。²⁸⁴ 食料不足は大幅な価格高騰を招き、小麦粉の価格は一時期65%も上昇した。²⁸⁵ 殺処分されていない家畜は飢餓に直面し、農作物は被害を受けたり、破壊されたりしている。²⁸⁶ 多くのパレスチナ人は、飢えのために食べられそうな植物を採集したり、支援の分配中にこぼれた小麦粉を道路から集めたり、その他の安全でない食べ方をしたりしている。²⁸⁷

66. 水の枯渇も深刻だ。イスラエルはガザ北部へのパイプラインの送水を遮断し続けており²⁸⁸、北部の淡水化プラントは機能していない。²⁸⁹ イスラエルは2023年10月15日から少量の水を南部に供給し始めたが、その一因は「民間人を南部（地区の一部）に押しやる」ためであった。²⁹⁰ イスラエル軍の空爆と砲撃の被害により、水道システムのほとんどが機能しなくなっている。²⁹¹ 世界食料計画の報告書によると、清潔な水は1人1日あたりわずか1.5~1.8リットルしかなく、これをすべての用途（飲用、洗濯、調理、衛生管理）に分けるしかない。²⁹² これは、「戦争または飢饉のような状況」の「緊急基準値」である1日あたり15リットルや、「生存基準値」である1日あたり3リットルをはるかに下回っている。²⁹³ 世界保健機関の緊急医療チー

282 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #35 (10 November 2023), <https://www.unocha.org/publications/report/occupied-palestinian-territory/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-35-enarhe>; and UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #40 (15 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-40>; and HRW, Israel: Starvation Used as Weapon of War in Gaza (18 December 2023), <https://www.hrw.org/news/2023/12/18/israel-starvation-used-weapon-war-gaza>.

283 WFP, Gaza faces widespread hunger as food systems collapse, warns WFP (16 November 2023), <https://www.wfp.org/news/gaza-faces-widespread-hunger-food-systems-collapse-warns-wfp>.

284 Ibid.

285 Action Against Hunger, Action Against Hunger calls for permanent ceasefire in Gaza (1 December 2023), <https://www.actionagainsthunger.org/press-releases/action-against-hunger-calls-for-permanent-ceasefire-in-gaza/>.

286 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #51 (26 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-51>.

287 WFP, Food Security Update for internally displaced populations in Southern Gaza Strip (14 December 2023), <https://docs.wfp.org/api/documents/WFP-0000155014/download/>; and "Children collect flour from the ground in Gaza", Middle East Eye (23 December 2023), https://www.youtube.com/watch?v=_ZYpZ_aU_Ho.

288 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day #82 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-82>.

289 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #66 (11 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-66>.

290 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #9 (15 October 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-9>; and Amy Spiro, Jacob Magid and Agencies, "Israel says it is restarting water supply to southern Gaza Strip", The Times of Israel (15 October 2023), <https://www.timesofisrael.com/israel-says-it-is-restarting-water-supply-to-southern-gaza-strip/>.

291 UN News, Barely a drop of safe water to drink in Gaza, UN aid agency warns (20 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144972>; and Anera, Gaza Ceasefire: A Welcome Pause, But Far From Enough (23 November 2023), <https://www.anera.org/blog/pause-in-gaza-war-not-enough/>.

292 WFP, Gaza Food Security Assessment (6 December 2023), <https://docs.wfp.org/api/documents/WFP-0000154766/download/>.

293 UNICEF, Gaza's Children running out of time: water shortages spark disease alarm (21 November 2023), <https://www.unicef.org/press-releases/gazas-children-running-out-time-water-shortages-spark-disease-alarm>; and UNICEF, 'Barely a drop to drink': children in the Gaza Strip do not access 90 per cent of their normal water use (20 December 2023), <https://www.unicef.org/press-releases/barely-drop-drink-children-gaza-strip-do-not-access-90-cent-their-normal-water-use>.

ム・コーディネーターは、医療スタッフが「食料も燃料も水もない」状況で対応に苦慮しているアル・アハリ・アラブ病院の様子について、「今は病院というよりホスピスのようだ。しかし、もっとも、普通のホスピスならここで医師や看護師が必死に提供できるよりもずっと良いケアになるだろう。この病院で手足をいくつものギブスや副木で固定され、飲料水もなく、輸液用の生理食塩水もほとんどなくなった患者を見るのはかなり耐え難い。患者は痛みで泣き叫んでいたが、同時に私たちに水をくれと泣いていた」と語った。彼は、「(空腹で死ぬ人の方が爆撃の死者より多くなる時期は)今です。私たちは今、飢えた人々、大人、子どもを相手にしているのです、耐え難いことです」と訴えた。²⁹⁴(294)

67. 水不足は、特に授乳中の女性に深刻な影響を及ぼしており、授乳中の女性は、自身の運動量があまり多くなくても、自分と乳児の健康を維持するために、飲料、衛生のために1日7.5リットルの水の供給を必要としている。²⁹⁵ 出産したばかりの女性たちは、食料不足のために適切に栄養が摂取できないせいで母乳が出ず、汚染された水を使用して粉ミルクを調乳することを余儀なくされ(粉ミルクが入手可能な場合)抵抗力のない乳児の感染症リスクが高まる。これと並行して、粉ミルクが慢性的に入手できないことで、新生児の命も危険にさらされており、医療、食料、水、適切な衛生環境がないために、回避可能な原因ですでに死亡していると報じられている。²⁹⁶ 栄養不良が年長の子どものに与える影響も特に深刻で、長期にわたる可能性があり、子どもの身体的成長、認知能力、学業成績、生産性などの面で、その後の人生で潜在能力を十分に発揮できなくなる。²⁹⁷ 多くの保健従事者も、仕事を続けるための十分な食料と水が不足しているため、必然的に健康状態や死亡率にさらなる影響を与えることになる。²⁹⁸

68. こうした事態は、イスラエルによるガザに対するこれまでの行動の結果、すでに極度に脆弱になっていた住民に対して起こっている。イスラエルは長年にわたり、ガザの水道施設や脱塩プラントの設置・修復を妨げてきたため、2023年10月7日以前、ガザの唯一の帯水層からの水の95パーセントがすでに消費に適さない状態になっている。²⁹⁹ 16年間の封鎖を通じて、イスラエルは水の供給にも深刻な影響を与えてきた。³⁰⁰ イスラエルはガザを繰り返し攻撃し、また下水イン

²⁹⁴ UN Web TV, Geneva Press Briefing: WHO, FAO, UNHCR, ICRC, 8 December 2023, <https://webtv.un.org/en/asset/k1e/k1eez0ym7c>.

²⁹⁵ UNDP, Human Development Report 2006 - Beyond scarcity: power, poverty and the global water crisis (14 December 2012), <https://www.undp.org/libya/publications/human-development-report-2006-beyond-scarcity-power-poverty-and-global-water-crisis>.

²⁹⁶ CARE International, "70% of those killed in Gaza are women and children" CARE warns the Security Council (15 November 2023), <https://www.care-international.org/news/70-those-killed-gaza-are-women-and-children-care-warns-un-security-council>; Oxfam, Press Release: Babies dying from preventable causes in besieged Gaza - Oxfam (23 November 2023), <https://www.oxfam.org/en/press-releases/babies-dying-preventable-causes-besieged-gaza-oxfam>.

²⁹⁷ Global Nutrition Cluster - State of Palestine, Call for Immediate Action: Child deaths in the Gaza Strip due to disease and malnutrition can and must be prevented (3 December 2023), https://www.nutritioncluster.net/sites/nutritioncluster.com/files/2023-11/SoP%20Nutrition%20Cluster%20advocacy_final.pdf

²⁹⁸ UN Web TV, Geneva Press Briefing: WHO, FAO, UNHCR, ICRC, 8 December 2023, <https://webtv.un.org/en/asset/k1e/k1eez0ym7c>.

²⁹⁹ United Nations, Human Rights Council, The allocation of water resources in the Occupied Palestinian Territory, including East Jerusalem A/HRC/48/43 (15 October 2021), <https://undocs.org/A/HRC/48/43>; Amnesty, The Occupation of Water (29 November 2017), <https://www.amnesty.org/en/latest/campaigns/2017/11/the-occupation-of-water/>; EWASH, Israel's control of water in the Occupied Palestinian Territories (26 September 2012), <https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/israels-control-water-occupied-palestinian-territories>.

³⁰⁰ United Nations, Human Rights Council, The allocation of water resources in the Occupied Palestinian Territory, including East Jerusalem A/HRC/48/43 (15 October 2021), <https://undocs.org/A/HRC/48/43>.

フラの保守も妨害してきたため、土壌が劣化して農耕が困難になっている。³⁰¹ さらにイスラエルは、ガザのパレスチナ人による農地の最大35パーセントと、ガザの漁水域の最大85パーセントへのアクセスを制限している。³⁰² その結果、2023年10月7日以前に、68%を超える世帯（約130万人）が深刻または中程度の食料不足に陥り、人口の58%が人道援助に依存していた。³⁰³ ガザの5歳未満の子ども7,685人が、最も致命的な「消耗」状態の栄養失調におちいていた。³⁰⁴ イスラエルによるガザへの強制的な飢餓がパレスチナの子どもに与える影響は、必然的に深刻で長期にわたるものになるであろう。

69. 最近、イスラエルがガザのトンネルを海水で浸水させる計画が報じられているが、ガザの上下水道インフラのさらなる劣化と崩壊、ガザの帯水層と土壌の長期にわたる汚染のリスクを考えると、これは極めて憂慮すべき計画である。³⁰⁵ 環境問題の専門家たちは、この戦略は「生態学的大惨事を引き起こすリスクがあり」、ガザから飲用水がなくなり、わずかに可能な農業が壊滅的な打撃を受け、「ガザに住むすべての人の生活条件が台無しになる」と警告している。³⁰⁶ 国連の水に対する権利に関する特別報告者は、この計画を神話に登場するローマ帝国がカルタゴの畑を「塩漬け」にして作物の生育を妨げ、その土地を居住不能にしたことになぞらえたと報じられている。³⁰⁷

70. 専門家は現在、空爆よりも飢えや病気で死亡するパレスチナ人の方が多いかもかもしれないと予測している。³⁰⁸ それでもイスラエルは空爆キャンペーンを強化し、パレスチナ人への効果的な人道支援を妨げている。ガザでの行動とポリシーを通じて、パレスチナ人に対して集団として身体的破壊をもたらすことを意図する生活条件を故意に与えることは明らかである。³⁰⁹

5. ガザのパレスチナ人に対する適切な住居、衣服、衛生設備へのアクセスの剥奪

³⁰¹ UN FAO, Farming without Land, Fishing without Water: Gaza Agriculture Sector Struggles to Survive (25 May 2010), <https://www.un.org/unispal/document/auto-insert-205890/>.

³⁰² UN Palestine, United Nations Common Country Analysis for the Occupied Palestinian Territory (16 August 2022), https://palestine.un.org/sites/default/files/2022-09/United%20Nations%20Common%20Country%20Analysis%20for%20the%20Occupied%20Palestinian%20Territory_16_August_2022.pdf.

³⁰³ UN OCHA, Food insecurity in the oPt: 1.3 million Palestinians in the Gaza strip are food insecure (14 December 2018), <https://www.ochaopt.org/content/food-insecurity-opt-13-million-palestinians-gaza-strip-are-food-insecure>; UN OCHA, Humanitarian Response Plan OPT (January 2023), https://www.ochaopt.org/sites/default/files/HRP_2023.pdf.

³⁰⁴ Global Nutrition Cluster - State of Palestine, Call for Immediate Action: Child deaths in the Gaza Strip due to disease and malnutrition can and must be prevented (3 December 2023), https://www.nutritioncluster.net/sites/nutritioncluster.com/files/2023-11/SoP%20Nutrition%20Cluster%20advocacy_final.pdf.

³⁰⁵ UN OCHA, Humanitarian Coordinator Lynn Hastings briefs the press in Geneva (13 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/humanitarian-coordinator-lynn-hastings-briefs-press-geneva>; Emmanuel Fabian, "IDF trial of flooding Hamas tunnels with seawater proves successful, ToI told", The Times of Israel (15 December 2023), <https://www.timesofisrael.com/idf-trial-of-flooding-hamas-tunnels-with-seawater-proves-successful-toi-told>.

³⁰⁶ Damien Gayle and Nina Lakhani, "Flooding Hamas tunnels the seawater risks 'ruining basic life in Gaza', says expert", The Guardian (23 December 2023), <https://www.theguardian.com/world/2023/dec/23/israel-flooding-hamas-tunnels-seawater-risks-ruining-basic-life-gaza-expert>.

³⁰⁷ Ibid.

³⁰⁸ Save the Children, Press Release: Deaths by starvation and disease may top deaths by bombs as families squeezed into deadly "safe zones", two months into Gaza crisis (9 December 2023), <https://www.savethechildren.net/news/deaths-starvation-and-disease-may-top-deaths-bombs-families-squeezed-deadly-safe-zones-two>.

³⁰⁹ Ibid.

71. ガザで立ち退きを強いられている190万人のパレスチナ人の大半は、UNRWA施設に避難している。これらの施設は主に学校やテントで構成されている³¹⁰これらの避難場所自体も安全ではない。現在までに、イスラエルはすべての国連施設の位置情報を提供されているにもかかわらず³¹¹、UNRWAの施設に避難しているパレスチナ人の男女や子どもを数百人殺害し、1000人以上の負傷させている。³¹²

72. UNRWAの避難所の状況は、2023年12月12日の国連総会決議ES-10/22で留意されたUNRWA事務局長の2023年12月7日の書簡において、次のように説明されている。

「今日、イスラエルの軍事作戦の結果、120万人近い民間人がUNRWAの施設に避難している。UNRWAは、ガザに住む220万人以上の人々への**人道支援の主要な基盤**となっているが、その基盤は**崩壊寸前**である。

UNRWAは、かろうじてではあるが、今日現在もガザで活動中である。UNRWAのスタッフは、保健施設を運営し、避難所を管理し、心に傷を負った人々を支援しており、なかには、亡くなった子どもを抱え来る人達もいる。廊下や中庭が混雑して歩けないような状況でも、食料の配給を続けている。私たちのスタッフは、それぞれの子どもたちを職場に連れてきており、子どもが安全であること、死ぬようなことがあれば一緒にいられることを知っている。**砲撃で殺害されUNRWA職員は130人以上確認されており、そのほとんどが家族とともに殺害されており**、その数は、この報告が読まれている時までには更に増ええることだろう。UNRWA職員の少なくとも70%が避難生活を余儀なくされ、食料、水、適切なシェルターがない。私たちも必死だ。UNRWAが崩壊すれば、ガザの人道支援も崩壊する。

人道的状況は、もはや耐えられないものだ。ガザの状況は、私が2週間前に一晩滞在したときにもすでにひどいものだった。私は、空、陸、海からの絶え間ない炸裂弾と、民間インフラの大規模な破壊を目の当たりにした。

今週、イスラエル軍は人々にさらに南へ移動するよう指示し、ガザの人々はますます狭い空間に押し込められた。避難所の過密は衝撃的で、伝染病のリスクも高い。このような過密で不衛生な空間で、700人以上の人々がひとつのトイレを使用し、1日平均25人の出産があり、人々は互いの傷口を手当てしている。何万人もの人々が中庭や路上で寝ている。人々は暖をとるためにプラスチックを燃やしている。学校を含む90近いUNRWAの施設が爆弾の直撃を受け、避難民270人以上が死亡した。その多くは今週の被害だ。ガザ全体では、16,000人以上の人々（その3分の2は女性と子ども）が爆撃で死亡したと報じられている。ガザの大部分は破壊され、人が住めなくなっている。

政治的解決に至るまでパレスチナ難民にサービスを提供するというUNRWAの任務は、その前提が大きなリスクに直面している。安全なシェルターと援助がなければ、ガザの市民は 死の危険にさ

³¹⁰ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day 82 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-82>; UNRWA Situation Report #56 On the Situation in the Gaza Strip and the West Bank, including East Jerusalem (22 December 2023), <https://www.unrwa.org/resources/reports/unrwa-situation-report-56-situation-gaza-strip-and-west-bank-including-east-jerusalem>.

³¹¹ UNRWA, Gaza: UNRWA school sheltering displaced families hit (17 October 2023), <https://www.unrwa.org/newsroom/official-statements/gaza-unrwa-school-sheltering-displaced-families-hit>.

³¹² UNRWA Situation Report #56 On the Situation in the Gaza Strip and the West Bank, including East Jerusalem (22 December 2023), <https://www.unrwa.org/resources/reports/unrwa-situation-report-56-situation-gaza-strip-and-west-bank-including-east-jerusalem>.

らされるか、エジプトやそれ以遠に強制移住させられることになるだろう。ガザから立ち退きを強いられてしまえば、国連パレスチナ難民救済事業（UNRWA）本来の任務である政治的解決への展望が閉ざされ、地域の平和と安全保障にとって重大なリスクとなりかねない。1948年のナクバを彷彿とさせるような、パレスチナの地以外への強制的な立ち退きは、阻止されなければならない。

私は35年間、複雑な緊急事態に携わってきたが、私のスタッフが殺され、私が果たすべき任務が崩壊することを予期しながら、このような手紙を書いたことはこれまで一度もない。」³¹³

73. UNRWA事務局長によれば、UNRWAの避難所に居場所があるパレスチナ人は「幸運な人たち」である。³¹⁴ その他の人々は、親戚や見知らぬ人の家、政府施設、病院の中庭、急ごしらえのキャンプに避難するが、そこには食料も水も衛生設備も一切ない。路上で風雨にさらされながら寝泊まりする人もいる。UNRWAの避難所では今、平均486人が1つのトイレを使用している。³¹⁵ 一方、人々が避難しようとする他の場所には、トイレがまったくないことも多い。³¹⁶ パレスチナ人は個人の衛生状態を保つことができず、特に月経中の女性と女子が影響を受けている。³¹⁷ 世界保健機関は、平均して「4500人に1つしかシャワーがない」と推定している。³¹⁸ 避難所の新生児は、適切な衛生設備、食料、水、医療がないために、回避可能な原因で死亡していると報告されている。³¹⁹

74. UNRWA事務局長が2023年12月7日、国連総会議長に宛てた書簡で、ガザの人道状況はすでに「耐えられない」と忠告して以来³²⁰、100万人を超えるパレスチナ人が、イスラエル軍の「命令」によって、エジプト国境に近いラファ県に強制的に移動させられている。この地域は「立ち退かされた人々の集まる場所」となっており、人口密度は「4倍」に増加し、1平方キロメートルあたり12,000人を超えると推定されている。³²¹ OCHAは、「人々が避難するための場所は残っておらず、道路やその他の開けた場所でさえも残っていない」と警告している。³²² 「安全地帯」と

313 UNRWA, Letter from UNRWA Commissioner-General Philippe Lazzarini to the UN General Assembly President Mr. Dennis Francis (7 December 2023), <https://www.unrwa.org/resources/un-unrwa/letter-unrwa-commissioner-general-philippe-lazzarini-un-general-assembly> (emphasis added).

314 UN News, 'Desperate, hungry, terrified': Gazans stopping aid trucks in search of food (14 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144807>.

315 UNRWA, UNRWA Situation Report #54 on the situation in the Gaza Strip and the West Bank, including East Jerusalem (18 December 2023), <https://www.unrwa.org/resources/reports/unrwa-situation-report-54-situation-gaza-strip-and-west-bank-including-east-jerusalem>.

316 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #69 (14 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-69>.

317 United Nations Population Fund (UNFPA), UNFPA Palestine Situation Report Issue 4 (11 December 2023), https://palestine.unfpa.org/sites/default/files/pub-pdf/unfpa_situation_report_4_december_11.pdf.

318 WHO, Lethal combination of hunger and disease to lead to more deaths in Gaza (21 December 2023), <https://www.who.int/news/item/21-12-2023-lethal-combination-of-hunger-and-disease-to-lead-to-more-deaths-in-gaza>.

319 Oxfam, Press Release: Babies dying from preventable causes in besieged Gaza - Oxfam (23 November 2023), <https://www.oxfam.org/en/press-releases/babies-dying-preventable-causes-besieged-gaza-oxfam>.

320 UNRWA, Letter from UNRWA Commissioner-General Philippe Lazzarini to the UN General Assembly President Mr. Dennis Francis (7 December 2023), <https://www.unrwa.org/resources/un-unrwa/letter-unrwa-commissioner-general-philippe-lazzarini-un-general-assembly>.

321 UNRWA Situation Report #56 On the Situation in the Gaza Strip and the West Bank, including East Jerusalem (22 December 2023), <https://www.unrwa.org/resources/reports/unrwa-situation-report-56-situation-gaza-strip-and-west-bank-including-east-jerusalem>; and UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #75 (21 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-75>.

322 UN News, Gaza humanitarian disaster heralds 'breakdown' of society (8 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144547>.

されるアル・マワシは、地中海に沿った約14平方キロメートルの砂地の不毛地帯で、援助・水・食料・衛生設備を供給する機構など存在しない。イスラエルがガザのパレスチナ人に避難先だと言いつたこの場所は、安全とは言いがたい。UNRWAが強調しているように、「一方的に宣言された『安全地帯』は、まったく安全ではない。ガザに安全な場所はない」。³²³ セーブ・ザ・チルドレン・インターナショナルの人道ポリシーの責任者は次のように警告している。「人々はその場しのぎのテントで過密な避難生活を送っている。清潔な水は手に入らず、衛生施設は崩壊している。私たちは、『安全地帯』とされるアル・マワシで、子どもたちが飢餓に苦しんでいるという話を聞いている」。³²⁴

75. ガザ全域で、防寒着、寝具、毛布、その他食料以外の重要物資の不足が深刻になっており、人々は調理や暖をとるために廃材や廃品に大きく依存しているため、呼吸器疾患のリスクが高まっている。³²⁵ また、清潔な水も極度に不足しており、水分補給だけでなく、洗濯、掃除、調理も非常に困難なほどである。³²⁶ 包囲と空爆によってインフラが損傷しているため、適切な浄水処理も配水も困難であり、下水処理もできない。浸水が起きれば避難しているパレスチナ人の間で感染症が蔓延するリスクは指数関数的に高まる。³²⁷2023年12月20日、世界保健機関の事務局長は、「ガザですでに感染症の発生率が急上昇している」と警告した。5歳未満の子どもの下痢患者数は、今回の紛争前の25倍に達している。このような病気は、栄養失調の子どもにとって致命的であり、保健サービスが機能していない場合はなおさらである」。³²⁸ 下水はもはや管理できずにパレスチナ人が暮らす道路に流れ込んでいる。³²⁹ 「どこを見ても、急ごしらえの避難小屋でいっぱいだ。どこに行っても、人々は絶望し、飢え、恐怖に怯えている」³³⁰ こうした状況は、イスラエルが意図的に与えたものであり、ガザのパレスチナ人集団を破滅させるために計算されたものである。

6. ガザのパレスチナ人に対する適切な医療支援の剥奪

76. 何よりも、イスラエルによるガザへの軍事攻撃は、ガザのパレスチナ人の生活と生存に不可欠な、ガザの医療保健システムへの攻撃である。イスラエルは「ガザの医療システムに対して『容赦ない戦争』を宣言している」と、国連の達成可能な最高水準の心身の健康を享受する権

323 Julian Borger and Ruth Michaelson, "IDF instructions on Gaza refuge zones cruel 'mirage', say aid agencies", The Guardian (7 December 2023), <https://www.theguardian.com/world/2023/dec/07/idf-israel-gaza-refuge-zones-cruel-mirage-say-aid-agencies> .

324 Ibid.

325 ICRC, Israel and the occupied territories: The ICRC urges protection for Gaza civilians evacuating and staying behind (12 November 2023), <https://www.icrc.org/en/document/israel-and-occupied-territories-icrc-urges-protection-gaza-civilians-evacuating-and-staying>; and UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #71 (16 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-71> .

326 WFP, Gaza Food Security Assessment (6 December 2023), <https://docs.wfp.org/api/documents/WFP-0000154766/download/>.

327 UN News, Barely a drop of safe water to drink in Gaza, UN aid agency warns (20 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144972>; and UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #76 (22 December 2023), <https://www.unocha.org/publications/report/occupied-palestinian-territory/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-76-enarhe>.

328 Tedros Adhanom Ghebreyesus, Director-General of the World Health Organization, @DrTedros, Tweet (7:05 pm, December 20, 2023), <https://twitter.com/DrTedros/status/1737549701728092481>.

329 UN News, Gaza: Lack of fuel threatening to shut down entire humanitarian operation (16 November 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/11/1143672>.

330 UN News, Barely a drop of safe water to drink in Gaza, UN aid agency warns (20 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144972>.

利に関する国連人権理事会特別報告者は指摘している。国連の専門家は2023年12月7日の報道発表で、「ガザ地区の医療インフラは完全に消滅している」「医療従事者に対する恥すべき戦争を目撃している」と指摘した。彼女は、「私たちは、健康に対する権利にとって人生のなかで最も暗黒の時代にいる」と警告し、「私たちは深みにはまったが、速やかにここから抜け出さねばならない」と述べた。³³¹

77. 2023年12月4日、国境なき医師団の国際会長は、国連安全保障理事会に宛てた書簡の中で次のように述べた。³³²

「イスラエルは、ガザの医療施設の保護をあからさまに、完全に無視している。私たちは、病院が死体安置所や廃墟と化すのを目の当たりにしている。保護されるはずのこれらの施設は爆撃され、戦車砲や銃で撃たれ、包囲され、突入され、患者や医療スタッフが殺されている。世界保健機関は、医療機関に対する203件の攻撃を記録しており、少なくとも勤務時間中に22人が死亡、59人が負傷している。私たちのスタッフも現地の医療スタッフも疲労困憊し、絶望の淵に立たされている。彼らは、麻酔も滅菌された手術器具もないまま、重度の火傷を負った子どもたちの手や足を切断しなければならなかった。**イスラエル兵が退去を強制したため、自分の命か患者の命かという想像を絶する選択を迫られ、患者を置き去りにせざるを得なかった医師もいる。医療に対する残虐な攻撃を正当化することはできない...**

MSFのスタッフ4人が殺害され、さらに多くのスタッフが家族を失った。その他にも多数のスタッフが負傷している。他の人道支援組織からも、数十人のスタッフが殺害されたとの報告書が出ている...

ガザ北部は地図から消されしまった。**医療システムは崩壊している...**ガザ南部のハーン・ユーニスにいる私たちの救急チームは、激しい爆撃の後、負傷者が大量に押し寄せたと報告している。先週の土曜日には、60人の死者と213人の負傷者がアル・アクサ病院の救急室に到着した。こうした爆撃は、過密で劣悪な難民キャンプにも襲いかかり、人々はわずかな人道援助でかろうじて生き延びている。もし爆撃がなかったとしても、伝染病と飢餓が彼らを襲うだろう...

「私たちはできることをした。私たちのことを忘れないでください」。これは、私たちのマフムード・アブ・ヌジャイラ医師が、ガザの病院のホワイトボードに書いた言葉である。銃声が静まり返り、真の荒廃の規模が明らかになったとき、本理事会とそのメンバーは同じことを言えるだろうか」。

78. 2023年12月初旬以来、イスラエル軍によるパレスチナの病院への攻撃は増加の一途をたどっている。イスラエル軍は病院や医療センターを攻撃し、包囲し続け、有効な機能や設備を維持するのに不可欠な電力や燃料を奪い、医療物資や食料、水の供給を妨害し、避難や閉鎖を強要し、事実上破壊し続けている。ガザ北部では、1週間も全ての病院が機能していなかったが、現在利用できるのは、深刻な問題を抱え部分的に機能する4つの病院だけである。³³³ イスラエルは、

331 UN OHCHR, Gaza: UN expert condemns 'unrelenting war' on health system amid airstrikes on hospitals and health workers (7 December 2023) <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/12/gaza-un-expert-condemns-unrelenting-war-health-system-amid-airstrikes>.

332 Médecins Sans Frontières ('MSF'), Gaza: "It must all stop now", Letter to UN Security Council (4 December 2023), <https://www.msf.org/letter-gaza-un-security-council>.

333 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #78 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-78>.

ガザのパレスチナの病院を、治療の場から「死の場」³³⁴に変え、「血の海」³³⁵、「死、荒廃、絶望」³³⁶の場とした。多くの病院は今では、「人々が死を待つだけの場所」³³⁷と化した。世界保健機関は、この状況を「非道で受け入れ難い」「信じがたい」³³⁸と表現している。

79. ガザでは医療関連への攻撃が 238 件以上あり、61以上の病院その他の医療施設が損壊・破壊された。³³⁹ イスラエルの攻撃で負傷した人々の数が圧倒的に多いなかで、病院では36うち13か所だけが、他の医療機関では72のうち18か所だけが稼働している。一部はかろうじて機能しているに過ぎないところもあり、それらがイスラエルの攻撃で発生する圧倒的な数の負傷者に対応しなければならない。³⁴⁰ イスラエル軍が攻撃対象としているのは、病院の発電機、病院のソーラーパネルの他、³⁴¹ 酸素ステーションや貯水タンクなどの救命設備である。³⁴¹ また、救急車、医療車列、救急隊員も標的にされている。³⁴² 311人の医療従事者が殺害され（1日平均4人の殺害）³⁴³、うち少なくとも22人の医療従事者が勤務中に殺害された。³⁴⁴ 殺された医療従事者には、最も経験豊かで熟練した医師たちも含まれる。アル・シファ病院の救急部門長のハニ・アル・ハイサム医師は妻のサメーラ・ギラフィ医師と子どもたちとともに殺された。³⁴⁵ アル・シファ病院の救急部長のハニ・アル・ハイサム医師は妻のサメーラ・ギラフィ医師と子どもたちとともに殺され³⁴⁶、アル・シファ病院病理部長のモハマド・ダブール医師は、息子と父親とともにガザ市から避難するなかで殺されたと伝えられている。³⁴⁷ アル・シファ病院の熱傷形成外科医メドハット・サイダム医師とアル・シファ病院の腎臓内科医ハムム・アロー医師は、自宅への攻撃で殺さ

334 WHO, WHO leads very high-risk joint humanitarian mission to Al-Shifa Hospital in Gaza (18 November 2023), <https://www.who.int/news/item/18-11-2023-who-leads-very-high-risk-joint-humanitarian-mission-to-al-shifa-hospital-in-gaza>.

335 UN News, UN workers delivering aid to Gaza hospital describe 'bloodbath' in overflowing emergency department (16 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144877>.

336 WHO, WHO appalled by latest attack on Indonesian Hospital in Gaza (20 November 2023), <https://www.emro.who.int/media/news/who-appalled-by-latest-attack-on-indonesian-hospital-in-gaza.html>.

337 UN News, UPDATED: Injured patients 'waiting to die' in northern Gaza as last hospital shuts down, amid rising 'catastrophic' hunger levels (21 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1145017>.

338 UN News, 'Ten weeks of hell' for children in Gaza: UNICEF (19 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144927>.

339 WHO, oPt Emergency Situation Update Issue 17 (14 December 2023), https://www.emro.who.int/images/stories/Sitrep_-_issue_17_for_review.pdf?ua=1.

340 Ibid.

341 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #37 (12 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-37>.

342 MSF, MSF convoy attack in Gaza: All elements point to Israeli army responsibility (1 December 2023), <https://www.doctorswithoutborders.org/latest/msf-convoy-attack-gaza-all-elements-point-israeli-army-responsibility>; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #28 (3 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-28>.

343 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - Reported Impact | Day #70 (15 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-70>.

344 WHO, oPt Emergency Situation Update, issue 14 (23 November 2023), https://www.emro.who.int/images/stories/palestine/oPt_Emergency_Situation_Update_-_NOV24.pdf?ua=1.

345 Asmahan Qarjouli, "Israel 'brutally murdered' Al-Shifa emergency dept chief in Gaza", Doha News (19 December 2023), <https://dohanews.co/israel-brutally-murdered-al-shifa-emergency-dept-chief-in-gaza/>.

346 Asmahan Qarjouli, "Israel 'brutally murdered' Al-Shifa emergency dept chief in Gaza", Doha News (19 December 2023), <https://dohanews.co/israel-brutally-murdered-al-shifa-emergency-dept-chief-in-gaza/>.

347 Weronika Strzyżyńska and Harriet Sherwood, "Doctors, poets, families, babies: victims of Israel's war on Gaza", The Guardian (23 October 2023), <https://www.theguardian.com/world/2023/oct/23/doctors-poets-families-babies-victims-of-israels-war-on-gaza>.

れた。³⁴⁸ アロー医師は死の直前のインタビューで、なぜ北部から南部に避難しないのかとの質問に次のように答えた。「もし私が避難したら、誰が私の患者を治療するのですか。私たちは動物ではありません。適切な医療を受ける権利があります。私が医学部と大学院で合計14年間学んだのは患者のためではなく、自分だけのためだったとでも思うのですか？」³⁴⁹ 組織的にパレスチナの病院が破壊され、パレスチナの専門医が殺されていることは、現在ガザにいるパレスチナ人の医療に影響を及ぼしているだけでなく、ガザ地区のパレスチナ医療システムの将来展望を損ない、ガザの医療を再建してパレスチナの人々へ効果的に提供する期待を消し去ろうとするものだ。

80. ガザの病院や医療センターで、少なくとも570人のパレスチナ人が殺され、さらに746人が負傷した。³⁵⁰ 殺されたパレスチナ人の中には、病院の敷地内や周辺に安全を求めてやってきた患者や国内避難民もいたが、彼らは病院の敷地内やその近くに安全な場所を求めたが、イスラエル軍の攻撃や狙撃によって殺された。³⁵¹ パレスチナの母親たちは産科病院で殺され、パレスチナの子どもたちは小児病院で殺されている。³⁵² ナセル病院の霊安室長サイド・アル・シヨルバジのように、遺体を見守ったり、死者の数を数えたりする人たちまでもが殺されている。³⁵³ 何度もイスラエルの攻撃の犠牲になっている人もいる。12歳のディナ・アブ・モフセンは、イスラエル軍の自宅への攻撃で両親と2人の兄弟、そして自分の足を失った後、ユニセフのインタビューを受けたが、その後、彼女が治療を受けていた病院がイスラエル軍の砲撃を受け、彼女自身も殺された。³⁵⁴

81. イスラエルによる病院への電気・燃料の遮断の影響を直接受けて、他にもパレスチナ人が死亡している。その中には、アル・シファ病院の5人の未熟児と40人のICUと腎臓患者も含まれている。³⁵⁵ イスラエルが病院からの退去を強制した影響を直接受けて、他にもパレスチナ人が死亡している。その中には、アル・ナセル病院の少なくとも4人の乳児が含まれており、その小さな遺体は数週間後、一時停戦中に、病院のベッドで腐敗した状態で発見された。³⁵⁶ 病院の中庭は

集団墓地と化している。³⁵⁷ アル・シファ病院では、179人の患者などの腐敗した遺体のために、

348 Vanessa Romo, "Doctors are among the many dead in Gaza. These are their stories", NPR (16 November 2023), <https://www.npr.org/2023/11/16/1213307710/gaza-doctors-al-shifa-hospital>.

349 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #72 (18 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-72>.

350 WHO, oPt Emergency Situation Update Issue 17 (14 December 2023), https://www.emro.who.int/images/stories/stories/Sitrep_-_issue_17_for_review.pdf?ua=1.

351 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #38 (13 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-38>; and UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #72 (18 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-72>.

352 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #55 (30 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-55>; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #66 (11 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-66>.

353 Bassam Massou and Maggie Fick, "Gaza death toll: why counting the dead has become a daily struggle", Reuters (21 December 2023), <https://www.reuters.com/world/middle-east/fight-keep-counting-dead-gaza-2023-12-21/>.

354 UNICEF, @UNICEF, Tweet (10:28 pm, December 17, 2023), <https://twitter.com/UNICEF/status/1736876099890565478>.

355 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #42 (17 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-42>; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #44 (19 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-44>.

356 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #55 (30 November 2023) <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-55>; Human Rights Watch (HRW), "Birth and Death Intertwined in Gaza Strip: Maternity Care Facilities Gravely Affected by Strikes, Blockade (1 December 2023), <https://www.hrw.org/news/2023/12/01/birth-and-death-intertwined-gaza-strip>.

357 See e.g., the Al Yaman Al Saeed Hospital in Jabalia refugee camp: UN OCHA, Hostilities in

医療関係者自らが墓地を掘らなければならなかった。³⁵⁸ イスラエル軍のブルドーザーは12月16日、包囲されたカマル・アドワン病院で26人のパレスチナ人が埋葬されていた集団墓地を掘り返した。³⁵⁹ CNNの取材に対し、カマル・アドワン病院の小児科の責任者、ホッサム・アブ・サフィーヤは、「兵士たちが今朝、墓を暴き、ブルドーザーでそれらの遺体を引きずり出し押しつぶした。前代未聞のことだ」³⁶⁰と述べた。

82. 「病院その他の医療施設を含むすべての民間施設および人道目的の施設、...ならびに人道団体職員と医療要員の...尊重と保護」を求める³⁶¹2023年10月27日の国連総会決議ES10/21は、完全に無視されている。医師や医療関係者は殺され続けているだけでなく、イスラエル当局によって検挙され続け、その後消息を絶った人もいる。³⁶² その中には、2023年11月23日以降、拘束され外部との連絡がとれないアル・シファ病院長とそのスタッフも含まれている。³⁶³

83. ガザでイスラエルによって負傷させられた人々は救命医療を受ける機会を奪われている。³⁶⁴ イスラエルによる長年の封鎖と今回より以前の攻撃によってすでに脆弱化していたガザの医療システムは、現在、少なくとも8,663人の子どもを含み、現在55,243人に達している多数の負傷者に対処することができていない。³⁶⁵ 重傷の患者が助けを求めて何マイルも歩いているという報告もある。ユニセフは、「攻撃で足を吹き飛ばされた」北部に住む少年のケースを取り上げている。彼は「検問で足止めされ南部に行こうとして『3、4日』かかった。...すぐわかる(腐敗の)臭いがあり...この少年は(爆弾の)破片を全身に浴びていた。おそらく彼は失明しており、火傷は全身の50パーセントに及んでいただろう。」³⁶⁶ OCHAは、腹部に(爆弾の)破片を受けた女性が、タオルを傷口に押し当てながら北から南へ歩いてきたと記録している。³⁶⁷ パレスチナの人々は傷病者や障がい者を北から南へ、さらに南への強制移動にともなって避難させるため、病院のベッドを自動車で引いたり、車椅子を押ししたり、ストレッチャーを急ごしらえしたり、あるいは腕に抱えたりしなければならなかった。³⁶⁸

the Gaza Strip and Israel | Flash Update #65 (10 December 2023),

<https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-65>.

³⁵⁸ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #40 (15 November 2023),

<https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-40>.

³⁵⁹ Al-Haq, Al Mezan Center for Human Rights, Palestinian Centre for Human Rights ('PCHR'), Palestinian Human Rights Organisations Condemn the Serious Israeli Violations at Kamal Adwan Hospital in Northern Gaza (21 December 2023), <https://alhaq.org/advocacy/22388.html>.

³⁶⁰ Abeer Salman and Kareem Khadder, "Doctors accuse Israeli troops of desecrating bodies and shooting civilians at hospital Israel says was Hamas 'command center'", CNN (23 December 2023), <https://edition.cnn.com/2023/12/23/middleeast/kamal-adwan-hospital-gaza-israel-abuse-allegations-intl-cmd/index.html>.

³⁶¹ UNGA Res ES10/21, Protection of civilians and upholding legal and humanitarian obligations, A/RES/ES-10/21 (27 October 2023), <https://digitallibrary.un.org/record/4025940?ln=en>.

³⁶² WHO, WHO calls for protection of humanitarian space in Gaza following serious incidents in high-risk mission to transfer patients, deliver health supplies (12 December 2023), <https://www.who.int/news/item/12-12-2023-who-calls-for-protection-of-humanitarian-space-in-gaza-following-serious-incidents-in-high-risk-mission-to-transfer-patients--deliver-health-supplies>.

³⁶³ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #48 (23 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-48>.

³⁶⁴ UN News, UPDATED: Injured patients 'waiting to die' in northern Gaza as last hospital shuts down, amid rising 'catastrophic' hunger levels (21 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1145017>.

³⁶⁵ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - Reported Impact | Day #70 (15 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-70>; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel - reported impact | Day #82 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-reported-impact-day-82>.

³⁶⁶ UN News, Gaza doctors 'terrified' of deadly disease outbreak as aid teams race to deliver (28 November 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/11/1144032>.

³⁶⁷ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #45 (20 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-45>.

³⁶⁸ "Panic as Gaza's al-Shifa evacuates, Israel army denies ordering it to do so", Al Jazeera

84. まだ機能している病院は、「ホラー映画」の一場面のようなありさまだと言われている。³⁶⁹ 人手も資材も、麻酔剤も鎮痛剤も他の薬剤も消毒剤も危機的に不足しているため³⁷⁰、避けられずの手足の切断手術が³⁷¹、**麻酔なし**で、しかも時に懐中電灯のもとで、行われることになる。しばしば懐中電灯のもとで麻酔なしでの切断手術さえ行なわれているのである。³⁷² 妊婦もまた麻酔なしで帝王切開を受けている。³⁷³ 患者は血だらけの不衛生な床で治療を受けており、たとえば家族が輸液パックを持って立っていなければならぬ状態だが、それさえも生理食塩水が病院あるときに限られる。³⁷⁴ スタッフも資材も不足しているため適切な傷の手当や術後の手当ができず³⁷⁵、不潔になった創傷（多くの場合、ウジやハエにたかわれている）は、感染、壊死、壊疽に直結する。³⁷⁶ 患者は食べ物や水を欲しがり³⁷⁷、基本的なペインコントロールの治療さえ受けられないことが多く、治療可能であるにもかかわらず悪化して死亡するリスクにさらされている。³⁷⁸ ある医師は、麻酔なしの処置が必要だった状況を次のように述べた。

「私は、広範囲な外傷...大きな苦痛を伴う傷の包帯交換をしなければなりません。全身に弾丸の破片が刺さっている、9歳の少女でした。私は麻酔薬も鎮痛剤もない状態で、傷の手当て

(18 November 2023), <https://www.aljazeera.com/news/2023/11/18/israel-gives-gazas-al-shifa-hospital-one-hour-to-evacuate>.

³⁶⁹ UN Web TV, UNICEF, WHO, OHCHR, UNHCR - Press Briefing: Rob Holand, Emergency Coordinator WHO (1 December 2023), <https://webtv.un.org/en/asset/k1r/k1ro1d247a> (at 22:15).

³⁷⁰ Jason Burke, "We are overwhelmed: southern Gaza's exhausted doctors forced to leave children die", The Guardian (24 November 2023), <https://www.theguardian.com/world/2023/nov/24/we-are-overwhelmed-southern-gazas-exhausted-doctors-forced-to-leave-children-to-die>.

³⁷¹ Claire Gillbody-Dickerson, "Doctors in Gaza forced to amputate limbs because they lack means to treat injuries", iNews (30 October 2023), <https://inews.co.uk/news/world/doctors-gaza-forced-amputate-limbs-hospitals-israel-evacuate-2720777>.

³⁷² UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #32 (7 November 2023), <https://www.unocha.org/publications/report/occupied-palestinian-territory/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-32>.

³⁷³ UN News, Interview: 5,500 women in Gaza set to give birth 'in race against death' (7 November 2023), <https://news.un.org/en/interview/2023/11/1143327>.

³⁷⁴ UN News, UN workers delivering aid to Gaza hospital describe 'bloodbath' in overflowing emergency department (16 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144877>; Rajini Vaidyanathan, "WHO says Al-Shifa 'looked almost like a battlefield hospital'", BBC (17 December 2023), <https://www.bbc.com/news/live/world-middle-east-67732895>.

³⁷⁵ UN News, UPDATED: Injured patients 'waiting to die' in northern Gaza as last hospital shuts down, amid rising 'catastrophic' hunger levels (21 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1145017>.

³⁷⁶ Lilia Sebouai, "'Bodies scratched, bleeding and full of flies': Infections plague Gaza's hospitals", The Telegraph (6 November 2023), <https://www.telegraph.co.uk/global-health/terror-and-security/hospital-infections-gaza-medical-supplies-clean-water/>; Dr. Hafez Abukhoussa, "The Horrors I've Seen Treating Patients at Gaza's Remaining Hospitals", Time Magazine (12 December 2023), <https://time.com/6358269/horrors-treating-patients-khan-younis-gaza/>. UN News, UPDATED: Injured patients 'waiting to die' in northern Gaza as last hospital shuts down, amid rising 'catastrophic' hunger levels (21 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1145017>.

³⁷⁷ UN News, UPDATED: Injured patients 'waiting to die' in northern Gaza as last hospital shuts down, amid rising 'catastrophic' hunger levels (21 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1145017>.

³⁷⁸ WHO, WHO delivers health supplies to Al-Shifa Hospital, appeals for continued access to address urgent needs in north Gaza (17 December 2023), <https://www.who.int/news/item/17-12-2023-who-delivers-health-supplies-to-al-shifa-hospital--appeals-for-continued-access-to-address-urgent-needs-in-north-gaza>; WHO, WHO Director-General's remarks at the Informal Plenary Meeting of the United Nations General Assembly (17 November 2023), <https://www.who.int/director-general/speeches/detail/who-director-general-s-remarks-at-the-informal-plenary-meeting-of-the-united-nations-general-assembly---17-november-2023>.

と消毒をしなければなりませんでした。それでもなんとか、パラセタモールの静脈注射を見つけて、彼女に打ちました...彼女の父親は泣いていたし、私も泣いていました。そして、かわいそうなその子も泣き叫んでいました...」³⁷⁹

85. 戦争による負傷者だけでなく、ガザには、高血圧、心血管疾患、糖尿病などの定期的な医療を必要とするパレスチナ人が数十万人いる。³⁸⁰ ガザの数千人のパレスチナ人は、腎臓病やがんなどの緊急医療を必要としており、推定130人の未熟児が、生存には常時保育器に頼らざるを得ない状況にある。³⁸¹ こうした人々の多くは、現在、医療支援を受けることができていない。ユニセフは、「ガザの女性、子ども、新生児は、パレスチナ占領地での敵対行為の激化による被害を、殺害、負傷、医療欠如という形で一身に背負っている」と警告している。³⁸² 高齢者や障がい者は、必要な薬がなく、伝染病、栄養失調、死亡のリスクが高くなっている。³⁸³ 妊婦もまた著しく脆弱な状態にある。³⁸⁴

86. 専門家たちは、病気や飢餓によって死亡するパレスチナ人の数がすでにイスラエル軍の攻撃による暴力的な死を上回った可能性があるとして警告し始めている。³⁸⁵ UNRWAの避難所だけで、不衛生な環境、飢餓、清潔な水の欠如が引き起こしたあるいは悪化させてきた伝染病の報告例がすでに36万件以上あり、実際の数はずっと多いと考えられている。³⁸⁶ 世界保健機関は次のように述べている。

「ガザではすでに感染症が急増している。10月中旬以降、10万件以上の下痢症例が報告されている。その半数は5歳以下の子どもの例であり、紛争以前に報告されていた症例の25倍にもなっている。

上気道感染症が15万件以上、髄膜炎、発疹、疥癬、シラミ、水疱瘡が多数報告されている。多くの人々がはつきりとした黄疸の兆候を呈していることから、肝炎も疑われている。健康体であれば、これらの病気を治すことは容易だが、衰弱した身体では厳しい闘病になるだろう。飢餓は身体の防御力を低下させ、病気にかかりやすくするのだ。

379 Interview with Dr Ghassan Abu-Sittah on Channel 4 News, 27 November 2023: “‘We were having to do procedures without anaesthetic’, says Gaza war surgeon”, Channel 4 (27 November 2023), <https://www.channel4.com/news/we-were-having-to-do-procedures-without-anaesthetic-says-gaza-war-surgeon>.

380 WHO, oPt Emergency Situation Update Issue 16 (7 December 2023), https://www.emro.who.int/images/stories/palestine/oPt_Emergency_Situation_Update_-_DEC7b.pdf.

381 Ibid.

382 UNICEF, Joint Statement by UNICEF, UNDP, UNFPA, WFP and WHO on Humanitarian Supplies Crossing into Gaza (4 November 2023), <https://www.unicef.org.uk/press-releases/joint-statement-by-unicef-undp-unfpa-wfp-and-who-on-humanitarian-supplies-crossing-into-gaza/>.

383 HRW, Gaza: Israeli Attacks, Blockade Devastating for People with Disabilities (1 November 2023), <https://www.hrw.org/news/2023/11/01/gaza-israeli-attacks-blockade-devastating-people-disabilities>; UN OHCHR, Occupied Palestinian territory and Israel: UN experts call for permanent ceasefire to protect rights and futures of women and girls (14 December 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/12/occupied-palestinian-territory-and-israel-un-experts-call-permanent>.

384 See further Section 8 infra.

385 See e.g., Tedros Adhanom Ghebreyesus, Director-General of the WHO, @DrTedros, Tweet (6:26 am, November 29, 2023), <https://twitter.com/DrTedros/status/1729748696890245146>; UN News, ‘Ten weeks of hell’ for children in Gaza: UNICEF (19 December 2023), <https://news.un.org/en/story/2023/12/1144927>.

386 UNICEF, State of Palestine Escalation Humanitarian Situation Report Issue No. 10, 7-13 December (14 December 2023), <https://www.unicef.org/media/150141/file/SoP-Humanitarian-SitRep-14-December-2023.pdf>; WHO, oPt Emergency Situation Update Issue 16 (7 December 2023), https://www.emro.who.int/images/stories/palestine/oPt_Emergency_Situation_Update_-_DEC7b.pdf.

栄養不良は、下痢、肺炎、はしかのような病気で子どもが死亡するリスクを高め、特に救命医療サービスを受けられない環境ではなおさらである。

子どもは身体が消耗すると、たとえ生き延びても発育が妨げられ、認知発達が歪められるので、生涯にわたる影響をこうむりかねない…

すでに十分な苦しみを味わっているガザの人々は今、飢餓や、**保健システムが機能していれば容易に治療できる病気** によって死ぬ危機に直面している。このようなことは止めなければならない。食料やその他の援助は、はるかに大量に提供されなければならない。WHOは、「人道主義的観点からの即時停戦を改めて求める」。³⁸⁷

87. 専門家は、病気と飢えによる死者数は「戦闘と空爆による死者数の何倍にもなりうる」と見積もっている。³⁸⁸ ガザのパレスチナ人のための医療システムを執拗に攻撃することで、皆殺し目的の生活条件をガザのパレスチナ人に意図的に貸している。³⁸⁹ イギリスの医学雑誌『ランセット』に寄稿した医療関係者のグループは、「パレスチナ人が継続的にこうむっている包囲と攻撃に起因する暴力には、健康への悪影響という側面もある」と強調し、正当にも「パレスチナ人に対するジェノサイドが行われている重大な危険性」について警告している。³⁹⁰

7. ガザにおけるパレスチナ人の生活破壊

88. 2023年11月16日、15人の国連特別報告者と国連ワーキンググループの21人のメンバーは、ガザにおける「ジェノサイドの発生」に警告を発し、これまでに起こった「住宅、病院、学校、モスク、製パン所、水道管、下水道、電力網…の破壊レベルは、ガザにおけるパレスチナ人の生活の継続を不可能にする恐れがある」と指摘した。³⁹¹ 彼らが留意しているように、イスラエルはガザに対する空爆軍事行動において、「本質的に無差別的なインパクトを与える強力な兵器を使用し、その結果、膨大な死者数と生活インフラの破壊をもたらした」。³⁹² イスラエルは、個々の住宅、家屋、団地全体を破壊しただけでなく、街路全体、近隣地域全体を破壊した。かつて約11万人のパレスチナ人が住んでいたガザ市郊外のシュジャイヤは、今、見渡す限り建物はつぶされて、広大な荒れ地の様相である。³⁹³ この非常に多くの住民が負傷し、あるいは

³⁸⁷ WHO, Lethal combination of hunger and disease to lead to more deaths in Gaza (21 December 2023), <https://www.who.int/news/item/21-12-2023-lethal-combination-of-hunger-and-disease-to-lead-to-more-deaths-in-gaza>.

³⁸⁸ Henry Mance, "UN aid chief Martin Griffiths: 'the war in Gaza isn't halfway through'", Financial Times (18 December 2023), <https://www.ft.com/content/01b592be-47c7-4a20-9bbd-621aa40f7640>.

³⁸⁹ Ibid.

³⁹⁰ Alix Faddoul, Geordan Shannon, Khudejha Ashgar, Yamina Boukari, James Smith and Amy Neilson, "The health dimensions of violence in Palestine: a call to prevent genocide", The Lancet (18 December 2023), [https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(23\)02751-4/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(23)02751-4/fulltext).

³⁹¹ UN OHCHR, Gaza: UN experts call on international community to prevent genocide against the Palestinian people (16 November 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/11/gaza-un-experts-call-international-community-prevent-genocide-against>.

³⁹² UN OHCHR, Gaza: UN experts call on international community to prevent genocide against the Palestinian people (16 November 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/11/gaza-un-experts-call-international-community-prevent-genocide-against> (emphasis added).

³⁹³ "The documentation that dropped Gazans' jaws: the Shuja'iyya neighbourhood was completely wiped out: Watch", JDN (20 December 2023), <https://www.jdn.co.il/video/2103783/>; Israeli soldier reports "Shujaiya neighbourhood gone": Bazz News, @1717Bazz, Tweet (2:50 pm, December 20, 2023), <https://twitter.com/i/web/status/1737485648158748674>, (translation by Middle East Eye, @MiddleEastEye (8:00am, December 21, 2023),

殺されるとともに、商店、学校、活気ある市場、民家、診療所、歴史的な街並み、イブン・ウスマン・モスクなど、かつてパレスチナ人の生活を支えていたあらゆるものが破壊された。³⁹⁴ ガザの他の地域でも、 Beitoun³⁹⁵、 Beitoun³⁹⁶、 ガザ旧市街³⁹⁷、 アル・リマール³⁹⁸、南部のヌセイラット難民キャンプ³⁹⁹などなどで明らかのように、同じようなレベルの破壊が起きているとみられる。

89. イスラエルはガザ全域で、イスラエルはパレスチナ人の生活の基盤やインフラを標的にし、パレスチナの人々の身体的破壊をもたらすことを意図する生活条件を故意に作り出してきた。前述した家屋、居住区、病院、上水道、農地、パン屋、製粉所への攻撃に加え、イスラエルはガザの社会基盤も標的にしてきた。イスラエルは司法宮(the Palace of Justice)⁴⁰⁰も標的にした。ここはガザのパレスチナの主要な裁判所の建物で、パレスチナの最高裁判所、憲法裁判所、控訴裁判所、第一審裁判所、行政裁判所、治安判事裁判所のほか、裁判記録やその他の歴史的ファイルのアーカイブがある場所である。また、イスラエルはパレスチナ立法評議会(Palestinian Legislative Council)の複合施設にも大きな損害を与えた。⁴⁰¹ イスラエルはガザ市の中央公文書館(Central Archive)を標的とした。ここには100年以上前までさかのぼる幾千もの歴史文書や国家記録が保管されており、パレスチナ史の重要なアーカイブであるだけでなく、ガザ市の都市開発に関する現代の記録も保管されている。⁴⁰²

90. イスラエルは、ガザ市の主要な公立図書館を廃墟にした。⁴⁰³ 更に多くの書店、出版社、図書館⁴⁰⁴、何百もの教育施設を損傷または破壊した。⁴⁰⁵ イスラエルは、とくに医師や技術者を

<https://twitter.com/MiddleEastEye/status/1737744722649546979>).

394 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #74 (20 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-74>.

395 UN OCHA, Before and after: satellite images of Gaza showing damage caused in hostilities (9 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/and-after-satellite-images-gaza-showing-damage-caused-hostilities>.

396 Dominic Bailey, Erwan Rivault, Daniele Palumbo, "Nearly 100,000 Gaza buildings may be damaged, satellite images show", BBC News (1 December 2023), <https://www.bbc.com/news/world-middle-east-67565872>.

397 UN OCHA, Before and after: satellite images of Gaza showing damage caused in hostilities (9 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/and-after-satellite-images-gaza-showing-damage-caused-hostilities>.

398 Al-Haq, Al Mezan Center for Human Rights, Palestinian Centre for Human Rights, Destruction of al-Rimal Neighborhood in Gaza City, an Attack on the Economic Existence of a National Group (19 October 2023), <https://www.alhaq.org/advocacy/21943.html>; "How Israeli Airstrikes Destroyed a Busy Neighbourhood in Gaza", The Financial Times (24 October 2023), <https://ig.ft.com/gaza-damage/>.

399 Dominic Bailey, Erwan Rivault, Daniele Palumbo, "Nearly 100,000 Gaza buildings may be damaged, satellite images show", BBC News (1 December 2023), <https://www.bbc.com/news/world-middle-east-67565872>.

400 ,Diakonia International Humanitarian Law Centre, 2023 Hostilities And Escalating Violence In The OPT | Account of Events (13 December 2023), <https://www.diakonia.se/ihl/news/2023-hostilities-in-gaza-and-israel-factual-account-of-events/>.

401 Josh Holder, "Gaza After Nine Weeks of War", The New York Times (12 December 2023), <https://www.nytimes.com/interactive/2023/12/12/world/middleeast/gaza-strip-satellite-images-israel-invasion.html>.

402 International Council on Archives, Statement of the International Council on Archives on the Destruction of the Central

Archives of the Municipality of Gaza (13 December 2023), <https://www.ica.org/en/statement-of-the-international-council-on-archives-on-the-destruction-of-the-central-archives-of-the>.

403 Mohamad El Chamaa, "Gazans mourn loss of their libraries: Cultural beacons and communal spaces" The Washington Post (1 December 2023), <https://www.washingtonpost.com/world/2023/11/30/gaza-library-palestinian-culture/>.

404 Laila Hussein Moustafa, "Opinion: When libraries like Gaza's are destroyed, what's lost is far more than books", Los Angeles Times (12 December 2023), <https://www.latimes.com/opinion/story/2023-12-12/gaza-library-bombing>.

405 UNICEF, UNICEF in the State of Palestine Escalation Humanitarian Situation Report No. 10 (14

何世代にもわたって養成してきたガザ最古の高等教育機関であるガザ・イスラム大学を含む4つの大学をことごとく標的にし⁴⁰⁶、ガザに住む次世代のパレスチナ人の教育のためのキャンパスを破壊した。多くの市民を殺害する中で、イスラエルは指導的なパレスチナ人学者も殺害してきた。受賞歴のある物理学者でユネスコのパレスチナにおける天文学・天体物理学・宇宙科学分野の議長でもあるイスラム大学学長スフィアン・タイエ教授は、家族とともに空爆で殺害された。パレスチナ大学ソフトウェア工学部長アーメド・ハムディ・アボ・アブサ博士は、3日間の強制連行から解放され立ち去るところをイスラエル兵に射殺されたと報じられている。また、免疫学・ウイルス学教授でガザ・イスラム大学の前学長、ムハンマド・イード・シャビール教授と、詩人でガザ・イスラム大学の比較文学・創作文学教授であるレファト・アラリア教授は、二人とも家族とともにイスラエルに殺害された。アラリア教授は、パレスチナ人に関しては、その死ですら無味乾燥な報道ではもれてしまう物語を伝えようと、パレスチナの若者が計画したプロジェクト「We are Not Numbers」の共同創設者であった。⁴⁰⁷

91. イスラエルは、アル・ザファル・ドマリ・モスクと手稿・古文書センター⁴⁰⁸、正教会文化センター、アル・カララ文化博物館、ガザ文化芸術センター、アラブ社会文化センター、ハカウィ文化芸術協会、ラファ博物館（ガザに新しく開設されたパレスチナ遺産博物館で、何百もの文化財や考古学上の遺物を所蔵している）など、パレスチナの学問と文化の中心地の多くを損壊あるいは破壊した。イスラエルによる攻撃は、ガザの古代の歴史的遺産を破壊してきた。8つの遺跡が損壊または破壊され、これには、ガザの古代の港湾（「アンテドン・ハーバー」または「アル・バラキーヤ」として知られている）で、イスラム遺産リストとユネスコ世界遺産リスト（暫定版）の両方に登録されている2000年前のローマ時代の墓地の遺跡も含まれている。⁴⁰⁹ さらにイスラエルはガザ市の「旧市街」を破壊し、築146年の歴史的な家屋、モスク、教会、市場、学校などを破壊した。またイスラエルは、ガザでのより希望に満ちた未来への約束を象徴していた、もっと新しい建物も破壊している。このなかには、25年前にビル・クリントン米大統領とヤーセル・アラファト・パレスチナ大統領との歴史的会談が行われ、劇場、図書館、イベントスペースなど、ガザのパレスチナ人にとって重要な文化的拠点ともなっていたラシャド・アル・シャワ文化センターも含まれている。⁴¹⁰ イスラエルは、ガザの将来の学問と文化の可能性も破壊している。352のパレスチナ人学校を損壊あるいは破壊したほか⁴¹¹、4,037人の生徒と209人の教師・教育ス

December 2023), <https://www.unicef.org/media/150141/file/SoP-Humanitarian-SitRep-14-December-2023.pdf>.

406 Brendan O'Malley, Wagdy Sawahel, "Israel bombs Gaza university, alleging use by military", University World News (12 October 2023), <https://www.universityworldnews.com/post.php?story=20231012162739531>.

407 We Are Not Numbers, Tributes to Refaat Alareer, killed Dec. 9, 2023 (18 December 2023), <https://wearenotnumbers.org/tributes-to-refaat-alareer-killed-dec-9-2023/>.

408 ANSCH, Report on the Impact of the Recent War in 2023 on the Cultural Heritage in Gaza Strip - Palestine (7 November 2023)

<https://www.heritageforpeace.org/wp-content/uploads/2023/11/Report-of-the-effects-of-the-last-war-of-2023-on-the-cultural-heritage-in-Gaza-Strip-Palestine-english.pdf>.

408 ANSCH, Report on the Impact of the Recent War in 2023 on the Cultural Heritage in Gaza Strip - Palestine (7 November 2023)

[https://www.heritageforpeace.org/wp-content/uploads/2023/11/Report-of-the-effects-of-the-last-war-of-](https://www.heritageforpeace.org/wp-content/uploads/2023/11/Report-of-the-effects-of-the-last-war-of-2023-on-the-cultural-heritage-in-Gaza-Strip-Palestine-english.pdf)

[2023-on-the-cultural-heritage-in-Gaza-Strip-Palestine-english.pdf](https://www.heritageforpeace.org/wp-content/uploads/2023/11/Report-of-the-effects-of-the-last-war-of-2023-on-the-cultural-heritage-in-Gaza-Strip-Palestine-english.pdf).

409 UNESCO, Anhedon Harbour (2 April 2012), <https://whc.unesco.org/en/tentativelists/5719/>.

410 "Erasing History: The Destruction of Gaza's Cultural Heritage by Israel's War Machine", LBC International (8 December 2023), <https://www.lbcgroup.tv/news/news-bulletin-reports/740070/erasing-history-the-destruction-of-gazas-cultural-heritage-by-israels/en>.

411 UNICEF, UNICEF in the State of Palestine Escalation Humanitarian Situation Report No. 10 (14 December 2023), <https://www.unicef.org/media/150141/file/SoP-Humanitarian-SitRep-14-December-2023.pdf>.

タッフを殺害し、7,259人の生徒と619人の教師を負傷させた。⁴¹²

92. イスラエルは、何世代にもわたってパレスチナ人が礼拝してきた推定318のイスラム教とキリスト教の宗教施設を損壊または破壊した。⁴¹³ これらには、アル・オマリ・グレート・モスクが含まれる。ここは、もともとは5世紀に建てられたビザンチン様式の教会であり、ガザの歴史、建築、文化遺産を象徴するランドマークであり、1000年以上にわたってキリスト教徒とイスラム教徒が礼拝してきた場所である。⁴¹⁴ イスラエルの砲撃はまた、西暦425年に創建され、世界で3番目に古いと考えられている聖ポルフィリウス教会を損傷させ、同時に、他の2つの教会もイスラエルによる直接の砲撃を被っている。⁴¹⁵ ガザのキリスト教徒自身も、彼らが避難所としていた教会の敷地内で、イスラエルの標的にされ、殺害されている。⁴¹⁶

93. ガザに住むパレスチナ人の歴史と遺産を示す物的モニュメントを破壊すると同時に、イスラエルはその遺産を形づくり創造してきたパレスチナ人そのものの破壊を試みようとしてきている。すなわち、ガザの著名なジャーナリスト、教師、知識人や公的立場の人物、医師、看護師、映画制作者、作家、歌手、大学の学部長、病院長、著名な科学者、言語学者、劇作家、小説家、芸術家、音楽家たちである。イスラエルが殺害し、今も殺害を続けているのは著名人だけでなく、パレスチナの語り部や詩人も、パレスチナの農民や漁師も、さらにガザに感銘を与えた人たち含まれる。例えばパティシエのマスード・ムハンマド・アル・カタティは、2023年11月3日、イスラエルによる自宅への空爆で殺害された。彼の店のモットーは「貧しい者たちよ、さあ食べよう」であり、パレスチナで人気のあるお菓子「クナフェ」を貧しい客に配ったことで評判となり、「貧者の父」と呼ばれるようになった。84歳のエルハム・ファラーは、パレスチナでは最も古いクリスチアンの家の出身で、評判のアコーディオン奏者であり、音楽教師であり、何世代ものパレスチナ人音楽学生からくしゃくしゃの赤毛ゆえに「マザー・オレンジ」と呼ばれていたが、⁴¹⁷、ガザ市の聖家族教会の外で、防寒着を取りに帰宅したところをイスラエルの狙撃兵に撃たれ、出血で亡くなるまで放置された。⁴¹⁸ アル・シャイマ・サイダムは高校の最終試験で全パレスチナの最優秀成績をとったが、アル・ヌセイラット難民キャンプへの攻撃で家族とともに殺された。⁴¹⁹ イスラエルは、ガザの公文書館や歴史的建造物の破壊を通してガザのパレスチナ人の公式の記憶や記録を破壊しているのと同様に、墓地を爆破しブルドーザーで破壊し⁴²⁰、家族の記録や写真を

412 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #78 (27 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-78>.

413 Palestine Red Crescent Society, Response Report as of Saturday, October 7th 2023, 6:00 PM Until Sunday, December 24th 2023, 24:00 AM (24 December 2023), <https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/palestine-red-crescent-society-response-report-saturday-october-7th-2023-600-pm-until-sunday-december-24th-2023-2400-am-enar>.

414 "Images show major damage to Gaza's oldest mosque", BBC News (8 December 2023), <https://www.bbc.com/news/world-middle-east-67664853>.

415 "Photos show Gaza's Church of Saint Porphyrius, one of the oldest churches in the world, after the complex was damaged by Israeli airstrikes", Business Insider (24 October 2023), <https://www.businessinsider.com/israel-gaza-war-church-airstrikes-damage-2023-10>.

416 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #72 (18 December 2023), <https://www.unocha.org/publications/report/occupied-palestinian-territory/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-72>.

417 "84-year-old Elham Farah: Accordionist, aunt and Gaza's first ever music teacher killed by Israeli sniper", The New Arab (7 December 2023), <https://www.newarab.com/features/gazas-first-music-teacher-elham-farah-killed-sniper>.

418 Nadda Osman, "Israel-Palestine war: The elderly Christian music teacher killed by Israeli soldiers in Gaza", Middle East Eye (14 November 2023), <https://www.middleeasteye.net/news/israel-palestine-war-christian-music-teacher-killed-gaza>.

419 Nader Durgham, "Israel-Palestine war: Palestine's top student killed by Israeli air strikes", Middle East Eye (17 October 2023), <https://www.middleeasteye.net/news/israel-palestine-war-top-high-school-student-killed>.

420 "Damage to Gaza War Cemetery shows challenge of caring for monuments in conflict zones", Canadian Press (10 November 2023), <https://www.cp24.com/news/damage-to-gaza-war-cemetery-shows->

破壊し、いくつもの多世代家族をまるごと消し去り⁴²¹、子どもたちの世代を殺害し、脚を奪い、心に傷を負わせることで、パレスチナ人の個人的な生活や記憶、歴史や未来を消し去っている。⁴²²パレスチナ人男性の端的な言葉が UNRWA のビデオで次のように引用されている。「これらはすべて私たちの思い出であり、私たちの人生のすべてなのです…。私たちは今、何もかも失いました。みな灰になってしまったのです」。⁴²³

94. イスラエル軍は、ガザ・シティのパレスチナ広場を含め、壊滅的な被害を受けたパレスチナの家屋、町、都市の残骸の上にイスラエル国旗を掲げ⁴²⁴、「ガザをつぶせ」、パレスチナ人の家屋の瓦礫の上にはイスラエル人入植地を再建せよというイスラエル政府内外からの呼びかけに駆り立てられ⁴²⁵、ガザのパレスチナ人の生活基盤そのものを破壊している。イスラエルはそれによって、ガザのパレスチナ人集団に対して、その破壊をもたらすことを意図する生活条件を故意に与えている。

8. パレスチナ人の出産を阻害する措置の強制

95. 以上のようにイスラエルの行動は、特にガザのパレスチナの女性と子どもに深刻な影響を及ぼしており、殺害された人の70%は女性と子どもであると推定されている。ガザでは1時間ごとに2人の母親が殺されていると推定されている。2023年12月11日までに子どもだけでも7,729人以上が殺害され⁴²⁶、少なくとも4,700人の女性と子どもが行方不明であると報じられており、瓦礫の下敷きになっていると見られる。⁴²⁷ 病院への途中も含めて、妊婦も含め、妊婦たちがイスラエル兵に殺害されたという目撃証言が複数ある。⁴²⁸

challenge-of-caring-for-monuments-in-conflict-zones-1.6639255; Christoph Koettl, Christian Triebert, "Satellite Imagery and Video Shows Some Gazan Cemeteries Razed by Israeli Forces", The New York Times (14 December 2023), <https://www.nytimes.com/2023/12/14/world/middleeast/gaza-cemeteries-damage-israel.html>.

421 Mahmoud Mushtaha, "A Second Nakba: Israeli attacks are erasing entire families from Gaza's civil registry", The New Arab (31 October 2023), <https://www.newarab.com/features/gaza-entire-families-being-wiped-out-civil-registry>.

422 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #74 (20 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-74>; UNICEF, Emergency Response Children Trapped In Gaza Conflict Face Generational Trauma (1 November 2023), <https://www.unicefusa.org/stories/children-trapped-gaza-conflict-face-generational-trauma>.

423 Quoted in UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #70 (15 December 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-70>.

424 "Israeli flag raised in symbolic Palestine Square in Gaza City, video shows", CNN (8 December 2023), https://edition.cnn.com/middleeast/live-news/israel-hamas-war-gaza-news-12-08-23/h_7516b0f4b4970e9a01bffb26f1bb4739.

425 "Far-right minister calls for Israel to 'fully occupy' Gaza, reestablish settlements", The Times of Israel (15 December 2023), <https://www.timesofisrael.com/far-right-minister-calls-for-israel-to-fully-occupy-gaza-reestablish-settlements/>.

426 UNICEF, Joint Statement by UNICEF, UNDP, UNFPA, WFP and WHO on Humanitarian Supplies Crossing into Gaza (4 November 2023), <https://www.unicef.org/press-releases/joint-statement-by-unicef-undp-unfpa-wfp-and-who-on-humanitarian-supplies-crossing-into-gaza/>; UN Women, Facts and figures: Women and girls during the war in Gaza (22 December 2023), <https://www.unwomen.org/en/news-stories/feature-story/2023/10/facts-and-figures-women-and-girls-during-the-war-in-gaza>.

427 Red Crescent Society, Palestine Red Crescent Society Response Report As of Saturday, October 7th 2023, 6:00 PM Until Sunday, December 24th 2023, 24:00 AM (24 December 2023), p.1, <https://www.palestinercs.org/public/files/image/2023/News/latestresponse23012023/en%20220%202023.pdf>.

428 "جباليا بمخيم الزعتر تل في والدمار الحصار مشاهد", Al Jazeera (23 December 2023), <https://www.aljazeera.net/videos/2023/12/23/الزعتر-تل-في-والدمار-الحصار-مشاهد>; "Israeli forces 'kill pregnant women in Gaza, run over bodies with bulldozers': report" The New Arab (23 December 2023), <https://www.newarab.com/news/israeli-army-shot-pregnant-women-ran-over-bodies-report>.

96. 妊婦や子ども（新生児を含む）はまた、立ち退きや、食料や水、シェルター、衣服、衛生設備、保健サービスへのアクセス欠如によって、特に影響を受けている。これらの影響は深刻かつ重大である。ガザで毎月出産している約52,000人のパレスチナ人妊産婦のうち、推定5,500人は、清潔な水もなく、医療支援もほとんどなく、「避難所、自宅、瓦礫の路上、あるいは衛生状態が悪化し感染症や医療合併症のリスクが高まっている過密状態の医療施設」など、安全ではない状況で出産している。⁴²⁹ 機能している病院に行くことができる場合でさえ、妊婦は麻酔なしで帝王切開を受けなければならなくなっている。⁴³⁰

97. 輸血用血液を含む重要な医療物資へのアクセスがないため、医師は若い女性の命を救おうと、通常であれば不必要な子宮摘出手術を行わざるを得ないために、彼女たちは以降子どもを産めなくなっている。⁴³¹ 実際、パレスチナ国の保健大臣であるメイ・アル＝カイレ博士は、分娩後異常出血のあったガザのパレスチナ人女性の唯一の選択肢は、命を守るために子宮摘出手術を受けることであると認めている。⁴³² また、抗D注射（Rhプラスの赤ん坊を産んだときにRhマイナスの母親に注射される）のような本来なら利用可能な薬剤の不足も、影響を受けた女性の将来の健康な妊娠の可能性に深刻な影響を及ぼしている。

98. 未熟児出産は25～30%増加したと報道されている。これは、ストレスと心的外傷を抱えた妊婦が、安全を求めて長距離を歩かされたり、爆撃から逃れようとしたり、しばしば劣悪な環境の避難所に押し込められたりするなど、おびただしい困難に直面していることによるものである。特にガザ北部では、胎盤早期剥離（出産時の重篤な病態で、母子ともに生命の危険がある）が2倍以上に増加している。⁴³³

99. イスラエルの行動によってガザではますます多くのパレスチナ人の新生児が十分に予防可能な要因で死亡していると報じられている。生後3カ月までの新生児が、下痢や低体温症 その他の予防可能な要因で死亡している。必要不可欠な設備や医療支援がなければ、未熟児や低体重の新生児が助かる可能性はほとんどない。⁴³⁴ パレスチナ人の新生児は、病院の発電機用の燃料が不足しているために死亡している。⁴³⁵ また、この他に、その世話をしていた医療スタッフがイスラエルによって立ち退きを強いられたため、病院のベビーベッドで腐敗しているのが発見されたり

429 WHO, Women and newborns bearing the brunt of the conflict in Gaza, UN agencies warn (3 November 2023), <https://www.who.int/news/item/03-11-2023-women-and-newborns-bearing-the-brunt-of-the-conflict-in-gaza-un-agencies-warn>.

430 UN News, Interview: 5,500 women in Gaza set to give birth 'in race against death' (7 November 2023), <https://news.un.org/en/interview/2023/11/1143327>.

431 Juzoor for Health and Social Development, The ravages of war: impact on mothers & newborns in Gaza (11 November 2023), https://www.juzoor.org/cached_uploads/download/2023/11/11/maternal-health-report-final-1699726911.pdf;

2023), October (30 Arabic Jazeera Al - تروى-ألؤل - "50", "الف امراً حامل في غزة يواجه مصيراً مجهولاً", <https://www.aljazeera.net/women/2023/10/30/>

432 Interview with Dr Mai Al-Kaileh (Palestinian Minister of Health) on Al Arabiya, 27 December 2023, <https://www.instagram.com/reel/C1W2QFCvmM8/?igsh=Ynk1NjRzdndnaHM5>.

433 Oxfam, Babies dying from preventable causes in besieged Gaza - Oxfam (24 November 2023), <https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/babies-dying-preventable-causes-besieged-gaza-oxfam>.

434 Ibid.

435 UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #44 (19 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-44>; UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #48 (23 November 2023), <https://www.ochaopt.org/content/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-48>.

している新生児もいる。⁴³⁶

100. 2023年11月3日、世界保健機関は、「適切な保健医療を受けられないことから」、ストレスによる流産、死産、早産の増加など、リプロダクティブ・ヘルスに致命的な結果をもたらしており、「妊産婦の死亡が増加することが予想される」と警告した。⁴³⁷ このインパクトは必然的に集団としてのガザのパレスチナ人に対して長期にわたり継続し、深刻化するであろう。2023年11月22日までに、女性と女児に対する暴力に関する国連特別報告者は、次のように明確に警告している。

「イスラエルがパレスチナの女性、新生児、幼児、小児に加えた生殖に関する暴力は…ジェノサイド条約第2条が規定する…『集団内における出生を妨げることを意図する措置』を含む…ジェノサイド行為…と認定されうるものである」。報告者は、「締約国は、ジェノサイド条約に基づくその責任に従って、このような行為を防止し、処罰しなければならない」ことを強調した。⁴³⁸

Ⅱ. イスラエル国家高官らによるパレスチナ人に対するジェノサイドの意図の表明

101. ジェノサイド行為を行い、それを継続する、あるいはそれを防止しないというイスラエル国家当局者の特別な意図 ('*dolus specialis*')の証拠は、2023年10月以降、重要かつ明白になっている。これらの意図の表明は、包囲とともに、現地における殺傷、強制退去、破壊とも相俟って、次々と繰り返されるジェノサイドを証拠だてるものである。これらのなかには、最高位の責任が伴う職階にある以下の人物らによる声明が含まれる。

— イスラエル首相。2023年10月7日、ベンヤミン・ネタニヤフ首相は政府報道局からのビデオ演説でのテレビ演説で、「至る所で強力に軍事作戦を展開する」ことを約束した。⁴³⁹ 2023年10月13日、彼は「我々は今までに例をみない威力で敵を攻撃している…」⁴⁴⁰と正式に発表した。2023年10月15日、イスラエル軍の空爆によって、子ども724人を含む2670人以上のパレスチナ人がすでに殺されていた時点で、⁴⁴¹ 首相は、イスラエル兵は「任務の範囲を理解している」と述べ、「私たちが滅ぼすために（イスラエルに）反旗を翻した血に飢えた怪物を倒す」準備ができてい

436 "Abandoned babies found decomposing in Gaza hospital weeks after it was evacuated", NBC News (2 December 2023), <https://www.nbcnews.com/news/world/abandoned-babies-found-decomposing-gaza-hospital-evacuated-rcna127533>.

437 WHO, Women and newborns bearing the brunt of the conflict in Gaza, UN agencies warn (3 November 2023), <https://www.who.int/news/item/03-11-2023-women-and-newborns-bearing-the-brunt-of-the-conflict-in-gaza-un-agencies-warn>.

438 UN Press Release, Women bearing the brunt of Israel-Gaza conflict: UN expert (20 November 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/11/women-bearing-brunt-israel-gaza-conflict-un-expert> (emphasis added).

439 Prime Minister of Israel, @IsraeliPM, Tweet (10:31 pm, October 7, 2023), <https://twitter.com/IsraeliPM/status/1710769906373775373>.

440 Address by the Prime Minister of Israel, (13 October 2023), <https://www.youtube.com/watch?v=T4HXaZ20M6Q>. Translation in "'Only the beginning' says Netanyahu as Israel makes first raids into Gaza", Reuters (13 October 2023), <https://www.reuters.com/world/middle-east/now-is-time-war-says-israels-military-chief-2023-10-12/>.

441 UNICEF, Immediate Needs Document in the State of Palestine (October - December 2023) (17 October 2023), <https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/immediate-needs-document-state-palestine-october-december-2023>. (Total as of 17:45, 15 October 2023; children as of 12:00, 14 October 2023).

ると述べた。⁴⁴² 2023年10月16日、首相はイスラエルのクネセト[国会を指す：訳注]での公式演説で、事態を「光の子どもと闇の子どもの闘い、人類とジャングルの掟との闘い」⁴⁴³と表現した。この非人間化的なテーマに首相はことあるごとに立ち返り、2023年11月3日のイスラエルの兵士と将校に宛てた書簡はプラットフォーム「X」(旧 Twitter)にも投稿され、その中で「これは光の子どもと闇の子どもの戦争だ。我々は、光が闇に打ち勝つまで、つまり我々と世界全体を脅かす極悪非道の悪に善が打ち勝つまで、そのその任務を諦めない」と述べた。⁴⁴⁴ イスラエル首相はまた、「クリスマス・メッセージ」でもこのテーマに立ち返り、こう述べている。「我々は怪物に立ち向かっている、両親の目の前で子どもを殺害した怪物に…。これは、イスラエルだけがこうした蛮族に立ち向かっているのではなく、野蛮に立ち向かう文明の戦いである」。⁴⁴⁵ 2023年10月28日、イスラエル軍がガザ地上侵攻の準備を進めるなか、首相は聖書に登場するイスラエル人によるアマレク壊滅の物語の物語を引き合いに出し、こう述べた。「聖書には、アマレクが汝らに為したことを憶えよとある。もちろん我々は実際思い出している」。⁴⁴⁶2023年11月3日、首相はイスラエルの兵士と将校に送った書簡の中で、再びアマレクに言及した。⁴⁴⁷ 「さあ、行って、アマレクを討ち、アマレクに属するものはすべて滅ぼし尽くしなさい。容赦してはならない。男も女も、子どもも乳飲み子も、牛も羊も、らくだもろばも打ち殺しなさい」⁴⁴⁸

ー イスラエル大統領。 2023年10月12日、イツハク・ヘルツォグ大統領は、外国メディアに向けた記者会見で、イスラエルがガザで戦闘員と民間人を区別していないことを明言した。すなわち、ガザのパレスチナ人に関連して、そのうち 100 万人以上が子どもであるが、「それはあそこにいる全民族こそが責任を負う。民間人は何も知らないとか、関わり合いがないというレトリックは真実ではない。(…)そして我々はやつらの背骨をへし折るまで戦う」。⁴⁴⁹ 2023年10月15日、大統領はネタニヤフ首相の言葉を引用しながら、外国メディアに向けて「我々は地域全体と世界に善があるように悪を根絶やしにする」と語った。⁴⁵⁰ イスラエル大統領は、ガザに投下される爆弾に手書きの「メッセージ」を書いた多くのイスラエル人の一人である。⁴⁵¹

ー イスラエル国防相。 2023年10月9日、ヨアフ・ガラント国防大臣はイスラエル軍の「状況報告」の中で、イスラエルは「ガザの完全封鎖を実施している。電気もなくなり、食料もなくなり、燃料もなくなる。すべてが封鎖されている。我々は人間の顔をした動物と戦っているので

442 Israel Prime Minister's Office, PM Netanyahu asks Ministers to Rise for a Moment of Silence (15 October 2023), <https://www.gov.il/en/departments/news/spoke-start151023> (emphasis added).

443 Israel Ministry of Foreign Affairs, Press Release: Excerpt from PM Netanyahu's remarks at the opening of the Winter Assembly of the 25th Knesset's Second Session, 16 October 2023, <https://www.gov.il/en/departments/news/excerpt-from-pm-netanyahu-s-remarks-at-the-opening-of-the-knesset-s-winter-assembly-16-oct-2023>.

444 Prime Minister's Office in Hebrew, @IsraeliPM_heb (11:44 am, November 3, 2023), https://twitter.com/IsraeliPM_heb/status/1720406469055500583.

445 Israel Ministry of Foreign Affairs, Christmas message from PM Netanyahu, 24 December 2023, <https://www.gov.il/en/departments/news/christmas-message-from-pm-netanyahu-24-dec-2023>.

446 Address by the Prime Minister of Israel, 28 October 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=lIPkoDk6isc>. Translation in, "Israel-Hamas war: 'We will fight and we will win', says Benjamin Netanyahu", Sky News (28 October 2023), <https://news.sky.com/video/israel-hamas-war-we-will-fight-and-we-will-win-says-benjamin-netanyahu-12995212>.

447 Prime Minister's Office in Hebrew, @IsraeliPM_heb, Tweet (11:43 am November 3, 2023), https://twitter.com/IsraeliPM_heb/status/1720406463972004198.

448 Sefaria, I Samuel 15:1-34, JPS, 1985, https://www.sefaria.org/I_Samuel.15.1-34?lang=bi.

449 Rageh Omaar, "Israeli president Isaac Herzog says Gazans could have risen up to fight 'evil' Hamas", ITV News (13 October 2023), <https://www.itv.com/news/2023-10-13/israeli-president-says-gazans-could-have-risen-up-to-fight-hamas>.

450 President of the State of Israel, @Isaac_Herzog, Tweet (10 pm, October 15, 2023), https://twitter.com/Isaac_Herzog/status/1713661051986678189.

451 President of the State of Israel, @Isaac_Herzog, Tweet (5:16 pm, December 25, 2023), https://twitter.com/Isaac_Herzog/status/173933430267074594.

あり、相応の行動をとっている」。⁴⁵²彼はまた、ガザとの境界地帯にいる部隊に向かって「あらゆる制限を解除した」と指示し⁴⁵³、さらに次のように述べた。「ガザは以前のような状態には戻ることはない。我々はすべてを消し去るであろう。1日で成し遂げられないなら1週間か数週間か、あるいは数か月かかるかもしれないが、我々はあらゆる場所に行くであろう」。⁴⁵⁴このとき大臣はイスラエルが「全面的な反撃」に移行しつつあるとし、イスラエル軍の「あらゆる制限は解除してある」と述べた。⁴⁵⁵

— イスラエル国家安全保障大臣。2023年11月10日、イタマル・ベン=グヴィルはテレビ演説で政府の立場を明らかにし、次のように述べた。「言うておくが、ハマースを壊滅させるべきだというとき、ハマースを賞賛する者たち、支援する者たち、キャンディを配りながら支持を示す者たちもまとめてということだ。彼らもみなテロリストであり、こうした者達も破壊すべきなのだ」⁴⁵⁶

— イスラエル・エネルギーおよび社会基盤担当大臣。2023年10月13日、イスラエル・カッツは次のようにツイートしている。「ガザにおけるあらゆる民間人は直ちに退去するよう命じる。我々は勝利するであろう。彼らは、この世から去るまで、一滴の水も一個の電池も受け取ることはないであろう」。⁴⁵⁷2023年10月12日には、次のようにツイートした。「ガザへの人道支援？イスラエルの拉致被害者が帰還するまで、電気のスイッチは入らず、給水栓も開かず、燃料トラックも入れない。人道主義のための人道主義だ。だから、私たちに道徳を説教する者は誰もいないだろう」。⁴⁵⁸

— イスラエル財務大臣。2023年10月8日、ベザレル・スモトリッチはイスラエル内閣の会で、「過去50年間になかったような打撃を与え、ガザを崩壊させる必要がある」と述べた。⁴⁵⁹

452 Statement by Yoav Gallant, 9 October 2023, 9 October 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=1nxvS9VY-t0>. Translation in Emanuel Fabian, "Defense minister announces 'complete siege' of Gaza: No power, food or fuel", The Times of Israel (9 October 2023), https://www.timesofisrael.com/liveblog_entry/defense-minister-announces-complete-siege-of-gaza-no-power-food-or-fuel/.

453 Filmography: Ariel Harmoni, Ministry of Defense, Kipa News, 10 October 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=l9wx7e4u-xM>. Translation in Emanuel Fabian, "Gallant: Israel moving to full offense, Gaza will never return to what it was", The Times of Israel (10 October 2023), https://www.timesofisrael.com/liveblog_entry/gallant-israel-moving-to-full-offense-gaza-will-never-return-to-what-it-was/.

454 Filmography: Ariel Harmoni, Ministry of Defense, Kipa News, 10 October 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=l9wx7e4u-xM>. Translation in "Israeli Defense Minister Warns Hamas 'Will Regret' Deadly Attacks", Bloomberg (10 October 2023), <https://www.youtube.com/watch?v=vtjHcnNB0E8>.

455 Bill Hutchinson, "Bombarded by Israeli airstrikes, conditions in Gaza grow more dire as power goes out", ABC News (12 October 2023), <https://abcnews.go.com/International/bombarded-israeli-airstrikes-conditions-gaza-grow-dire-power/story?id=103899193#:~:text=The%20airstrikes%20were%20launched%20by,have%20been%20hit%20in%20Gaza.>

456 Interview with Itamar Ben-Gvir on Channel 12, 11 November 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=2yRl-cc-03w> [10:30 onwards]. Translated by Quds News Network, @QudsNen, Tweet (7:28 pm, November 12, 2023), <https://twitter.com/QudsNen/status/1723784790682358189>.

457 Israel Katz, Minister of Energy and Infrastructure, Member of the Political-Security Cabinet, Member of Knesset, @Israel_katz, Tweet (6:01 pm, October 13, 2023) https://twitter.com/Israel_katz/status/1712876230762967222.

458 Israel Katz, Minister of Energy and Infrastructure, Member of the Political-Security Cabinet, Member of Knesset, @Israel_katz, Tweet (7:34 am, October 12, 2023) https://twitter.com/Israel_katz/status/1712356130377113904. Translation in "First Thing: no power, water or fuel for Gaza until hostages are freed, Israel says", The Guardian (12 October 2023), <https://www.theguardian.com/us-news/2023/oct/12/first-thing-no-power-water-fuel-gaza-until-hostages-freed-israel-says>.

459 "By abducting over 100 people into Gaza, Hamas has put Netanyahu in a political bind", The

— イスラエル遺産大臣。2023年11月1日、アミハイ・エリヤフ[訳注：アミハイ・エリヤフとも書かれる]はFacebookに次のように投稿した。「ガザ北部は、かつてないほど美しくなっている。すべてが爆破され崩れ落ち、とても目を楽しませてくれる…。我々は戦後について語らなければならない。私としては、長年ガザのために闘ったすべての人たちや、グッシュ・カティーフ(旧イスラエル入植地)から立ち退かされた人たちに、区画を与えるつもりだ」⁴⁶⁰後に彼は、「ナチスであってもあなたは人道支援を提供するのか」「ハマースと無関係の民間人などというものはガザにはいない」として、人道支援に反対すると主張した。⁴⁶¹ また、彼は、ガザ地区への核攻撃も示唆した。⁴⁶²

— イスラエル農業大臣。2023年11月11日、アヴィ・ディクターはテレビのインタビューで、新たにイスラエル国が建国された際、パレスチナ住民の80%以上が家を追われたり、避難したりした1948年のナクバを想起し、「我々は今、実際にガザでのナクバを繰り広げているのだ」と述べた。⁴⁶³

— クネセト副議長、外交安全保障委員会委員。2023年10月7日、ニシム・ヴァトゥリは次のように「ツイート」した。「ガザ地区を地上から消し去るという共通の目標がある。それができない者は更迭される(ことになる)」。⁴⁶⁴

102. 同様の発言は、イスラエル軍の高官、顧問、報道官、ガザに展開しているイスラエル軍と共に活動するその他の関係者たちからもなされている。

— イスラエル占領地政府活動調整官(COGAT)。2023年10月9日、COGATの公式チャンネルが公開したハマースとガザ住民に向けたビデオ声明で、ガッサン・アリアン少将は次のように警告した。「ハマースはISISとなり、ガザの民間人は恐怖におののく代わりに祝福している。獣はそれ相応の扱いを受ける。我々はガザを完全に封鎖した。電気も水も断ち、与えるのは破壊だけだ。お望みとあらば、地獄を見せてやろう」⁴⁶⁵

Times of Israel (8 October 2023), <https://www.timesofisrael.com/by-abducting-over-100-people-into-gaza-hamas-has-put-netanyahu-in-a-political-bind/>.

⁴⁶⁰ Amichai Eliyahu, Facebook Post (1 November 2023), <https://www.facebook.com/eliyau.a/videos/148918588283326/>.

⁴⁶¹ Gili Cohen, Dov Gil-Har, Itay Blumenthal, Sulieman Masvidan, "Minister Amichai Eliyahu: Atomic bomb on Gaza? This is one of the possibilities", Kan (5 November 2023), <https://www.kan.org.il/content/kan-news/politic/596470/>.

Translation in "Far-right minister: Nuking Gaza is an option, population should 'go to Ireland or deserts'", The Times of Israel (5 November 2023), https://www.timesofisrael.com/liveblog_entry/far-right-minister-nuking-gaza-is-an-option-population-should-go-to-ireland-or-deserts/.

⁴⁶² Ibid. The radio comment was criticised by the Prime Minister. Prime Minister of Israel, @IsraeliPM, Tweet (8:05 am, November 5, 2023), <https://twitter.com/IsraeliPM/status/1721076229518823826>. The Prime Minister's Office announced that the MK had been suspended from government meetings until further notice, although he reportedly voted in a meeting later that day. "Netanyahu 'suspended' the minister who did not fire an atom bomb on Gaza - even though there is no such option in the government regulations", Yedioth Ahronoth (5 November 2023), <https://www.ynet.co.il/news/article/rjd15ebm6>.

⁴⁶³ Interview with Avi Dichter on Channel 12. Hanno Hauenstein, @hahauenstein, Tweet (8:42 pm, November 11, 2023), <https://twitter.com/hahauenstein/status/1723441134221869453>.

⁴⁶⁴ Nissim Vaturi, Deputy Speaker of the Knesset. Member of the Foreign Affairs and Security Committee, @nissimv, Tweet (5:33 pm, October 7, 2023)

<https://twitter.com/nissimv/status/1710694866009596169>. Translation in "Public Statement: Scholars Warn of Potential Genocide in Gaza", Opinio Juris (18 October 2023), <https://opiniojuris.org/2023/10/18/public-statement-scholars-warn-of-potential-genocide-in-gaza/>.

⁴⁶⁵ Video address by Ghassan Aljan, 10 October 2023, <https://www.youtube.com/shorts/5a0EWv-o7mE>.

ー イスラエル陸軍予備役少将、元イスラエル国家安全保障会議議長、国防省顧問。⁴⁶⁶

2023年10月7日、ギオア・アイランドは、イスラエルによるガザへの水と電気の遮断命令について、オンラインジャーナルにこう書いた。「これがイスラエルが開始したことだ。我々はガザ地区への電気、水、軽油の供給を断ち切った。…。しかし、これでは十分ではない。包囲を効果的なものにするためには、他国からのガザへの援助を阻止しなければならない…。人々には、2つの選択肢があることを告げる必要がある。とどまって飢えるか飢えるか、出て行くか、この二つの選択だ。人々がガザで滅びるのをエジプトや他の国々が望むというなら、それもひとつの選択だ」。⁴⁶⁷ 同日、彼は全国紙で、「戦争をしているときには相手の国に食料をやったりしないし、電気もガスも水も何も渡さない。… もっと多様な手段で攻撃し、相手国を機能不全の瀬戸際に追い詰める。(ガザでも) そのように進展していく」。⁴⁶⁸ 彼は、ガザに人道的危機をもたらすことがイスラエルにとって有益であると繰り返し主張し、「イスラエルはガザ地区が復興することに何の関心も持っておらず、このことはアメリカ人たちに対しても明確にしなければならない重要な点だ」⁴⁶⁹と述べた。そして「もし我々が人質の生還を強く望むのであれば、唯一の方法はガザに深刻な人道的危機をもたらすことだ」⁴⁷⁰とした。彼は、次のように言って、水を標的にすべきだと示唆した。ガザでは水は「飲用に適さない塩水の井戸水に頼っており、浄水施設があるのだ。イスラエルはこれらの施設を攻撃するべきだ。全世界がイスラエルの狂気だ、人道上の大災害だと言うなら、我々はこう答える。これが目的ではない、手段なのだ」。⁴⁷¹ 2023年10月12日のタイムズ・ラジオ社のインタビューで、彼は、軍隊がすべきことを以下のように繰り返し述べた。

「ガザに最大級の圧力をかける。そうすればガザは人々が住めない地域になる。ハマースが壊滅させられるまで人々は住むことができない。つまり、イスラエルは、… 過去20年間に行ったように、電気・軽油・水・食料の供給を止めるだけでなく、… 他からのいかなる援助も阻止しなければならず、何週間も何ヶ月も続くような、恐ろしい、耐え難い状況をガザに作り出すのだ」。⁴⁷²

ギオラ・アイランドは、このメディアでのインタビューで、ガザを居住不可能な場所にするべきだとの主張を繰り返し、「イスラエル国家には、ガザを一時的にせよ恒久的にせよ居住不可能な場所にする以外の選択肢はない」とまで断言した。⁴⁷³ 2023年11月6日のインタビューでは、「もしシファ（病院）での軍事作戦の意図があるとするれば、それを避けられないと私は思うのだが、私が願うのは、CIAのトップは、たとえ結果として何千人もの民間人の死体が路上に散乱したとしても、なぜそれが必要なのか、なぜアメリカは最終的にこのような軍事作戦であっても支持すべ

466 "Former security officials and strategic advisor: the 'cabinet' established by Gallant for himself", Yedioth Ahronoth (26 October 2023), <https://www.ynet.co.il/news/article/r1zlcnoqa>.

467 Giora Eiland, "A new turning point in the history of the State of Israel. Most people don't understand that", Fathom (7 October 2023), <https://fathomjournal.org/opinion-a-new-turning-point-in-the-history-of-the-state-of-israel-most-people-dont-understand-that/> (emphasis added).

468 Giora Eiland, "The state of Gaza has started a war against Israel - and it should be fought accordingly", Mako (7 October 2023), https://www.mako.co.il/news-columns/2023_q4/Article-fcf787ad0ba0b81027.htm (emphasis added).

469 Interview with Giora Eiland on Kann News, 17 November 2023. Kann News, @kann_news, Tweet (6:42 pm, November 17 2023), https://twitter.com/kann_news/status/1725585143333622129 (emphasis added).

470 Ariel Whitman, "Giora Eiland outlines plan to get hostages back alive", Globes (8 October 2023), <https://en.globes.co.il/en/article-giora-eiland-outlines-plan-to-get-hostages-back-alive-1001459631> (emphasis added).

471 "How should one respond to the massacre of hundreds?", Yedioth Ahronoth (print) (9 October 2023), <https://drive.google.com/file/d/1l50w2T0Na20BcoL2yautiobij8ldNsVK/view>.

472 How Israel plan to 'destroy Hamas' | Major General Giora Eiland, 12 October 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=CRHz0dZwF2A>.

473 Giora Eiland, "This is not revenge. It's either us or them", Yedioth Ahronoth (10 October 2023), <https://www.ynet.co.il/yedioth/article/yokra13625377> (emphasis added).

きなのかについての説明を受けることだ」と提案した。⁴⁷⁴ さらに彼は、「イスラエルはガザに人道危機を引き起こす必要がある。それによって何万何十万人もの人々がエジプトや湾岸地域に避難するように仕向けるのだ。...ガザは人間が存在できない場所になる」。⁴⁷⁵ ヘルツォーク大統領の言葉に倣い、彼は繰り返し、ハマースの戦闘員とパレスチナの民間人を区別すべきではないと次のように強調している。

「ガザの "貧しい" 女性たちとは誰なのか？みんな殺し屋ハマースの母親か姉妹か妻たちだ。一方で彼女たちはハマースの組織を支えるインフラの一部であるが、他方でもし彼女たちが人道的災難を経験すれば、ハマースの戦闘員や下級指揮官の何人かは、戦争が無益だと理解し始めるだろうと想定できる...。国際社会は、ガザでの人道的災害や深刻な伝染病について我々に警告している。我々は、いかに困難であろうとも、このことから逃げてはならない。結局のところ、ガザ地区南部で深刻な伝染病が蔓延すれば、勝利はさらに近づくことになるだろう...。戦争の終結をもたらすのは、まさにガザの民間の崩壊なのだ。イスラエルの高官たちがメディアで『我々か奴らか』と言うとき、私たちは『奴ら』とは誰なのかという疑問をはっきりさせるべきである。『奴ら』とは、武器を持ったハマースの戦闘員だけでなく、病院管理者や学校管理者を含むすべての『民間人』の関係者、さらには10月7日にハマースの残虐行為を熱狂的に支持し喝采を送った、ガザの全住民のことである」⁴⁷⁶

— イスラエル陸軍予備役兵士の「戦意高揚スピーチ」。2023年10月11日、95歳のイスラエル陸軍予備役エズラ・ヤチン（1948年のナクバにおけるデイル・ヤシン虐殺の帰還兵）は、地上侵攻に先立ちイスラエル兵の「士気を高める」ために予備役として召集されたと報じられている。彼がイスラエル陸軍の迷彩服を着てイスラエル陸軍の車両で移動しながら、兵士をジェノサイドを起こせと兵士を煽り、その様子が次のようにソーシャルメディアに流された。「勝利者となり、とどめを刺せ、誰ひとり残すな。跡形なく消しされ、全員だ、家族も母親も子どもも。ケダモノは生き延びられないのだ。... ユダヤ人よ、銃をとり、追い詰めて殺すのだ。近所のアラブ人にも遠慮などいらない、ヤツの家に行って皆殺しだ。攻め込もう、今度こそ。進もう、邪魔なものは壊せ、家も壊せ、次の家も壊せ。我々の全力をもって、完全に破壊する。進め。壊せ。夢にも思わなかったことが、この通り、現実となってきたのだ。爆弾を落とせ、やつらを消してしまえ」。⁴⁷⁷

— イスラエル陸軍の航空作戦隊長。ギラード・キナン中佐は、2023年10月28日、空軍との関係について「IDFのすべての組織は明確な目標の下、すなわちハマースが手を触れたものはすべて破壊するために協力している」と述べた。⁴⁷⁸

474 "Ex-top general: IDF op against Hamas at Shifa Hospital inescapable; US must back it", The Times of Israel (6 November 2023), https://www.timesofisrael.com/liveblog_entry/ex-top-general-idf-op-against-hamas-at-shifa-hospital-inescapable-us-must-back-it/ (emphasis added).

475 Giora Eiland, "It's time to rip off the Hamas band-aid", Yedioth Ahronoth (12 October 2023), <https://www.ynetnews.com/article/sju3uabba> (emphasis added).

476 Giora Eiland, "Let's not be intimidated by the world", Yedioth Ahronoth (print) (19 November 2023), in Bezalel Smotrich, Minister of Finance, Chairman of the Religious Zionist Party, @bezalelsm, Tweet (11:20 am, November 19, 2023), <https://twitter.com/bezalelsm/status/1726198721946480911>. Translation by Talula Sha, Tweet (19 November 2023), <https://twitter.com/TalulaSha/status/1726267178201362438> (emphasis added).

477 Bazz News, @1717Bazz, Tweet (7:39 pm, October 11, 2023), <https://twitter.com/1717Bazz/status/1712176168823107986>. Translation by Middle East Eye, @MiddleEastEye, Tweet (8:48 pm, October 13, 2023), <https://twitter.com/MiddleEastEye/status/1712918166437806294> (emphasis added).

478 Israel Defense Forces, @idfonline, Tweet (6:23 am, October 28, 2023), <https://twitter.com/idfonline/status/1718136442805686351>. Informal translation, emphasis added.

ー イスラエル陸軍第2908大隊司令官。2023年12月21日にオンライン投稿されたビデオの中で、ヤイル・ベン・ダヴィドは、イスラエル軍は「ベイト・ハヌーンに入り、そこでナブルスのシメオンとレビのように振る舞った」と述べ、イスラエル陸軍が完全に荒廃させたガザ北部の都市を指して、「ガザ全体がベイト・ハヌーンのようになるべきだ」と語った。⁴⁷⁹ 問題の聖書の一節にはこうある。「三日目になって、男たちがまだ傷の痛みを覚えていたとき、ヤコブの二人の子、ディナの兄弟シメオンとレビは、それぞれ剣を取って難なく町に入り、男たちをすべて殺した」た。⁴⁸⁰

103. イスラエルの意思決定者と軍関係者による上記の表明は、それ自体、ガザのパレスチナ人を集団「そのもの」として破壊する明確な意図を示している。それらはまた、直接かつ公然の明確なジェノサイド教唆であり、抑制も処罰もされていない。現地でのイスラエル軍の行動（殺傷された膨大な数の民間人、ガザでもたらされた強制避難・壊滅・破壊行為の規模など）から明確に推測されるのは、こうしたジェノサイドの声明や指示が、パレスチナの人々に対して実行されているということである。ガザで活動する現地駐在の兵士も含むイスラエル軍兵士の新たな証拠から導き出される推論もまた明白かつ必然的なものである。すなわち、

ー イスラエル軍大佐、COGAT副責任者。バル-シュシエト大佐は、ベイト・ラヒア（ガザの中でも特に破壊が激しかったといえる地域のひとつ）で撮影され、2023年11月4日にイスラエルのテレビで放送されたビデオで、次のように述べた。「ここに戻ってくる者は、もし戻ってきたとしても、焦土と化した大地を見ることになるだろう。家もなければ農地も何もない。彼らに未来はない」。同じビデオに収録されている別の陸軍大佐（予備役）のエレズ・エシエルも次のようにコメントしている。「復讐には偉大な価値がある。これは彼らが我々にしたことに対する復讐だ...ここは耕作不能になる。彼らはここには住めない」。⁴⁸¹

ー イスラエル軍兵士たち。2023年12月5日、制服姿のイスラエル軍兵士が「奴らの村が燃えますように、ガザが消し去られますように」と繰り返し踊り歌う姿が撮影されている。⁴⁸² その2日後、2023年12月7日にも、ガザの別の場所で「われわれはモットーを知っている。無関係な民間人なんていない」「アマレクの種子を一掃する」と踊り繰り返し歌う様子が映像に収められている。⁴⁸³

104. 注目すべきは、兵士たちがガザに「無関係な民間人なんていない」「アマレクの種を一掃する」と繰り返し歌っている2つ目のビデオが、2023年12月7日に撮影されたことだ。その日までに、ガザでは17,177人のパレスチナ人が殺され、その70%は女性と子どもだったと推定されている。2023年12月7～8日はパレスチナ人にとって特に悲惨な日で、24時間の間に350人が殺され、

479 Yair Ben David, Commander in the 2908th Battalion, statement, 20 December 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=NK8ZnGKspeI>. Translation in "War on Gaza: Israeli commander vows to flatten 'entire' Gaza Strip", Middle East Eye (21 December 2023), <https://www.middleeasteye.net/news/war-gaza-israeli-commander-vows-flatten-entire-gaza-strip>.

480 Genesis 34:25 (NJPS 1985), <https://www.sefaria.org/Genesis.34.25?lang=bi&with=all&lang2=en> (emphasis added).

481 Channel 14 segment, 4 November 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=fqEj3DzadiM>: "Special documentation from the heart of Gaza: this is how our forces fight deep in enemy territory", Now 14 (5 November 2023), <https://www.now14.co.il/נלחמים-כוחותינו-כך-עזה-מלב-מיוחד-תיעוד>.

482 Video of Kobi Peretz with soldiers, 17 November 2023, <https://www.youtube.com/watch?v=xCH2o4c5KZY> (emphasis added).

483 Yinon Magal, @YinonMagal, Tweet (6:44 am, 7 December 2023) <https://twitter.com/YinonMagal/status/1732652279461757102>. Translation by Middle East Eye, @MiddleEastEye, Tweet (1:30 pm, December 8, 2023) <https://twitter.com/MiddleEastEye/status/1733116719668113618> (emphasis added).

これはガザのパレスチナ人が約4分に1人の割合で殺されたことになる。⁴⁸⁴

105. このような政府高官や軍高官のジェノサイドのレトリックは、イスラエルのクネセトの閣僚以外の議員（「MK」）の間にも広まり、一般的なものとなっている。彼らは繰り返し、ガザを「一掃」⁴⁸⁵し、「平に」⁴⁸⁶し、「消し去り」⁴⁸⁷、「全ての住民を粉微塵に」するよう呼びかけている。⁴⁸⁸ 国会議員たちの中には、「関与していない者など誰もいない」と繰り返して「関与していない」ガザ民間人を「気の毒に思う」ような人を公然と叱責する者、⁴⁸⁹「ガザに罪のない人などいない」と主張する者⁴⁹⁰、「女性や子どもを殺した犯人をガザの市民と区別すべきではない」⁴⁹¹と主張する者、「ガザの子どもたちが自ら招いたことだ」⁴⁹²と主張する者、「そこにいる全員に判決はひとつで十分、死刑だ」と主張する者もいる。⁴⁹³ 国会議員たちは、「ガザ出身者は、『罪のない民間人』といえども、積極的に加担してきた残酷で怪物のような者たちであることを忘れてはならない...人道的なジェスチャーは通用しない--アマレクの記憶には断固抗議しなければならず」⁴⁹⁴「ガザ住民の飢えと渇きなくして我々は協力者を募ることはできない」と述べた。⁴⁹⁵ 国会議員たちはまた、「空から」の「容赦のない」爆撃を行うことを要求し⁴⁹⁶、核兵器（「終末」兵器）の使用を呼びかけ⁴⁹⁷、「48年のナクバを凌駕するナクバ」を呼びかけている。

⁴⁹⁸

⁴⁸⁴ UN OCHA, Hostilities in the Gaza Strip and Israel | Flash Update #62 (7 December 2023), <https://www.unocha.org/publications/report/occupied-palestinian-territory/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-62-enar>.

⁴⁸⁵ Revital Gottlieb, @TallyGotliv, Tweet (5:10 pm, October 29, 2023), <https://twitter.com/TallyGotliv/status/1718676748542296207>.

⁴⁸⁶ Interview with Katrin "Keti" Shitrit-Peretz on Now 14, 1 November 2023: Now 14, @Now14Israel, Tweet (9:50 pm, November 1, 2023), <https://twitter.com/Now14Israel/status/1719834297832526215>; Revital Gottlieb, @TallyGotliv, Tweet (10:41 am, October 10, 2023), <https://twitter.com/TallyGotliv/status/1711678420235534705>.

⁴⁸⁷ Galit Atbaryan, @GalitDistel, Tweet (12:13 pm, November 1, 2023), <https://twitter.com/galitdistel/status/1719689095230730656>.

⁴⁸⁸ Eliyahu Revivo, @revivoelياهو, Tweet (2:46 pm, November 1, 2023), <https://twitter.com/revivoelياهو/status/1719727722459508915>.

⁴⁸⁹ Revital Gottlieb, @TallyGotliv, Tweet (3:46 pm, December 7, 2023), <https://twitter.com/TallyGotliv/status/1732788632430186872>.

⁴⁹⁰ Avigdor Lieberman, @AvigdorLieberman, Tweet (6:45 pm, November 30, 2023), <https://twitter.com/avigdorliberman/status/1730297081959530685> (emphasis added).

⁴⁹¹ Interview with Katrin "Keti" Shitrit-Peretz on Now 14, 1 November 2023: Now 14, @Now14Israel, Tweet (9:50 pm, November 1, 2023), <https://twitter.com/Now14Israel/status/1719834297832526215> (emphasis added).

⁴⁹² Meirav Ben-Ari, Knesset Session, 16 October 2023, https://www.facebook.com/watch/live/?ref=watch_permalink&v=3497251110531404 [2:29:57] (emphasis added). Translation by Jonathan Ofir, "Israeli Politician Says 'Children of Gaza Have Brought This Upon Themselves'", Truthout (18 October 2023), <https://truthout.org/articles/israeli-politician-says-children-of-gaza-have-brought-this-upon-themselves/>.

⁴⁹³ "MK Yitzhak Kroizer: 'The Gaza Strip should be wiped off the map'", Galey Israel (5 November 2023) <https://www.gly.co.il/item?id=30587>. Translation in "Fire Israel's Far Right", Haaretz (6 November 2023), <https://www.haaretz.com/opinion/editorial/2023-11-06/ty-article/.premium/fire-israels-far-right/0000018b-a11c-dc0b-a1cb-e5de69890000>.

⁴⁹⁴ Boaz Bismuth, @BismuthBoaz, Tweet (8:02 am, October 16, 2023) <https://twitter.com/BismuthBoaz/status/1713812686784311358>.

⁴⁹⁵ Statement by Revital Gottlieb in the Knesset, 23 October 2023: Knesset Channel, @KnessetT, Tweet (6:10 pm, October 23, 2023), <https://twitter.com/KnessetT/status/1716502486331113922>.

⁴⁹⁶ Revital Gottlieb, @TallyGotliv, Tweet (7:39 am, December 13, 2023), <https://twitter.com/TallyGotliv/status/1734840416522948800>.

⁴⁹⁷ Revital Gottlieb, @TallyGotliv, Tweet (5:59 pm, October 9, 2023) <https://twitter.com/TallyGotliv/status/1711426284322996613>.

⁴⁹⁸ Ariel Kallner, @ArielKallner, Tweet (10:29 pm, October 7, 2023), <https://twitter.com/ArielKallner/status/1710769363119141268>. Translated in the New Arab: "'Erase Gaza': How genocidal rhetoric became normalised in Israel", The New Arab (30 November 2023),

106. 同様のジェノサイド的なレトリックはイスラエルの市民社会でも一般的で、イスラエルのメディアではジェノサイド的なメッセージが、非難や制裁を受けることなしに日常的に放送されている。メディアは、ガザを「抹殺し」⁴⁹⁹、「屠殺場」にするよう求め⁵⁰⁰、「ハマースを排除すべき」というよりも、むしろ「ガザを壊滅させるべき」⁵⁰¹と繰り返し、「罪のない者はいない...人間などはいない。250万人のテロリストがいるのだ」⁵⁰²と主張している。ある地方政府関係者は、ガザをアウシュビッツ博物館のように「荒廃し破壊された」場所として「そこに住んでいた人々の狂気を示す」ものにすべきだと訴えたと報じられている。⁵⁰³ 元国会議員の中には、イスラエル軍...破壊を要求する者⁵⁰⁴....「不道徳」だと主張する者もいる。⁵⁰⁵ あるイスラエルのニュースインタビューで、また別の元国会議員がガザのパレスチナ人は殺されるべきだとして次のように呼びかけた。

「言うておくが、ガザでは奴等は例外なく皆テロリストであり、犬畜生だ。奴等は絶滅させねばならない。奴等は皆殺しにすべきだ。我々はガザを更地にし塵に変え、軍がこの地を清めるだろう。そして、我々のために、何よりも我々の安全のために、新しい地域の建設を始めるのだ」⁵⁰⁶。

107. 元国会議員やニュースキャスターを含むイスラエル社会の著名人によるこれらの発言は、イスラエル当局によって放置され、処罰もされず、直接かつ公然の明確なジェノサイド教唆である。このような感情がイスラエル社会に広く浸透し、主流となって現われているということは、ガザで兵役に就いている兵士の大半が予備役であり、市民社会から引き抜かれ、情報を得ている状況においては、特に懸念すべきことである。

E. パレスチナ人に対するイスラエルのジェノサイドの意図の認識

108. 以上に示したことにより、多くの締約国は、ガザに関するイスラエルの発言はジェノサイドの意図を示すものと正しく認識している。この評価は、少なくとも2023年10月中旬以降、パレスチナの人々がイスラエルによるジェノサイドの重大なリスクにさらされていると繰り返し警告してきた国連の相当数の専門家たち専門家たちにも共有されている。例を挙げる。

[https://www.newarab.com/analysis/erase-gaza-how-genocidal-rhetoric-normalised-israel and informal translation.](https://www.newarab.com/analysis/erase-gaza-how-genocidal-rhetoric-normalised-israel-and-informal-translation)

499 Interview with Eyal Golan on Now 14, 15 October 2023: Now 14, @Now14Israel, Tweet (1:24 pm, October 15, 2023),

[https://twitter.com/Now14Israel/status/1713531211300167928.](https://twitter.com/Now14Israel/status/1713531211300167928)

500 David Mizrahy Verthaim, @dverthaim, Tweet (4:52 pm, October 7, 2023),

[https://twitter.com/dverthaim/status/1710684531114602891.](https://twitter.com/dverthaim/status/1710684531114602891)

501 Moshe Feiglin, @moshefeiglin, Tweet (6:16 am, October 12, 2023),

[https://twitter.com/moshefeiglin/status/1712336429982846977.](https://twitter.com/moshefeiglin/status/1712336429982846977)

502 Interview with Eliyahu Yossain on Now 14 Israel, 29 October 2023: Now 14, @Now14Israel, Tweet (9:32 pm, October 29, 2023), [https://twitter.com/Now14Israel/status/1718742747455053922.](https://twitter.com/Now14Israel/status/1718742747455053922)

Translated by Ahmed Eldin, Instagram Post (30 October 2023)

[https://www.instagram.com/reel/CzB77tJrjtW/.](https://www.instagram.com/reel/CzB77tJrjtW/)

503 "Israel should make Gaza look like Auschwitz - council head", Jerusalem Post (17 December 2023), [https://www.jpost.com/israel-hamas-war/article-778367.](https://www.jpost.com/israel-hamas-war/article-778367)

504 Interview with Moshe Feiglin on Aljazeera, 25 October 2023,

[https://www.aljazeeramubasher.net/news/politics/2023/10/25/سیناریو-لتکرار-یدعو-سابق-کنیست-عضو.](https://www.aljazeeramubasher.net/news/politics/2023/10/25/سیناریو-لتکرار-یدعو-سابق-کنیست-عضو)

505 Galit Distel Atbaryan, @GalitDistel, Tweet (12:13 pm, November 1, 2023),

[https://twitter.com/galitdistel/status/1719689095230730656.](https://twitter.com/galitdistel/status/1719689095230730656)

506 "Former Israeli Knesset member calls on the complete destruction of Gaza", Middle East Eye (25 December 2023), [https://www.middleeasteye.net/live-blog/live-blog-update/former-israeli-knesset-member-calls-complete-destruction-gaza.](https://www.middleeasteye.net/live-blog/live-blog-update/former-israeli-knesset-member-calls-complete-destruction-gaza)

— 2023年10月19日、9人の国連特別報告者は「ガザではイスラエルによる人道に対する罪につながる軍事行動が続いている。ガザでの軍事行動と西岸地区での逮捕と殺害のエスカレーションを伴うイスラエルの政治指導者とその支持者たちの発言を考慮すると、パレスチナの人々に対するジェノサイドのリスクも存在する」⁵⁰⁷と警告し、「警鐘」を鳴らした。

— 2023年10月27日、国連人種差別撤廃委員会は、「10月7日以降、特にインターネットやソーシャルメディア上で、高官、政治家、国会議員、公人などによるものを含むパレスチナ人に向けられた人種差別的なヘイトスピーチや非人間化する言動が急増していることを強く懸念する。特にイスラエルのヨアフ・ガラント国防相が10月9日に行った声明では、パレスチナ人を『人間の顔をした動物』と呼び、ジェノサイド行動を誘発しうる表現をしている」と強調した。⁵⁰⁸

— 2023年10月18日、ニューヨークの国連人権高等弁務官事務所（「OHCHR」）所長は、ガザの状況は「完全なジェノサイド事例だ」と記した辞任声明が広く報道されたのちに辞任した。

509

— 2023年11月2日、8人の特別報告者が「パレスチナの人々がジェノサイドの重大なリスクにさらされていることを引き続き確信している」と警告した。報告者たちは「今こそ行動を起こす時だ」と述べ、「イスラエルの同盟国も責任を負っており、その悲惨な行動を防ぐために今すぐ行動しなければならぬ」と強調した。⁵¹⁰

— 2023年11月16日、15人の国連特別報告者と21人の国連ワーキンググループのメンバーは、「イスラエルが10月7日の後にパレスチナ人に対し、特にガザで行った著しい違反行為は、ジェノサイドが進行していることを示している」と警告した。この声明の中で、「ジェノサイドの教唆が強まり、『占領下にあるパレスチナの人々を滅ぼす』という意図の表明があからさまになって

507 UN OHCHR, Gaza: UN experts decry bombing of hospitals and schools as crimes against humanity, call for prevention of genocide (19 October 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/10/gaza-un-experts-decry-bombing-hospitals-and-schools-crimes-against-humanity> (emphasis added). The statement was made by Pedro Arrojo Agudo, Special Rapporteur on the human rights to safe drinking water and sanitation; Francesca Albanese, Special Rapporteur on the situation of human rights in the Palestinian Territory occupied since 1967; Reem Alsalem; Special Rapporteur on violence against women and girls; Paula Gaviria Betancur, Special Rapporteur on the human rights of internally displaced persons; Michael Fakhri, Special Rapporteur on the right to food; Tlaleng Mofokeng, Special Rapporteur on the right of everyone to the enjoyment of the highest attainable standard of physical and mental health; Balakrishnan Rajagopal, Special Rapporteur on the right to adequate housing; Farida Shaheed, Special Rapporteur on the right to education; Ashwini K.P., Special Rapporteur on contemporary forms of racism, racial discrimination, xenophobia and related intolerance.

508 CERD, Statement 5 (2023) Israel and the State of Palestine (27 October 2023), https://tbinternet.ohchr.org/_layouts/15/treatybodyexternal/Download.aspx?symbolno=INT%2FCERD%2FSWA%2F9904 (emphasis added).

509 Letter from Craig Mokhiber to Volker Türk, High Commissioner for Human Rights (28 October 2023), <https://s3.documentcloud.org/documents/24103463/craig-mokhiber-resignation-letter.pdf> (emphasis added).

510 UN OHCHR, Gaza is 'running out of time' UN experts warn, demanding a ceasefire to prevent genocide (2 November 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/11/gaza-running-out-time-un-experts-warn-demanding-ceasefire-prevent-genocide> (emphasis added). The statement was made by the above Special Rapporteurs on safe drinking water; the Palestinian Territory; violence against women and girls; internally displaced persons; food; physical and mental health; and racism; as well as Irene Khan, Special Rapporteur on the promotion and protection of the right to freedom of opinion and expression.

いる証拠があり、ガザをはじめとする占領下のパレスチナ地域に対する『第二のナクバ』を求める声が大きくなり、本質的に無差別的なインパクトを与える強力な兵器を使用し、その結果、膨大な死者数と生活インフラの破壊をもたらしている」と強調している。専門家たちは、「停戦を緊急に実施することができなければ、この状況は戦争の21世紀の手段や方法で行われるジェノサイドへと急速に陥るリスクがある」と警告し、「ジェノサイドを防止するために国際システムが動員できなかったことについて、深い……懸念」を表明した。専門家たちは、「国家だけでなく非国家アクターも含む国際社会」に対して、「パレスチナの人々に対するジェノサイドのリスクを即座に終わらせるために、できることはすべて行う」よう呼びかけた。⁵¹¹

— 2023年11月20日、女性と女兒に対する暴力に関する国連特別報告者は声明を発表し、「10月7日以来、パレスチナ女性の尊厳と権利に対する攻撃は新たな恐ろしい局面を迎えており、何千人もが戦争犯罪、人道に対する罪、そして展開しつつあるジェノサイドの犠牲となっている」と警告した。特別報告者は、イスラエル政府高官や公人が、女性や子どもを含むパレスチナの人々を「闇の子どもたち」と呼び、ジェノサイド的で非人間化する暴言を吐いていることに警鐘を鳴らした。特別報告者は、パレスチナ人を「人間の顔をした動物」と表現したり、イスラエル政府高官による「第二のナクバ」の呼びかけに言及し、「このような表明は、パレスチナ民族を全部または一部を破壊するというイスラエル政府の意図を、完全にかつ一貫して明確にしている」と警告した。⁵¹²

— 2023年12月8日、アメリカ合衆国が拒否権を行使した国連安全保障理事会の停戦決議の採決に先立ち、22人の国連特別報告者と28人の国連ワーキンググループのメンバーが、「ジェノサイドの遂行に対する警告」という前回の声明を繰り返した。⁵¹³

⁵¹¹ UN OHCHR, Gaza: UN experts call on international community to prevent genocide against the Palestinian people (16 November 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/11/gaza-un-experts-call-international-community-prevent-genocide-against> (emphasis added). The statement was made by the above Special Rapporteurs on the Palestinian Territory; safe drinking water; education; adequate housing; racism; internally displaced persons; freedom of opinion and expression; violence against women and girls; as well as by Margaret Satterthwaite, Special Rapporteur on the Independence of Judges and Lawyers; Surya Deka, Special Rapporteur on the right to development; Olivier De Schutter, Special Rapporteur on extreme poverty and human rights; Siobhán Mullally, Special Rapporteur on trafficking in persons, especially women and children; Mary Lawlor, Special Rapporteur on the situation of human rights defenders; Ben Saul, Special Rapporteur on the promotion and protection of human rights and fundamental freedoms while countering terrorism; and Tomoya Obokata, Special Rapporteur on contemporary forms of slavery, including its causes and consequences; as well as by Livingstone Sewanyana, Independent Expert on the promotion of a democratic and equitable international order; Claudia Mahler, Independent Expert on the enjoyment of all human rights by older persons; as well as by Barbara G. Reynolds (Chair), Bina D'Costa, Dominique Day, Catherine Namakula, Working Group of experts on people of African Descent; Dorothy Estrada Tanck (Chair), Claudia Flores, Ivana Krstić, Haina Lu, and Laura Nyirinkindi, Working Group on discrimination against women and girls; Carlos Salazar Couto (Chair-Rapporteur), Sorch MacLeod, Jovana Jezdimirovic Ranito, Chris M. A. Kwaja, Ravindran Daniel, Working Group on the use of mercenaries; Damilola Olawuyi (Chairperson), Robert McCorquodale (Vice-Chairperson), Elżbieta Karska, Fernanda Hopenhaym, and Pichamon Yeophantong, Working Group on the issue of human rights and transnational corporations and other business enterprises.

⁵¹² UN OHCHR, Women bearing the brunt of Israel-Gaza conflict: UN expert (20 November 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/11/women-bearing-brunt-israel-gaza-conflict-un-expert> (emphasis added).

⁵¹³ UN OHCHR, UN experts urge States to unite for peace and push for ceasefire in Gaza (8 December 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/12/un-experts-urge-states-unite-peace-and-push-ceasefire-gaza> (emphasis added). The statement was made by the above Special Rapporteurs on safe drinking water; the Palestinian Territory; violence against women and girls; internally displaced persons; development; extreme poverty; food; freedom of opinion and expression; human rights defenders; physical and mental health; trafficking in persons; contemporary forms of slavery; adequate housing; independence of judges and lawyers; countering terrorism; education; and racism; as well as David Boyd, Special Rapporteur on the issue of human rights obligations relating to the enjoyment of a safe, clean,

— 2023年12月21日、人種差別撤廃委員会は「早期警告・緊急行動措置」の行動として先の声明を繰り返し、「パレスチナ人を標的としたヘイトスピーチや非人間化する言説は、イスラエルや他の締約国の……ジェノサイドを防止する義務に関する深刻な懸念を抱かせる」と警告した。委員会は、「すべての締約国に対し、その国際的義務、特にジェノサイド罪の防止および処罰に関する条約から生じる義務を完全に尊重し、行われている侵害に終止符を打ち、ジェノサイドを…防止するために協力する」よう求めた。委員会は、ガザで進行中の状況について詳細に言及し、特に「イスラエルの政府高官、国会議員、政治家や公人による2023年10月7日以降のパレスチナ人を標的とした人種差別的なヘイトスピーチ、暴力とジェノサイド行為の教唆、非人間化のレトリックに深刻な懸念を抱いている」と述べた。⁵¹⁴

109. イスラム協力機構はイスラエルのガザにおける軍事行動は「ジェノサイド」 だとして繰り返し非難しており、⁵¹⁵国連のアラブ・グループも同様である。として繰り返し非難している。⁵¹⁶ 国際人権連盟は「ジェノサイド」の終結を求め、国際法律家委員会は他の締約国に対して「ガザにおけるジェノサイドを防止するために、その権限内にあるすべての合理的な措置をとる」よう呼びかけている。⁵¹⁷ パレスチナの非政府組織もまた、ジェノサイドを強く非難し、国際刑事裁

healthy and sustainable environment; Beatriz Miranda Galarza, Special Rapporteur on the elimination of discrimination against persons affected by leprosy and their family members; Clément Nyaletsossi Voule, Special Rapporteur on the rights to freedom of peaceful assembly and of association; Francisco Cali Tzay, Special Rapporteur on the rights of indigenous peoples; and Alexandra Xanthaki, Special Rapporteur in the field of cultural rights; as well as by the above members of the working group on People of African Descent; discrimination against women and girls; the use of mercenaries; human rights and transnational corporations and other business enterprises; and Aua Baldé (Chair-Rapporteur), Gabriella Citroni (Vice-Chair), Angkhana Neelapaijit, Grażyna Baranowska, Ana Lorena Delgadillo Perez, Working Group on enforced or involuntary disappearances; as well as the above Independent Expert on the enjoyment of all human rights by older persons; Cecilia Bailliet, Independent Expert on human rights and international solidarity; Graeme Reid, Independent Expert on Protection against violence and discrimination based on sexual orientation and gender identity; and Attiya Waris, Independent Expert on the effects of foreign debt and other related international financial obligations of States on the full enjoyment of all human rights, particularly economic, social and cultural rights.

⁵¹⁴ UN OCHA, Gaza Strip: States are obliged to prevent crimes against humanity and genocide, UN Committee stresses (21 December 2023), <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/12/gaza-strip-states-are-obliged-prevent-crimes-against-humanity-and-genocide> (emphasis added). Under CERD's Early Warning and Urgent Action ('EWUA') procedure, CERD has extensive expertise in compiling indicators relevant to the prevention of genocide; in 2015 it issued a Declaration on the Prevention of Genocide which recalled this work in its preamble: see CERD, Declaration on the Prevention of Genocide (CRD/C/66/1) (17 October 2005), https://www.ohchr.org/sites/default/files/Documents/HRBodies/CERD/declaration_genocide.doc.

⁵¹⁵ See e.g., Organisation of Islamic Cooperation ('OIC'), Final Communiqué of the extraordinary open-ended meeting of the OIC Executive Committee at the level of Foreign Ministers on the brutal Israeli military aggression against the Palestinian people (18 October 2023), https://www.oic-oci.org/topic/?t_id=39767&t_ref=26705&lan=en; OIC, OIC Condemns the Massacre Committed by the Israeli Occupation in Jabalia Camp (1 November 2023), https://www.oic-oci.org/topic/?t_id=39849&ref=26728&lan=en; OIC, OIC Strongly Condemns Incursion into Gaza City Al-Shifa Hospital and Continued Israeli Aggression against the Palestinian People (15 November 2023), https://www.oic-oci.org/topic/?t_id=39936&ref=26759&lan=en; OIC, OIC Strongly Condemns the Successive Massacres Committed by the Israeli Occupation against the Palestinian People (18 November 2023), https://www.oic-oci.org/topic/?t_id=39945&ref=26762&lan=en.

⁵¹⁶ UN Meetings Coverage, 9498th Meeting, SC/15518 (8 December 2023), <https://press.un.org/en/2023/sc15518.doc.htm>.

⁵¹⁷ Fédération Internationale pour les Droits Humains ('FIDH'), Resolution on Israel's unfolding crime of genocide and other crimes in Gaza and against the Palestinian People (12 December 2023), https://www.fidh.org/IMG/pdf/fidh_resolution_on_israel_s_unfolding_crime_of_genocide_and_other_crimes_in_gaza_and_against_the_palestinian_people.pdf; International Commission of Jurists, Gaza/Palestine: States have a Duty to Prevent Genocide (17 November 2023), <https://www.icj.org/gaza-occupied-palestinian-territory-states-have-a-duty-to-prevent-genocide/>.

判所にその犯罪の捜査を求めている。⁵¹⁸ パレスチナ人権団体評議会は2023年11月14日、詳細な報告書を発表し、パレスチナ国と第三国に対し、ガザでのジェノサイドを防ぐための具体的な措置と法的措置をとるよう求めた。この報告では以下のように警告している。「イスラエルのジェノサイド的な発言や行為が続いていることを受けて、国連の人権に関する独立専門家たちによる度重なる警告や、イスラエルからの在外公館の撤去を含む他の締約国による行動がとられてきた。全体として、これらの警鐘と国家の行動は、国際社会がガザのパレスチナ人に対してジェノサイドが行われている、あるいは行われうるきわめて現実的なリスクがあることを国際社会に警告するものである」。⁵¹⁹

IV. 南アフリカの申立て

110. 上記および本手続きの過程で提出されるさらなる証拠に基づき、南アフリカは、ガザのパレスチナ人に関連するイスラエルの行為（その国家機関、国家代理人、およびイスラエルの指示またはその命令、管理、影響下で行動するその他の個人および団体を通じて）は、ジェノサイド条約（第2条と合わせて読まれるべき第1条、第3条、第4条、第5条、第6条を含む）の下での義務に違反していると考える。ジェノサイド条約に違反する行為には、以下が含まれるが、これらに限定されるものではない。

(a) 第1条に違反してジェノサイドを防止していないこと、

(b) 第3条(a)に違反してジェノサイドを行っていること、

(c) 第3条(b)に違反してジェノサイドを犯すために共謀していること、

(d) 第3条(c)に違反し、ジェノサイドを犯すことを直接かつ公然と教唆していること、

(e) 第3条(d)に違反し、ジェノサイドの未遂、

(f) 第3条(e)に違反し、ジェノサイドの共犯、

(g) 第1条、第3条、第4条および第6条に違反し、ジェノサイド、ジェノサイドを犯すための謀議、ジェノサイドへの直接的かつ公然の教唆、ジェノサイドの未遂およびジェノサイドの共犯の処罰を怠っていること、

(h) ジェノサイド条約の規定を実施するため、そしてジェノサイドの罪、ジェノサイドの共謀、ジェノサイドの教唆、ジェノサイドの未遂、ジェノサイドの共犯の罪を犯した者に対する有効な罰則を規定するために必要な法律を制定せず、第5条に違反していること、

(i) 第1条、第3条、第4条、第5条および第6条に基づく必要かつ必然的な帰結の義務として、

⁵¹⁸ Al Haq, Al Mezan Center, and PCHR, Palestinian Human Rights Organisations call on ICC to issue arrest warrants against Israeli leaders for genocide and incitement to genocide (9 November 2023), <https://www.alhaq.org/advocacy/22138.html>.

⁵¹⁹ Palestinian Human Rights Organizations Council, PHROC Calls on the State of Palestine and Third States to Intervene Taking Concrete Measures and Legal Action to Prevent Genocide in Gaza (14 November 2023), https://www.alhaq.org/cached_uploads/download/2023/11/15/briefing-note-genocide-third-state-responsibility-14-november-2023-1700041879.pdf.

イスラエルの国家機関または軍によって移動させられたパレスチナ人を含めて、ガザのパレスチナ人に対して行われたジェノサイド行為について、管轄権を有する国際機関または事実調査団による調査の妨害を直接あるいは間接的に許さないようにしていないこと。

V. 救済措置

111. この申立書を修正、補足、訂正する権利を留保し、関連する証拠および法的論拠を裁判所に提出することを条件として、南アフリカは、「以下を判断し、言明するよう謹んで裁判所に求める、すなわち、

(1) 南アフリカ共和国およびイスラエル国はそれぞれ、ジェノサイド罪の防止および処罰に関する条約に基づく義務に従い、パレスチナ人集団の構成員との関係において、ジェノサイドを防止するために、その力の及ぶ範囲内であらゆる合理的な措置を講じる義務があり、

(2) イスラエル国にあっては、

(a) ジェノサイド条約に基づく義務、特に第1条とともに、第2条、第3条(a)、第3条(b)、第3条(c)、第3条(d)、第3条(e)、第4条、第5条および第6条に定める義務に違反し、かつ、違反し続けており、

(b) ジェノサイド条約、特に第1条、第3条(a)、第3条(b)、第3条(c)、第3条(d)、第3条(e)、第4条、第5条および第6条に定める義務を完全に尊重し、パレスチナ人を殺害もしくは殺害し続けることができるような行為もしくは措置、パレスチナ人に身体的もしくは精神的に重大な危害を与えもしくは与え続けることができるような行為もしくは措置、またはパレスチナ人の集団に故意に危害を与えるような行為もしくは措置を含めて、これらの義務に違反する行為もしくは措置を直ちに中止しなければならず、

(c) 第1条、第3条(a)、第3条(b)、第3条(c)、第3条(d)、第3条(e)に反してジェノサイドを犯した者、ジェノサイドを謀議した者、ジェノサイドを直接かつ公に扇動した者、ジェノサイドを企図した者およびジェノサイドに加担した者が、第1条、第4条、第5条および第6条の要請に従って、権限のある国内審判所または国際審判所によって処罰されることを確保しなければならず、

(d) 上記の目的のために、また、第1条、第4条、第5条および第6条に基づく義務を促すために、ガザから避難した集団のメンバーを含め、ガザのパレスチナ人に対して行われたジェノサイド行為の証拠を収集し確保しなければならず、直接的または間接的なその証拠を収集し、保存することを確保することを許可するとともに、これを阻害してはならず、

(e) パレスチナの犠牲者の利益のために、賠償の義務を果たさなければならず、これには、強制的に避難させられたり、拉致されたりしたパレスチナ人の安全で尊厳ある帰還、完全な人権の尊重、さらなる差別や迫害、その他の関連行為からの保護、および第1条のジェノサイド防止義務に合致した、ガザでイスラエルが破壊したものの再建のための提供などが含まれるが、これらに限定されず、

(f) 特に第1条、第3条(a)、第3条(b)、第3条(c)、第3条(d)、第3条(e)、第4条、第5条および第6条に規定された義務におけるジェノサイド条約違反が繰り返されないよう保証と確約が提示されなければならない。」

VI. 仮保全措置の請求

112. 裁判所規程第41条および裁判所規則第73条、第74条、第75条に従い、南アフリカは裁判所に対し、仮保全措置を提示するよう請求する。問題となっている権利の性質に照らし、また、ガザのパレスチナ人が被っている現在進行中の極限的かつ回復不可能な危害に鑑み、南アフリカは、裁判所が本請求を極めて緊急の問題として対処することを要請する。

113. 本申立ては、ガザにおけるイスラエルによる極めて残忍な軍事行動を記述している。この軍事行動は広範かつ現在進行中のものであり、イスラエルはさらにこれを強化する意図をもっている。⁵²⁰

114. イスラエルは、ジェノサイド条約第1条、第3条(a)、第3条(b)、第3条(c)、第3条(d)、第3条(e)、第4条、第5条および第6条に基づくイスラエルの義務に対する重大な違反を犯してジェノサイドにあたる行為および措置に関与し、これらを防止または処罰していない。この申立書に記載された資料で詳しく証明されているように、特に第2条(a)、第2条(b)、第2条(c)、第2条(d)に違反する、特にガザのパレスチナ人を集団的に標的とする問題のジェノサイド行為には、以下のものが含まれる。

(1)ガザの21,110人のパレスチナ人が殺害され、そこには死者数の推定70%に及ぶ多数の女性と子どもが含まれ、そして死者の一部は即決処刑された模様であり、

(2) 身体を毀損させ、心的外傷を負わせ、非人間的で人間の尊厳を傷つける処遇を与えることを含め、ガザのパレスチナ人に対し精神的身体的に深刻な危害を引き起こし、

(3) ガザに住む子ども、高齢者や体の弱い者、病人や負傷者を含むガザのパレスチナ人の約85%が強制的に立ち退かされ、排除され、また、ガザのパレスチナ人の民家、村、難民キャンプ、町、そしてガザの地域全体が大規模に破壊され、かなりの割合のパレスチナ人が元の住居に戻るができなくなっており、

(4) 必要な人道支援が妨げられ、生存に必要な水、食料、燃料、電気の供給が遮断され、パン屋、製粉所、農地その他の食料生産・確保手段が破壊されることで、ガザで包囲されたパレスチナ人のあいだに、食料不足、脱水症、飢餓が広がっており、

(5) 190万人の国内避難を強制された人々を含むガザのパレスチナ人に適切な避難場所、衣服、衛生設備あるいはトイレを供給しなかったり、制限したりするイスラエルの行為によって、パレスチナ人は、不衛生なために危険な状況での生活を余儀なくされ、同時に、日常的に避難場所が標的にされ、破壊され、女性、子ども、身体障がい者、高齢者を含む避難している人々が殺

⁵²⁰ Statement by Israeli Prime Minister to Likud Party, 25 December 2023: Jeremy Sharon, "After rare visit to Gaza, Netanyahu says war 'not close to being over'", The Times of Israel (25 December 2023), https://www.timesofisrael.com/liveblog_entry/after-gaza-visit-netanyahu-says-war-not-close-to-being-over/.

傷されており、

(6) ガザのパレスチナ人の医療に必要な物資を提供することや確保することをせず、このなかには深刻な身体的危害をもたらす他のジェノサイド行為により生じた医療ニーズがあり、このジェノサイド行為は、ガザにあるパレスチナ人の病院、救急車、その他の医療施設への直接攻撃を含み、こうした攻撃は医師、医療従事者、看護師の殺害と、ガザの医療システムの破壊と無力化を引き起こしており、

(7)ガザの大学、学校、裁判所、公共施設、公文書、商店、図書館、教会、モスク、道路、インフラ設備、公共施設など、ガザのパレスチナ人が集団として持続的に生活するために必要な施設を破壊することで、ガザのパレスチナ人の生活を破壊し、同時に、家族全体を殺害することでガザの口承の歴史全体を抹消し、また、社会の著名人や優れたメンバーも殺されている。

(8) パレスチナ人女性、新生児、乳児、子どもたちに加えられた生殖に関わる暴力によって、ガザにおけるパレスチナ人の出生阻止を意図した措置を課している。

115. 仮保全措置は、罰せられることなく侵害され続けているジェノサイド条約に基づくパレスチナ人の権利に対するさらに深刻かつ回復不能な被害から保護するために、本件において必須のものである。南アフリカは、本申立てにより提起された問題の是非が決定されるまでの間、パレスチナの人々の権利および条約に基づく南アフリカの権利を保護・保全し、紛争のいかなる悪化や拡大をも防止するため、裁判所が仮保全措置を提示することを請求する。

116. 南アフリカは、ジェノサイド条約に基づく義務に直接関与せず、したがって、イスラエル人およびその他の人質の即時解放を含む本件における裁判所の管轄権の適切な範囲内にはない他の関連事項が存在することに留意する。それにもかかわらず、南アフリカは、請求された仮保全措置がこれらの事項の進展および解決と矛盾するものではなく、これを支援するものであると思料する。

A. 仮保全措置の提示が必要となったやむを得ない事情

117. 上記で詳述したように、条約1条に反して、イスラエルは第2条で特定されているジェノサイド行為を実行してきたし、今も実行中である。イスラエル、その当局者、または関係する者らは、ジェノサイド条約で保護される集団の一部であるガザのパレスチナ人を破壊する意図をもって行動してきた。[仮保全措置が]必要とされる諸状況は本申立書に詳細に記載されており、その内容には以下が含まれる。

— ガザにおいて安全な場所はどこにもない。

— イスラエルは、世界で最も人口密度の高い場所のひとつに、無誘導爆弾や1トン爆弾を投下している。

— ガザのパレスチナ人は、ほぼ6分に1人の割合で殺されている。

— ガザではこれまでに少なくとも21,110人のパレスチナ人が殺害され、さらに7,780人以上とみられる人々が行方不明になっており、瓦礫の下で死亡したものとみられている。

— 2023年12月12日までに、推定7,729人のパレスチナの子どもたちがすでに殺害されている。少なくとも4,700人の女性と子どもが行方不明であると報じられており、UNICEFはイスラエ

ルの軍事攻撃を「子どもたちに対する戦争」と表現している。

— ガザでは毎日、何百人ものパレスチナ人が負傷しており、その多くが人生を左右するような命にかかわる傷を負っている。

— 包囲され爆撃された病院は、もはや病人も負傷者も治療できない。ガザにある36の病院のうち、機能しているのは13に過ぎない。

— ガザのパレスチナ人のうち190万人(人口の約85%)は、強制的に家を追われている。

— ガザのパレスチナ人は、十分な避難所もないまま、ガザのますます狭い地域に押し込められ、そこでもイスラエルによる爆撃を受け続けている。

— イスラエルは、食料、水、避難所、医薬品、医療支援への十分なアクセスを妨げるなど、ガザのパレスチナ人への十分な人道支援を妨害し続けている。

— 病人や虚弱者、子どもや妊産婦などを含む脆弱なパレスチナ人は特に危険にさらされている。

— 感染症が急速に広がっている。

— 国際的な専門家たちは、差し迫った大規模な飢餓を警告している。

118. イスラエルはまた、ジェノサイド条約の第3条と第4条に反して、ジェノサイド、ジェノサイドの謀議、ジェノサイドの直接的かつ公然の扇動、ジェノサイドの未遂、ジェノサイドへの加担、の、いずれをも防止ないし処罰を怠ってきた。

119. イスラエルは、ガザにおけるイスラエルの軍事活動に関連する不正行為を否定し、南アフリカやより広範な国際社会からの、ジェノサイド遂行を防止し、停止せよというあらゆる要求に抵抗している。イスラエルは、ジェノサイド条約違反をやめ、そのような違反を防止し、加害者を処罰する代わりに、軍事行動を継続し、エスカレートさせてきており、さらにエスカレートさせると脅している。イスラエルはまたその不法行為の証拠を隠滅している。ガザの広大な地域で大規模な破壊を行い更地にし、立ち退かされて国内避難民となったパレスチナ人の帰宅を妨げていることは、証拠の破壊と、国際法上の最も重大な犯罪を含む犯罪に対する将来の捜査への影響に深刻な懸念を抱かせるものである。ガザにおいてパレスチナ人ジャーナリストやメディア関係者がイスラエルによって多数殺害されており——現在までに少なくとも82人が殺害され、多くの場合、彼らの家族たちも一緒に殺害されている——ガザの通信ネットワークもイスラエルによる攻撃を受けていることもあり、ガザのパレスチナ人に対するイスラエルの行動に関して徹底した調査は困難になっている。⁵²¹ イスラエルはまた、報道制限や検閲を受け入れてイスラエル軍に同行することを許可された限られた数のジャーナリストを除いて、事実調査団や外国人ジャーナリストたちのガザへのアクセスを拒否し続けている。パレスチナのNGOや人権擁護者は、イスラエル軍による攻撃のリスクにさらされるなかで、イスラエルによる絶え間ないジェノサイド行為やその他の国際法違反をリアルタイムで記録することができない。

B. 国際司法裁判所の一応の管轄権

120. 国際司法裁判所は、仮保全措置を提示する権限について「管轄権を基礎づける根拠が申請者の依拠した規定により一応のところ与えられると見られる場合に限り仮保全措置を提示することができるが、本件の本案に関して管轄権を有することを確定的に満足させる必要はない」と

⁵²¹ Amnesty, Israel/OPT: Civilians in Gaza at unprecedented risk as Israel imposes communication black-out during bombardment and expanding ground attacks (27 October 2023), <https://www.amnesty.org/en/latest/news/2023/10/israel-opt-civilians-in-gaza-at-unprecedented-risk-as-israel-imposes-communication-black-out-during-bombardment-and-expanding-ground-attacks/>.

決定している。⁵²²

121. 上記のとおり、国際司法裁判所の管轄権は、裁判所規程第36条第1項およびジェノサイド条約第9条に基づくものである。ジェノサイド条約第9条は次のように定めている。

「この条約の解釈、適用又は履行に関する締約国間の紛争は、ジェノサイド又は第3条に列举された他の行為のいずれかに対する国の責任に関するものを含め、紛争当事国のいずれかの要求により国際司法裁判所に付託する。」

122. 南アフリカとイスラエルはともに国連加盟国であり、ジェノサイド条約の締約国である。両国ともジェノサイド条約第9条に基づく裁判所の管轄権を留保なく受け入れている。その結果、両国はこの条約に拘束されることになる。

123. 国際司法裁判所が仮保全措置を提示するために一応の(*prima facie*)管轄権を有するかどうかを判断するためには、申し立てられた事項自体が、「紛争が、当裁判所が準拠法上の管轄権を有するものである」というような、一応「(条約の)規定に該当する可能性がある」ものでなければならない。⁵²³ 本裁判所の判例は、紛争とは当事者間の「法律上または事実上の見解の相違、法的見解の対立または利害の対立」であると示している。⁵²⁴ 紛争が存在するためには、「一方の当事者の主張が他方の当事者によって積極的に反対されていることが示されなければならない」。⁵²⁵ 両当事国は「特定の国際的義務の履行または不履行の疑問に関して、明らかに反対の見解を持っていないなければならない」。⁵²⁶ 紛争の存否は「(本)裁判所が客観的に判断する問題である。すなわち、実質を問題にするのであり、形式や手続の問題ではない」。⁵²⁷ ひとつの申立ての提起時に両当事国間の紛争の存否を判断する目的において、本裁判所は「両当事国間で交換された声明または文書を、および多国間でのそのような交換を、特に考慮する。その際、声明または文書の作成者、意図された宛先または実際の宛先、およびその内容に特に注意を払う」。⁵²⁸

124. 仮保全措置の提示のために、裁判所はジェノサイド条約に基づくイスラエルの義務違反の有無を確認する必要はない。⁵²⁹ 重要なことは、国際司法裁判所が以前に判示したように、「このような事実認定は、(パレスチナ人の)集団の全部または一部を破壊する意図の存在の評価に

522 *The Gambia v. Myanmar*, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 9, para. 16; and *Allegations of Genocide under the Convention on the Prevention and Punishment of the Crime of Genocide (Ukraine v. Russian Federation)*, Provisional Measures, Order of 16 March 2022, I.C.J. Reports 2020, p. 10-11, para. 24 (hereafter 'Ukraine v. Russian Federation, Provisional Measures, Order of 16 March 2022').

523 *The Gambia v. Myanmar*, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 1, para. 20, citing *Immunities and Criminal Proceedings (Equatorial Guinea v. France)*, Provisional Measures, Order of 7 December 2016, I.C.J. Reports 2016 (II), p. 1159, para. 47.

524 *Ukraine v. Russian Federation*, Provisional Measures, Order of 16 March 2022, p. 11, para. 28, quoting *Mavrommatis Palestine Concessions*, Judgment No. 2, 1924, P.C.I.J., Series A, No. 2, p. 11.

525 *Ibid*, quoting *South West Africa (Ethiopia v. South Africa; Liberia v. South Africa)*, Preliminary Objections, Judgment, I.C.J. Reports 1962, p. 328.

526 *Ibid*, p.11-12, para 28, quoting *Alleged Violations of Sovereign Rights and Maritime Spaces in the Caribbean Sea (Nicaragua v. Colombia)*, Preliminary Objections, Judgment, I.C.J. Reports 2016 (I), p. 26, para. 50.

527 *Ibid*, p.13-14, para. 35, citing *The Gambia v. Myanmar*, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 12, para. 26.

528 *Ibid*, pp. 220-221, para. 35, citing *The Gambia v. Myanmar*, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 12, para. 26.

529 *Ibid*, p. 15, para. 43.

特に依存するものであり、国際司法裁判所は本件の本案審査の段階においてのみ行うことができる」ものである。⁵³⁰ その一方で「仮保全措置に関する命令を下す段階で裁判所に求められるのは、申立てられている諸行為が…ジェノサイド条約の規定に該当する可能性の存否を確認することである」。⁵³¹ 本裁判所は、申立てられている諸行為がすべて条約の規定に該当する可能性をもつと決定する必要はない。「申立てられている諸行為の少なくとも一部が…条約の規定に該当する可能性をもつ」ことで十分である。⁵³²

125. 南アフリカによって申立てられた行為の少なくともいくつかは、明らかに「条約の規定に該当する可能性がある」ものである。それらは、人種差別撤廃委員会を含む各国や国連の多くの専門家たちや機関によって、条約の規定に該当する可能性があるとみなされている。⁵³³ 特に、条約第2条(a)、第2条(b)、第2条(c)および第2条(d)の規定に該当する可能性は以下の行為から明らかである。(1)ガザにおけるパレスチナ人の殺害、(2)人々への重大な身体的または精神的な危害、(3)ガザにおけるパレスチナ人の破壊をもたらすことを意図する生活条件を故意に課すること(4)集団内における出生を妨げることを意図する措置を課すること。条約第2条(c)に関連して、裁判所はこれまでに、「加害者が最終的に集団の構成員の死を求めるような、殺害以外の物理的破壊の方法」を含むと説明してきた。⁵³⁴ 本裁判所は国際的法廷の判例を引用して、「そのような破壊の方法には、特に食料、医療、住居、あるいは衣服の剥奪があり、その他にも衛生の欠如、住居からの計画的追放、あるいは過度な労働や身体的労苦に起因する消耗が含まれる」とした。⁵³⁵ これらの国際的法廷ではまた、次のような破壊手段も特定している。すなわち「集団を生命が維持できる限界の栄養状態に置くこと、適切な医療を受けられなくすること、…適切な食料・水・住居・衣服・衛生の欠如といった緩慢な死につながる状況を一般的に作り出すこと」⁵³⁶である。国際司法裁判所もまた、強制的な集団移住がジェノサイド行為とみなされる余地があると判断している。⁵³⁷ イスラエルが作り出した状況は上記の破壊手段を明白に成立させ得るものであることを、本申立書の依拠する資料は疑いなく証拠立てている。

126. 前記の証拠が示すように政府高官ら、政治家ら、その他の人物らによるジェノサイドの直接かつ公然の扇動が行われたこと、およびイスラエルが扇動を行った者の処罰を怠ったことは、これらも条約第3条および第4条の規定に明らかに該当しうる。

127. 「[ガンビア対ミャンマー事件仮保全措置命令で参照されている]上記の諸事項」とは「ジェノサイド条約の解釈、適用、履行に関する紛争が締約国間に存在する事実を一応確立する」ためのものである。⁵³⁸ この紛争は、ジェノサイド条約に基づくイスラエルの義務違反(ジェノサイドを防止しなかったこと、およびジェノサイドを実行したことを含む)と、ジェノサイド

⁵³⁰ The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 14, para. 30.

⁵³¹ Ibid, p. 14, para. 30 (emphasis added); see also Ukraine v. Russian Federation, Provisional Measures, Order of 16 March 2022, p. 15, para. 43.

⁵³² The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 14, para. 30 (emphasis added).

⁵³³ See Section III. Facts, E. Recognition of Israel's genocidal intent against Palestinians in Gaza, supra.

⁵³⁴ Application of the Convention on the Prevention and Punishment of the Crime of Genocide (Croatia v. Serbia), Judgment, I.C.J. Reports 2015, p. 70, para. 161.

⁵³⁵ Ibid, citing ICTY, Trial Chamber II, Prosecutor v. Brđanin, Case No. IT-99-36-T, Judgment (1 September 2004), para.691 and Prosecutor v. Stakić, Case No. IT-97-24-T, Judgment (31 July 2003), paras. 517-518.

⁵³⁶ ICTY, Appeals Chamber, Prosecutor v. Zdravko Tolimir, Case No. IT-05-88/2-A, Judgment (8 April 2015), p. 327, para. 740.

⁵³⁷ Application of the Convention on the Prevention and Punishment of the Crime of Genocide (Bosnia and Herzegovina v. Serbia and Montenegro), Judgment, I.C.J. Reports 2007, p. 123, para. 190 ('Bosnia v. Serbia, Judgment').

⁵³⁸ The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 14, para. 31.

条約に基づく南アフリカ自身の義務（ジェノサイドを実行するおそれのある者の行動に効果的に影響を与えるための行動をとることを含む）に関するものである。⁵³⁹ 国際司法裁判所は、[ボスニア対セルビア事件判決の中で]その紛争の性質について以下のように述べている。すなわち、「国家の防止義務とそれに対応する行動義務は、国家がジェノサイドが行われる重大なリスクの存在を知った瞬間、または通常それを知ったであろう瞬間に発生する。その瞬間以後、ジェノサイドを準備していると疑われる者、または特定の意図（*dolus specialis*）を抱いていると合理的に疑われる者に対して抑止効果をもたらし可能性のある手段を国家が利用できる場合、国家は状況が許す限りこれらの手段を使用する責務を負う」。⁵⁴⁰

128. この場合に結果として、国際司法裁判所は仮保全措置を提示する一応の管轄権を明らかに有する。

C. 保護が求められている諸権利、その推認される特徴、および当該諸権利と要求される措置との関連

129. 国際司法裁判所は、裁判所規程第 41 条に基づき、「事情によって必要と認めるときは、各当事者のそれぞれの権利を保全するためにとられるべき仮保全措置を指示する権限」を有する。仮保全措置を提示する国際司法裁判所の権限について、「その目的は、ある事件において当事者の主張するそれぞれの権利の根拠に基づいた判決を（国際司法裁判所が）下すまでの間、その権利を保全することである」。⁵⁴¹したがって、「当裁判所が関与するのは、そのような措置によって、後にいずれかの当事者に属すると当裁判所によって判断される権利の保全に関わるものに限られる」。⁵⁴²しかし、訴訟手続きの現段階では、国際司法裁判所は南アフリカが保護を求める権利が存在するかどうかについて最終的な決定を求められているのではなく、南アフリカがその存在を根拠とともに主張し保護を求めている権利が「少なくとも存在の可能性はある」こと、⁵⁴³すなわち、条約の「解釈可能性に依拠」することである。⁵⁴⁴ どれほど少なく見ても、ジェノサイドの現実的なリスクが存在すると主張する国連の専門家たちや機関の声明などを考慮すれば、これらの権利が存在する可能性は明白であり、このリスクは、イスラエルと南アフリカの双方を拘束する条約第1条に従って、ジェノサイドを防止する義務を生じさせる。またそれは、ジェノサイドを行わないこと、ジェノサイドを直接かつ公然と扇動した者を罰するという義務にイスラエルも拘束されることになる。⁵⁴⁵

130. 国際司法裁判所が単一または複数の仮保全措置を提示するためには、保護が求められている権利と要求されている仮保全措置との間に相関関係がなければならない。⁵⁴⁶ このような相関

⁵³⁹ *Bosnia v. Serbia*, Judgment, p. 221, para 430.

⁵⁴⁰ *Ibid*, p. 43 para 431.

⁵⁴¹ *The Gambia v. Myanmar*, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 18, para. 43; and *Ukraine v. Russian Federation*, Provisional Measures, Order of 16 March 2022, p. 223, para. 50.

⁵⁴² *Ibid*.

⁵⁴³ *The Gambia v. Myanmar*, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 18, para. 43; and *Application of the International Convention on the Elimination of All Forms of Racial Discrimination (Qatar v. United Arab Emirates)*, Provisional Measures, Order of 23 July 2018, I.C.J. Reports 2018, p. 422, para. 43 (hereafter '*Qatar v. United Arab Emirates*, Provisional Measures, Order of 23 July 2018).

⁵⁴⁴ *Questions relating to the Obligation to Prosecute or Extradite (Belgium v. Senegal)*, Provisional Measures, Order of 28 May 2009, I.C.J. Reports 2009, p. 152, para. 60 (emphasis added).

⁵⁴⁵ *Bosnia v. Serbia*, Judgment, pp. 113-114, paras. 165-169.

⁵⁴⁶ *The Gambia v. Myanmar*, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 18, para. 44, citing *Qatar v. United Arab Emirates*, Provisional Measures, Order of 23 July 2018, p. 422, para.

関係は、南アフリカが主張する権利と要求されている仮保全措置との間に明らかに存在し、それらは紛争の主題を形成する諸権利と直接関係している。

131. ジェノサイド条約に基づき南アフリカが主張する諸権利の性質に関して、国際司法裁判所は最近、次のように想起している。

「このような条約において、締約国は自国の利益を追求しない。各締約国はすべて唯一共通の利益、すなわち条約の存在意義であるその崇高な目的の達成を希求する。従って、この種の条約においては、各国の個別の利益や不利益を論じることができず、あるいは権利と義務とを協約上完全に常時衡量させることもできない。条約を生み出した崇高な理想は、締約国の共通の意志によって、そのすべての規程の基礎と実体を定めるものである」。⁵⁴⁷

132. このように、ジェノサイド条約のすべての締約国は、その「共有する価値観」を考慮し、「ジェノサイド行為の防止、および行為が生じときは当該行為者の不処罰の防止を確保するという共通の利益」を有している。⁵⁴⁸ 国際司法裁判所によって決定されているように、「この共通の利益は、この条約に対していずれかの締約国は他のすべての締約国に対して論議されている義務を負うものであることを意味している」。⁵⁴⁹ その帰結として、ジェノサイド条約の関連規定は、「各締約国がいかなる事件においても義務を遵守するにあたって利害を有するという意味において、『全締約国に対する義務(*obligations erga omnes partes*)』と定義できる義務」を発生させることになる。⁵⁵⁰ 結果として、国際司法裁判所は最近、以下の点を確認している。

「ジェノサイド条約のいずれの締約国も、特別な影響を受ける国だけでなく、申立てられている全締約国に対する義務(*obligations erga omnes partes*)の不履行を確認し、その不履行の解消を目的として、他の締約国の責任を問うことができる」。⁵⁵¹

133. 南アフリカは、本申立てによって、ガザのパレスチナ人の人権を緊急に保護することを求める。この権利には、集団として存在する権利、ジェノサイド行為やそのリスクから保護される権利、ジェノサイド行為やそのリスクから保護される権利、ジェノサイドの共謀から保護される権利、ジェノサイドの直接かつ公然の扇動から保護される権利、ジェノサイドの未遂から保護される権利、およびジェノサイドの共犯から保護される権利などが含まれる。南アフリカはまた、本国のジェノサイド条約に基づく全締約国に対する権利に加えて本国が全締約国に対して負うジェノサイド防止義務の保護も求めているのであり、それらは条約が全締約国に課す義務のうちイスラエルのジェノサイドを行わない義務、ジェノサイドを防止する義務、および、パレスチナ人に対するジェノサイド行為とジェノサイドの共謀と直接かつ公然のジェノサイドの扇動とジェノサイドの未遂とジェノサイドの共犯などを含むジェノサイドを処罰する義務を含めて、それらの履行を本国がイスラエルに対して求める根拠を反映するものである。国際司法裁判所はこれまで、「ジェノサイドに関して非難と必要とされる協調とはどちらも『人類をこのいまわしい苦悩から解放するため』の普遍的性格がある」ことを認めてきた。⁵⁵²

44.

547 *The Gambia v. Myanmar*, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 17, para. 41, quoting its Advisory Opinion on Reservations to the Convention on the Prevention and Punishment of the Crime of Genocide, Advisory Opinion of 28 May 1951, I.C.J. Reports 1951, p. 23 (hereafter 'Advisory Opinion of 28 May 1951').

548 Ibid.

549 Ibid.

550 Ibid, applying *mutatis mutandis* Questions relating to the Obligation to Prosecute or Extradite (*Belgium v. Senegal*), Judgment, I.C.J. Reports 2012, p. 449, para. 68.

551 Ibid.

552 Advisory Opinion of 28 May 1951, p. 23.

134. 仮保全措置を提示する目的で、国際司法裁判所はパレスチナ人がジェノサイドのリスクにさらされていること、彼らがジェノサイド行為にさらされていること、あるいはイスラエルがそれ以外にジェノサイド条約に基づく義務に違反していることを確定的に証明する必要はない。むしろ、南アフリカがジェノサイドを防止するために行動する義務、あるいは南アフリカがイスラエルに、ジェノサイドを行わない条約上の義務と、ジェノサイドとその他の条約上の禁止行為とを防止し処罰する条約上の義務との履行を求める権利は存在する「可能性がある」ことで十分である。⁵⁵³ 同様に、仮保全措置を提示するにあたって、国際司法裁判所はジェノサイドの意図の存在が国際司法裁判所に提出された資料から導き出される唯一の推論であるかどうかを確認する必要はない。というのも、こうした要求は国際司法裁判所が本案の決定を下す段階に匹敵するからである。注目すべきは、武力紛争の過程で、あるいは武装集団による攻撃への応答であると主張されている中で、防止も処罰もされずにジェノサイド行為が起きているという事実であり、ジェノサイド条約に基づき南アフリカによって主張される「少なくとも存在する可能性がある」権利の存否とは関係がない。⁵⁵⁴ 他の裁判所や事実調査法廷によってもジェノサイドの存否は未確定であるが、国際司法裁判所によるジェノサイド条約に基づくこの申立書の判断の妨げにはならず、ましてや仮保全措置の提示に関する請求の妨げにはならない。⁵⁵⁵

135. この申立書および仮保全措置の請求に記載された事実と状況は、イスラエルが行った、そして現在行っている、申立てられた行為は、いかに少なく見ても「ジェノサイドの性格」を持ちうるものとして特徴づけることが可能であることを立証している。ガザのパレスチナ人に対するイスラエルの行為だけでなく、イスラエル政府および軍関係者による、パレスチナ人に対する明確で繰り返される非人間化する言説からも、条件とされる特定の意図「*dolus specialis*」を推論することができる。実際、イスラエルの行動はパレスチナの人々のジェノサイドに相当する、あるいはジェノサイドのリスクがあるとして繰り返し警告してきた国連の専門家たちやさまざまな人権団体・機関だけでなく、多くの国家元首やその他の国家高官、代表者たちによっても、そのような指摘がなされてきた。⁵⁵⁶したがって、南アフリカが仮保全措置の提示を求める時に依拠する権利は、いかに少なく見ても「存在する可能性がある」ものである。実際、これらの権利の保護は、ジェノサイド条約の目的および意図とまさしく一致している。

D. 回復不能の損害のリスクと緊急性

136. 国際司法裁判所は「司法手続の対象となる権利に対して回復不能な損害が生じうる場合またはそのような権利が軽視されていると主張され、その軽視によって回復不能な結果が生じる可能性がある場合において、仮保全措置を提示する権限を有する」。⁵⁵⁷ 特に、国際司法裁判所は

⁵⁵³ *The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 18, para. 43.*

⁵⁵⁴ *Ibid.*

⁵⁵⁵ See *Bosnia v. Serbia, Judgment, p. 120, para. 182*: “State responsibility can arise under the Convention for genocide and complicity, without an individual being convicted of the crime or an associated one”. As explained by the Court: “Any other interpretation could entail that there would be no legal recourse available under the Convention in some readily conceivable circumstances: genocide has allegedly been committed within a State by its leaders but they have not been brought to trial because, for instance, they are still very much in control of the powers of the State including the police, prosecution services and the courts and there is no international penal tribunal able to exercise jurisdiction over the alleged crimes”: *ibid*, pp. 119-120, para. 182.

⁵⁵⁶ See section III. Facts, E. Recognition of Israel’s genocidal intent against Palestinians in Gaza, *supra*.

⁵⁵⁷ *The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 24, para. 64*; and *Ukraine v. Russian Federation, Provisional Measures, Order of 16 March 2022, p. 226, para. 65*, both citing *Alleged Violations of the 1955 Treaty of Amity, Economic Relations, and Consular*

「最終的決定を下す前に回復不能な損害が生じる現実的かつ差し迫ったリスクが存在するという意味において、緊急性が存在する場合」には、仮保全措置を提示する権限を有する。⁵⁵⁸ 国際司法裁判所が最近確認したように、「回復不能な損害を生じさせる可能性がある行為が、当裁判所が本件において最終決定を下す前に『いかなる時にも行われる』可能性が存在する場合に、緊急性の要件が充足される」⁵⁵⁹

137. ジェノサイド条約違反の申立てに係わる案件における仮保全措置の提示の要請に関する決定の目的上、「当裁判所に求められていることは、...ジェノサイド条約の違反の存在を立証することではなく、条約に基づく権利の保護のために仮保全措置の提示を必要とする事情が存在するかを決定すること」⁵⁶⁰、「その権利の存在する可能性を判断すること⁵⁶¹である」。当裁判所が判示したように、このことは「決定的な事実認定や責任を負う能力の認定を行う」ことを要求するものではなく、仮保全措置の提示に関する要請について「各締約国が...本件に関して弁論を提出する権利は、当裁判所の決定に影響されることなく維持されなければならない」⁵⁶²

138. 進行中の紛争におけるジェノサイドの申し立てに関わる事件において緊急性の条件が満たされているかどうかを評価する際、国際司法裁判所は通常、危険にさらされている住民が特に脆弱であるかどうか、また危害の再発の可能性やリスクを含む状況全体の脆弱性に留意する。国際司法裁判所は、軍事行動が「多数の民間人の死傷者をもたらし」、「建物やインフラの破壊を含む重大な物的損害を引き起こし」、そして「攻撃が継続中であり、民間人にとってますます困難な生活状況が生み出されている」場合、民間人は「極度に脆弱」であるとみなしている。⁵⁶³ 仮保全措置を提示する際、国際司法裁判所は、多くの個人が「最も基本的な食料、飲料水、電気、必要不可欠な医薬品または暖房へのアクセスがない」こと⁵⁶⁴、および「非常に多くの人々が...極めて不安定な状況の下で、最も大きな影響を受けた都市から避難しようとしている」ことを考慮してきた。⁵⁶⁵ 国際司法裁判所はまた、ジェノサイドが申立てられている案件において緊急性の条件が満足されているかを評価する上で、国連総会決議によって提起された以下の要素も実質的に適切であるとして考慮してきた。すなわち、「住宅、学校、病院などの民間施設に対する攻撃、および女性、高齢者、障害者、子どもを含む民間人の死傷者」、他の紛争との比較を含む軍事作戦の「規模」、領土における「人道的状況の悪化」、「人道支援を必要とする国内避難民と難民の増加」である。⁵⁶⁶ 同様に、当裁判所は、「組織的な人権の剥奪」、「組織的な人権の剥奪」、

Rights (Islamic Republic of Iran v. United States of America), Provisional Measures, Order of 3 October 2018, I.C.J. Reports 2018, p. 645, para. 77.

558 The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 24, para. 65; see also Ukraine v. Russian Federation, Provisional Measures, Order of 16 March 2022, p. 226, para. 66.

559 The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 24, para. 65; and Ukraine v. Russian Federation, Provisional Measures, Order of 16 March 2022, pp. 226-227, para. 66.

560 The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, pp. 24-25, para. 66.

561 Ukraine v. Russian Federation, Provisional Measures, Order of 16 March 2022, p. 227, para. 67.

562 Bosnia v. Serbia, Provisional Measures, Order of 8 April 1993, I.C.J. Reports 1993, p. 22, para. 44.

563 Ukraine v. Russian Federation, Provisional Measures, Order of 16 March 2022, p. 228, para. 75.

564 Ibid.

565 Ibid; see also The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 27, para. 71; and Request for Interpretation of the Judgment of 15 June 1962 in the Case concerning the Temple of Preah Vihear (Cambodia v.

Thailand), Provisional Measures, Order of 18 July 2011, I.C.J. Reports 2011, p. 550, para. 53.

566 Ukraine v. Russian Federation, Provisional Measures, Order of 16 March 2022, pp. 228-229, para. 76.

「人間性を否定する語りやレトリック」、「巧妙な計画」、「大量殺戮」、「大量の強制移住」、「集団的恐怖」、「あらゆる意味で、あらゆるレベルで、標的住民の住居の物理的破壊を伴う圧倒的残虐性」などの要素を考慮しながら、事実調査団の調査結果を評価してきた。⁵⁶⁷

139. 注目すべきは、国際司法裁判所が強調してきたように、ジェノサイド条約の締約国は「ジェノサイドを、それが行われる文脈が『平時』か『戦時』かに関わりなく防止し処罰しなければならない国際法上の犯罪とみなす意思を明示的に承認」している。⁵⁶⁸ その結果、国は「武装集団と軍隊との間に進行中の…紛争が存在する可能性があるひとつの締約という事実」に関係なく、ジェノサイド条約の締約国として自国に課された義務に拘束され続ける。⁵⁶⁹ また、このような文脈は、「条約の下で保護される権利に対する回復不能な損害の現実的かつ差し迫ったリスクの存在に関する当裁判所による評価を妨げない」⁵⁷⁰

140. 過去に侵害が発生し、再発しうることが「想像不可能ではない」場合、国際司法裁判所は仮保全措置が適切であると判断してきた。⁵⁷¹ 国際司法裁判所はまた、「不安定で、急速に変化する可能性がある」状況において、「継続的な緊張と、紛争への全体的沈静化の欠如」により、影響を受ける集団が脆弱な状態にとどまる場合、仮保全措置を命じてきた。⁵⁷² 従って、停戦が合意されたとしても、あるいはイスラエルが短期的にパレスチナ人の状況を改善できると思われるようなその他の行為を行ったとしても、決定的な効果はなく、南アフリカが主張する本案に対しても緊急性に対しても影響を与えないだろう。

141. ジェノサイド条約のもとでの、パレスチナ人の権利と南アフリカ自身の権利に回復不能な不利益をもたらす明らかなリスクがある。事態の最大限の緊急性は自明である。すなわち、パレスチナ人は、ジェノサイド条約第2条に違反するイスラエルによるジェノサイド行為や、ジェノサイドへの直接的・公然の教唆を防止・処罰しないなどのイスラエルの条約違反によって、回復不可能な被害を受け、現在も受けている。このようなジェノサイド条約違反が看過されたままであれば、重大かつ回復不能な生命と財産の損失、重傷者の発生、人道危機の更なる深刻化が、リスクにとどまらず確実性を帯びることになる。本案訴訟段階の証拠を収集・保全する機会も、たとえ完全には失われなかったとしても、著しく損なわれるだろう。

142. 本申立ての時点で、ガザでは推定21,110人のパレスチナ人が殺害され、その中には少なくとも7,729人の子どもが含まれている。55,243人のパレスチナ人が負傷し、その中には少なくとも8,663人の子どもが含まれ、そのうち1000人以上は救命のための切断手術により、身体障がいが生じ続いている。殺害された人の約70%は女性と子どもと言われている。イスラエルが2023年10月7日にガザで軍事行動を開始して以来、ガザではおよそ15分に1人のパレスチナ人の子どもが殺されている。さらに数千人が瓦礫の下で消息不明になっている。ガザでは61の病院や保健医療施設が損壊または破壊され、その多くが包囲下に置かれたり、強制避難を余儀なくされたりしており、現

⁵⁶⁷ *The Gambia v. Myanmar*, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 22, para. 55.

⁵⁶⁸ *Ibid*, pp. 27-28, para. 74, citing *Application of the Convention on the Prevention and Punishment of the Crime of Genocide (Bosnia and Herzegovina v. Yugoslavia)*, Preliminary Objections, Judgment, I.C.J. Reports 1996, p. 615, para. 31.

⁵⁶⁹ *Ibid*, p. 27, para. 74. The conflict raised as being in issue in that case was an internal armed conflict.

⁵⁷⁰ *Ibid*, p. 28, para. 74.

⁵⁷¹ *Immunities and Criminal Proceedings (Equatorial Guinea v. France)*, Provisional Measures, Order of 7 December 2016, I.C.J. Reports 2016, p. 1169, para. 89.

⁵⁷² See *Application of the International Convention on the Elimination of All Forms of Racial Discrimination (Georgia v. Russian Federation)*, Provisional Measures, Order of 15 October 2008, I.C.J. Reports 2008, p. 396, para. 143.

在も部分的に機能している病院は 13 しかなく、過剰に集まった民衆の重圧におし潰されそうになっている。311人の医療従事者が殺害され、その多くが勤務中に殺害された。つまり、重傷を負った子どもを含む多くの負傷者が医療を受けられないということだ。毎月推定5,500人の女性が安全でない環境での出産を強いられている。新生児たちは回避可能な原因で死亡している。すなわち病気と栄養失調で死亡するのに加えて、未熟児たちは病院の発電機に必要な燃料が不足して死亡している。また医療スタッフが立ち退きを余儀なくされたため、何人もの乳児が病院の小児ベッド上で腐敗した状態で発見された。ガザでは、60%以上の家屋が損壊または破壊された。ガザの破壊された地域は広大で、その中には居住不能となった、あるいは意図的に居住不能な状態にされている村落全体、難民キャンプ、街、都市が含まれている。イスラエルは安全な経路も含めて絶え間なく爆撃しているため、人道にもとづく対応を不可能なものにしている。人口の85%近くにあたる190 万人が高齢者も負傷者も身体障害者を含めて避難民となり、国連の学校でその場しのぎのテントを使い、衛生設備や水が不十分なまま、親戚とともに生活している。全人口が飢餓に直面しており、ガザの人口の93%が危機的レベルの飢餓に直面しており、4人に1人以上は「致命的な状態」に、すなわち差し迫った死に、直面している。こうしたなかでイスラエル首相は2023年12月25日に次のように断言した。「我々は立ち止まらない、我々は戦い続ける、戦闘はすぐに深化させていく。これは長い闘いになろう、終結に近づいてはいない」。⁵⁷³ 状況はこれ以上ないほど切迫している。

143. ガザに住む 230 万人のパレスチナ人は、その中の100 万人以上の子どもも含めて、極めて脆弱な状態にある。彼らの生存が重大な脅威にさらされている。彼らは国際司法裁判所の保護を緊急かつ深刻に必要としている。イスラエルの軍事攻撃が続く日々のなかで、人命と財産に大きな損失が引き続きもたらされ、重大な人権侵害が行われているのである。ここにおいて仮保全措置の提示の要件が満たされていることに疑いを差し挟む余地はありえない。

E. 仮保全措置の請求

144. 上記の事実に基づき、南アフリカは、ジェノサイド犯罪の防止及び処罰に関する条約の締約国として、本案に関する裁判所の決定が出るまでの間、極めて緊急の事項として、ジェノサイド条約によって保護される集団としてのパレスチナの人々との関係において以下の仮保全措置を提示するよう、謹んで裁判所に請求する。これらの措置は、南アフリカとイスラエルとの紛争の主題となっている権利に直接関連するものである。

(1) イスラエル国は、ガザ内およびガザに対する軍事行動を直ちに停止しなければならないこと。

(2) イスラエル国は、自国の指示、支援、または影響を受け得るいかなる軍隊または非正規武装部隊も、並びに自国の管理、指示、または影響を受け得るいかなる団体または個人も、上記(1)の軍事作戦を助長する措置をとらないことを確保すること。

(3) 南アフリカ共和国およびイスラエル国は、それぞれジェノサイド罪の防止および処罰に関する条約に基づく義務に従い、パレスチナの人々との関係において、ジェノサイドを防止するため、その権限内にあるすべての合理的な措置をとるものとする。

⁵⁷³ Statement by Israeli Prime Minister to Likud Party, 25 December 2023: Jeremy Sharon, "After rare visit to Gaza, Netanyahu says war 'not close to being over'", The Times of Israel (25 December 2023), https://www.timesofisrael.com/liveblog_entry/after-gaza-visit-netanyahu-says-war-not-close-to-being-over/ (emphasis added).

(4) イスラエル国は、ジェノサイド罪の防止および処罰に関する条約により保護される集団としてのパレスチナの人々との関係において、ジェノサイド罪の防止および処罰に関する条約に基づく義務に従い、特に同条約第2条の範囲内の下記は一切の行為の遂行をやめるものとする。

- (a) 集団の構成員を殺害すること、
- (b) 集団の構成員に対して重大な身体的または精神的な危害を加えること、
- (c) 全部または一部に身体的破壊をもたらすことを意図する生活条件を集団に対して故意に課すること、
- (d) 集団内における出生を妨げることを意図する措置を課すること。

(5) イスラエル国は、上記(4)(c)に従い、パレスチナ人との関係において、下記の事項を行うことをやめ、その権限内で下記の事項を防止するために、命令、制限、および/または禁止事項を撤回することを含め、あらゆる手段を講じなくてはならない。

- (a) 住居からの追放と強制移住、
- (b) 以下の剥奪、
 - (i) 十分な食料と水へのアクセス、
 - (ii) 十分な燃料、避難所、衣服、衛生、下水設備へのアクセスを含めた、人道支援へのアクセス、
 - (iii) 医療の供給と医療支援、
- (c) ガザのパレスチナ人の生活破壊。

(6) イスラエル国は、パレスチナ人との関係において、その軍隊ならびにその軍隊の指揮、支援またはその他の影響を受ける非正規の武装部隊または個人、およびイスラエルの管理、指示または影響を受ける可能性のある組織および個人が、上記(4)および(5)に掲げる行為を行わないこと、またはジェノサイドを行うことを直接かつ公然と教唆しないこと、ジェノサイドの実行を共謀しないこと、ジェノサイドの実行を企てないこと、ジェノサイドの実行もしくはジェノサイドに**加担**することに関与しないことを確保するものとし、それらの行為に関与した場合はジェノサイド罪の防止および処罰に関する条約の第1条、第2条、第3条および第4条に従ってその処罰に向けた措置がとられることを確保する。

(7) イスラエル国は、ジェノサイド罪の防止および処罰に関する条約第2条の範囲内の行為の申立てに関連する証拠の破壊を防止し、その保全を確保するための効果的な措置をとるものとする。そのため、イスラエル国は、当該証拠の保全とその継続を確保することを支援する事実調査団、国際委任団、その他の機関によるガザへのアクセスを拒否または制限するような行為を行ってはならない。

(8) イスラエル国は、この命令を実現するためにとられたすべての措置に関する報告を、この命令の日から1週間以内に裁判所に提出するものとし、その後、裁判所がこの事件に関する最終判決を下すまで、裁判所が命じる定期的な間隔で報告書を提出するものとする。

(9) イスラエル国は、国際司法裁判所に提起されている紛争の悪化または拡大、あるいはその解決を困難にするようないかなる行動も慎み、かつ、当該行為が行われないことを確保するものとする。」

145. 請求された仮保全措置は、紛争の主題を形成する権利と直接関連している。⁵⁷⁴ 特に、最初の 6 項目の仮保全措置は、イスラエルがジェノサイド条約に基づくジェノサイドを行わない義務、ジェノサイドを防止し処罰する義務の遵守、またジェノサイドの防止に関する南アフリカの権利と義務の明示と再確認、およびガザのパレスチナ人の破壊からの保護のために要請されている。

要求された最後の3項目の仮保全措置は、証拠保全の確保を含め、法廷における手続きの完全性と、南アフリカの主張が公正に審理される権利を保護することを目的とするものである。

146. 南アフリカは、2024年1月1日の週に、対面またはビデオリンクによる遠隔審理をスケジュールすることを含め、裁判所が可能な限り早い機会に、この仮保全措置の要請を緊急に考慮するよう、謹んで要請する。

147. 南アフリカは、本訴訟で争点となっている権利に対する回復不能な損害を防止するため、および/または両当事国間の紛争がさらに悪化することを防止するために、本手続の過程で必要となった場合には、追加の仮保全措置を請求する権利を留保する。

VII 権利の留保

148. 南アフリカは、本申立書の条項および主張された理由を修正、補足または変更する権利を留保する。

VIII. 代理人の任命

149. 南アフリカ共和国は、駐オランダ南アフリカ共和国特命全権大使Vusimuzi Philemon Madonsela大使を代理人として指名する。

150. 裁判所規則第40条第1項に従い、本件に関するすべての連絡は下記に送付されたい：

Embassy of the Republic of South Africa
40 Wassenaarseweg
2596 CJ
The Hague
The Netherlands

151. 私は当裁判所に対し、最高の敬意と配慮をもって臨むことをお約束できることを光栄に思う。

The Hague,
(Signed)

⁵⁷⁴ The Gambia v. Myanmar, Provisional Measures, Order of 23 January 2020, p. 18, para. 44.